エ 種	測量業務積算基準
<u>ー 作</u> (生)	则里未伤惧异 基华

第2章 測量業務標準歩掛

第1節 共 通

1-1 打合せ等

(1業務当たり)

					. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
区	分	測量主任技師	測量技師	測量技師補	備考
	業務着手時	0. 5	0. 5		(対面)
打合せ	中間打合せ	0. 5		0. 5	1回当たり(対面)
	成果物納入時	0. 5	0. 5		(対面)
関係機関協	協議資料作成		0.25	0.25	1機関当たり
関係機関打合せ協議			0. 5	0. 5	1機関当たり(対面)

- 備考 1. 打合せ,関係機関打合せ協議には,打合せ議事録の作成時間及び移動時間(片道所要時間1時間程度以内)を含むものとする。
 - 2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話及び電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする
 - 3. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数 (3回を標準)を計上する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。
 - 4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

第2章 測量業務標準歩掛

第1節 共 通

1-1 打合せ等

(1業務当たり)

					().100
	区分	測量主任技師	測量技師	測量技師補	備考
	業務着手時	0. 5	0. 5		(対面)
打合せ	中間打合せ	0. 5		0. 5	1回当たり (対面)
	成果物納入時	0. 5	0. 5		(対面)
関係機関制	協議資料作成		0. 25	0.25	1機関当たり
関係機関技	丁合せ協議		0. 5	0. 5	1機関当たり(対面

- 備考 1. 打合せ,関係機関打合せ協議には,打合せ議事録の作成時間及び移動時間(片道所要時間1時間程度)を含むものとする。
 - 2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話及び電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
 - 3. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合 せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の 業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。
 - 4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

第2節 基準点測量

2-1 1級基準点測量

2-1-1 新点5点

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点50点以下とする。

			戸	F §	更	日参	数			編			成			延	人	目	数	
標準作業量	作美	美工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	作第	Ě計画	1.0	2.0	1.5			内	1	1	1			3	1.0	2. 0	<mark>1. 5</mark>			<mark>4. 5</mark>
5 点	選	点		3. 0	3. 5			外		1	1			2		<mark>3. 0</mark>	<mark>3. 5</mark>			<mark>6. 5</mark>
	観	測		1.5	1.5	1.5		外		2	3	1		6		<mark>3. 0</mark>	<mark>4. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>9. 0</mark>
	計算	草整理	1.0	3. 5	3. 0			内	1	1	1			3	<mark>1. 0</mark>	<mark>3. 5</mark>	<mark>3. 0</mark>			<mark>7. 5</mark>
	内	外業計		4. 5	5. 0	1.5										<mark>6. 0</mark>	<mark>8. 0</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>15. 5</mark>
	訳	内業計	2.0	5. 5	4. 5										2.0	<mark>5. 5</mark>	<mark>4. 5</mark>			<mark>12. 0</mark>
	合	計	2.0	10.0	9. 5	1.5									2.0	<mark>11.</mark> 5	<mark>12. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>27. 5</mark>

- (注) 1. 本歩掛は,2-5 基準点設置の地上埋設(普通),地上埋設(上面舗装),地下埋設,屋上埋設と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採のある場合は、別途計上する。
 - 4. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第2節 基準点測量

2-1 1級基準点測量

2-1-1 新点5点

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点50点以下とする。

標準作業量	作業	美工程	所	デ	Ę F	数	ζ			編			成	
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	nh.
新点	作第	 	1. 0	2.0	1. 5			内	1	1	1			3
5点	選	点		3.0	3. 5			外		1	1			2
	観	測		1.5	1. 5	1.5		外		2	3	1		6
	計算	草整理	1. 0	3. 5	3. 0			内	1	1	1			3
	#-≈п	外業計		4. 5	5. 0	1.5								
	内訳	内業計	2. 0	5. 5	4. 5									
	合	計	2.0	10.0	9. 5	1.5								

- (注) 1. 本歩掛は, 2-5 基準点設置の地上埋設(普通), 地上埋設(上面舗装), 地下埋設, 屋上埋設と 併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採のある場合は、別途計上する。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

(H27)	改	定							現	行 備 考
(削除)										
				測量主任技師	延 測量 技師	人測量技師補	日測量助手	数 測量補助員	計	機械経費の構成 単位 数量 摘 要
				1.0	2.0	<mark>1. 5</mark>			4.5	雑器材 式 1
					3.0	3. 5			6. 5	通信運搬費等の構成 項 目
					3.0	4. 5	1. 5		9.0	通信運搬費
				1.0	3. 5	3.0			7. 5	
			╽┟		<mark>6. 0</mark>	8.0	1. 5		15. 5	材料費の構成
				2. 0	<mark>5. 5</mark>	4. 5			12.0	ガソリン パス 62 2.6% × 24.0h 雑品 式 1
					11.5		1. 5		27. 5	
										各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備 考
										機械経費 7.0 % 通信運搬費等 2.0 % 材料費 3.5 %

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

2-2 2級基準点測量

2-2-1 新点10点

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点35点以下とする。

			所	罗	Ę	1	数			編			成		Z .	E	人	月	米女	<mark>t</mark>
標準作業量	作弟		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	益
新 点 10点	作業	Ě計画	1. 5	2. 5	2.0			内	1	1	1			3	1.5	<mark>2. 5</mark>	2.0			<mark>6. 0</mark>
10点	選	点		8. 5	8. 5			外		1	1			2		<mark>8. 5</mark>	<mark>8. 5</mark>			<mark>17. 0</mark>
	伐	採		2.0	2.0		2.0	外		1	1		1	3		2.0	2.0		2.0	<mark>6. 0</mark>
	観	測		5. 0	4.0		3. 5	外		1	3		3	7		<mark>5. 0</mark>	12. 0		10. 5	<mark>27. 5</mark>
	計算	草整理	2. 0	3. 5	5. 0			内	1	1	1			3	2.0	<mark>3. 5</mark>	<mark>5. 0</mark>			10. 5
	内	外業計		15. 5	14. 5		5. 5									15. 5	22. 5		12. 5	(44. 5) 50. 5
	訳	内業計	3. 5	6. 0	7. 0										3. 5	<mark>6. 0</mark>	<mark>7. 0</mark>			(16. 5) 16. 5
	合	計	(3. 5)	(19. 5) 21. 5	(19. 5) 21. 5		(3. 5)								(3. 5)	(19. 5) 21. 5	(27. 5) 29. 5		(10. 5) 12. 5	(61. 0) 67. 0

- (注) 1. 本歩掛は, 2-5 基準点設置の地上埋設(普通),地上埋設(上面舗装),地下埋設,屋上埋設と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 4. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。
 - 5. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-2 2級基準点測量

2-2-1 新点10点

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点35点以下とする。

			Ē	听	要	F	1			編			成	
標準作業量	作美		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	浀
新点	作美	Ě計画	1. 5	2. 5	2. 0			内	1	1	1			3
10点	選	点		8. 5	8. 5			外		1	1			2
	伐	採		2. 0	2. 0		2. 0	外		1	1		1	3
	観	測		5. 0	4. 0		3. 5	外		1	3		3	7
	計算	草整理	2.0	3. 5	5. 0			内	1	1	1			3
	.⊢.≃n	外業計		15. 5	14. 5		5. 5							
	内訳	内業計	3. 5	6. 0	7. 0									
	合	計	(3.5)	(19. 5) 21. 5	(19. 5) 21. 5		(3. 5) 5. 5							

- (注) 1. 本歩掛は, 2-5 基準点設置の地上埋設(普通), 地上埋設(上面舗装), 地下埋設, 屋上埋設と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 4. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。

改 定	
VIII VIII	考
1	考

2-3 3級基準点測量

2-3-1 新点20点

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

			所	要	<u>.</u>	日	数			編			成		<u>S</u>	Ē	人	目	娄	<mark>汝</mark>
標準作業量	作美		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	盐	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 20点	作業		2.0	2.0	2.0			内	1	1	1			3	<mark>2. 0</mark>	2.0	<mark>2. 0</mark>			<mark>6. 0</mark>
20点	選	点		6.0	6.0	5. 0		外		1	1	1		3		<mark>6. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>		<mark>17. 0</mark>
	伐	採		1.5	1.5		1. 5	外		1	1		1	3		<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>1. 5</mark>	<mark>4. 5</mark>
	観	測		5. 5	5. 5	4.0		外		1	1	2		4		<mark>5. 5</mark>	<mark>5. 5</mark>	<mark>8. 0</mark>		<mark>19. 0</mark>
	計算	草整理	1.0	3.0	4.0	2. 5		内	1	1	1	1		4	<mark>1. 0</mark>	<mark>3. 0</mark>	<mark>4. 0</mark>	<mark>2. 5</mark>		10. 5
	内	外業計		13. 0	13. 0	9.0	1.5									13. 0	13. 0	13. 0	<mark>1. 5</mark>	(36. 0) 40. 5
	訳	内業計	3.0	5.0	6.0	2.5									<mark>3. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>	<mark>2. 5</mark>		(16. 5)
	合	計	(3.0)	(16. 5) 18. 0	(17. 5) 19. 0	(11.5) 11.5	1.5								(3. 0) 3. 0	(16. 5) 18. 0	(17. 5) 19. 0	(15. 5) 15. 5	1. 5	(52. 5) 57. 0

- (注) 1. 本歩掛は、2-5 基準点設置の地上埋設(上面舗装),地下埋設、屋上埋設、コンクリート杭設置と併せて使用する。ただし、永久標識設置を設置しない場合は、永久標識設置なしの直接人件費に対する割合を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 4. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。
 - 5.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-3 3級基準点測量

2-3-1 新点20点

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

			所	要	Ī.	日	数			編			成	
標準作業量	作弟	美工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	作業	 	2.0	2.0	2. 0			内	1	1	1			3
20点	選	点		6.0	6. 0	5. 0		外		1	1	1		3
	伐	採		1.5	1. 5		1. 5	外		1	1		1	3
	観	測		5. 5	5. 5	4. 0		外		1	1	2		4
	計算	草整理	1.0	3.0	4. 0	2. 5		内	1	1	1	1		4
	内	外業計		13.0	13.0	9. 0	1.5							
	訳	内業計	3.0	5. 0	6. 0	2. 5								
	合	計	(3.0)	(16. 5) 18. 0	(17. 5) 19. 0	(11. 5) 11. 5	1.5							

- (注) 1. 本歩掛は、2-5 基準点設置の地上埋設(上面舗装),地下埋設、屋上埋設、コンクリート杭設置と併せて使用する。ただし、永久標識設置を設置しない場合は、永久標識設置なしの直接人件費に対する割合を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 4. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。

H27)

改定	現	備考
(削除)		
	2-3-1 延 人 日 数 測 測 測 測 測 量 量 量 機械経費の構成 名 称 規 格 単 数量 摘 要 トータルステーション 2級 台 5.5 1台×5.5日 ライトペン 1.5L	
	2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 5.0 17.0 通信運搬費	
	1.5 1.5 4.5 大林横の構成	
	5.5 5.5 8.0 19.0 日本村野の構成 品名 規格 単数量 類量 1.0 3.0 4.0 2.5 10.5 木杭 6.0 cm × 6.0 cm × 6.0 cm × 0.6m 本 20 以外標識設置なし時に計上 3.0 <td< td=""><td></td></td<>	
	13.0 13.0 1.5 40.5 雑品 式 1 3.0 5.0 6.0 2.5 16.5	
	(3.0) (16.5) (17.5) (15.5) (52.5) 1.5 57.0 割 合 機械経費 2.5% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.0% 3.5% 4.5% 1.5%	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

改 定 備 考

2-4 4級基準点測量

2-4-1 新点35点 永久標識設置なし

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点170点以下とする。

			所	罗	Ę	日	数			編			成		Z Z	正	人	日	*	<mark>女</mark>
標準作業量	作業	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 35点	作	業計画	0.5	1.0	0.5			内	1	1	1			3	<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>			<mark>2. 0</mark>
永久標識設置なし	選	点		2. 5	2.5	2. 0		外		1	1	1		3		<mark>2. 5</mark>	<mark>2. 5</mark>	<mark>2. 0</mark>		<mark>7. 0</mark>
	伐	採		0.5	0.5		0.5	外		1	1		1	3		0.5	<mark>0. 5</mark>		<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>
	観	測		3.0	3.0	2. 5		外		1	1	2		4		3. 0	<mark>3. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>		11.0
	計算	章整理	0.5	1.5	2.0	1.0		内	1	1	1	1		4	<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	<mark>2. 0</mark>	<mark>1. 0</mark>		<mark>5. 0</mark>
	内	外業計		6.0	6.0	4. 5	0.5									<mark>6. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>	<mark>7. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>	(18. 0) 19. 5
	訳	内業計	1.0	2.5	2.5	1.0									<mark>1. 0</mark>	<mark>2. 5</mark>	<mark>2. 5</mark>	<mark>1. 0</mark>		(7. 0) 7. 0
	合	計	(1. 0) 1. 0	(8. 0) 8. 5	(8. 0) 8. 5	(5. 5) 5. 5	0.5								(1. 0) 1. 0	(8. 0) 8. 5	(8. 0) 8. 5	(8. 0) 8. 0	<mark>0. 5</mark>	(25. 0) 26. 5

- (注) 1. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。
 - 4. 機械経費, 通信運搬費等, 材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-4 4級基準点測量

2-4-1 新点35点 永久標識設置なし

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点170点以下とする。

			所	多	Ę	日	数			編			成	
標準作業量	作美	美工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	作業	業計画	0.5	1. 0	0.5			内	1	1	1			3
35点 永久標識	選	点		2. 5	2. 5	2. 0		外		1	1	1		3
設置なし	伐	採		0. 5	0.5		0.5	外		1	1		1	3
	観	測		3. 0	3. 0	2. 5		外		1	1	2		4
	計算	草整理	0. 5	1. 5	2.0	1.0		内	1	1	1	1		4
	小司	外業計		6. 0	6. 0	4. 5	0.5							
	内訳	内業計	1. 0	2. 5	2.5	1. 0								
	合	計	(1. 0) 1. 0	(8. 0) 8. 5	(8. 0) 8. 5	(5. 5) 5. 5	0. 5							

- (注) 1. 伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。また、直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. ()書の数値は、伐採を含まない数値である。

301273	(H27)													
Mate		改	定						現		行		備	考
Manual	(当山(全)													
	(Hulpix)													
				<u> </u>	延	Į.	FI	粉			LU	<u>2-4</u>	<u>-1</u>	
# 技 技 技 助					測 測	測						<mark>単</mark> 数量 摘 要		
接 (6) 10 0.5 1.0 0.5 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1				1 I -			量	量						
接 (6) 10 0.5 1.0 0.5 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1				主	技 師	技 師	助 丢	補 助	計					
0.5 1.0 0.5 2.0 3.0 7.0 通信運搬費等の構成 項目 「現場 関係 「大木補償費 「大木補償費 「大木補償費 「大木補償費 「大木補償費 「大木補償費 「大木補償費 「大木・競」 「大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				技	H-P		,	員						
2.5 2.0 7.0				<mark>師</mark>									_	
2.5 2.8 2.0 1.0 11				<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>			<mark>2. 0</mark>					
1.0 2.5 2.5 1.0 (2.5 o) 1.0 (2.5 o) 1.0 (3.8 o) (3.8 o) 1.0 (3.8 o)					2 5	2 5	2.0		7.0		<mark>の構成</mark>	1 1		
1.0 1.						2. 0	2.0						_	
1.0 1.					<mark>0. 5</mark>	0.5		<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>					
1.0 2.5 2.5 1.0 (18.0) (1.0) (8.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (8.0) (1.0) (3. 0	3.0	<mark>5. 0</mark>		11.0				_	
1.5 2.0 1.0 5.0						<u> </u>				材料質の構成		単 数量 摘 要	_	
6.0 6.0 7.0 0.5 19.5 雑品 式 1				0.5	1. 5	2.0	1.0			木杭		n 本 35		
1.0 2.5 2.5 1.0 7.0 7.0					6.0	6.0	7.0	0.5	(18. 0) 19. 5				<mark>Oh</mark>	
1.0 2.5 2.5 1.0 7.0 (1.0) (8.0) (8.0) (8.0) (25.0) 1.0 8.5 8.5 8.0 0.5 26.5 機械経費 2.5% 3.0% 通信運搬費等 11.0% 4.0%								0. 0	(7.0)			1		
1.0 8.5 8.5 8.0 0.5 26.5 費目 割合 備考 投採有り 投採なし 機械経費 2.5% 3.0% 通信運搬費等 11.0% 4.0%						_	_		<mark>7. 0</mark>	for the last of the last				
機械経費 2.5% 3.0% 通信運搬費等 11.0% 4.0%					(8. 0)			0.5				借去	_	
通信運搬費等 11.0% 4.0%				1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<u>20. 0</u>		伐採有り 伐採なし			

改 定 備 考

2-5 基準点設置

2-5-1 新点10点 地上埋設(普通)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点35点以下とする。

		所	要	Ī	日	数			編			成		<u>3</u>	E	人	月	米	<mark>文</mark>
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
新 点 10点	設 置		1.0	6.0		6.0	外		1	1		2	4		<mark>1. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>		<mark>12. 0</mark>	<mark>19. 0</mark>
地上埋設	合 計		1.0	6.0		6.0									1.0	<mark>6. 0</mark>		<mark>12. 0</mark>	<mark>19. 0</mark>

- (注) 1. 本歩掛は、2-1 1級基準点測量、2-2 2級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-5-2 新点10点 地上埋設(上面舗装)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

																		<u> 2</u> -	-5-2
		所	要	Î.	月	数			編			成		3	Ē	人	月	类	<mark>汝</mark>
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 10点 地上埋設	設 置		1.0	6.0		6.0	外		1	1		2	4		1.0			12. 0	19. 0
地工建設(上面舗装)	合 計		1.0	6.0		6.0									1.0	<mark>6. 0</mark>		12. 0	<mark>19. 0</mark>

- (注) 1. 本歩掛は, 2-1 1級基準点測量, 2-2 2級基準点測量, 2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-5 基準点設置

2-5-1 新点10点 地上埋設(普通)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点35点以下とする。

		所	要		日	数			編			成	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 10点	設 置		1.0	6. 0		6. 0	外		1	1		2	4
地上埋設 (普通)	合 計		1.0	6.0		6. 0							

- (注) 1. 本歩掛は、2-1 1級基準点測量、2-2 2級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

2-5-2 新点10点 地上埋設(上面舗装)

(1)標準歩掛等

0_5_0

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要	ĺ	月	数			編			成	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 10点	設 置		1.0	6.0		6. 0	外		1	1		2	4
地上埋設 (上面舗装)	合 計		1.0	6.0		6.0							

- (注) 1. 本歩掛は、2-1 1級基準点測量、2-2 2級基準点測量、2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

	改	定						現	行	備考
(削除)									2-5	·1
			測量主任技師	延 測 量 技 師	人測量技師補	型 量 助 手	数測量補助員	<u></u> 計	機械経費の構成 規格 単数量 摘要 ライトバン 1.5 L 台 6.0 供用日損料 n n 台 12.0 運行時間指 雑器材 式 1	
				1.0	6. 0		12.0	19. 0	通信運搬費等の構成 項 目	1
				1.0	6. 0		12.0		· 通信運搬典	1
									材料費の構成 品 名 規 格 単 数量 摘 要	
									角材 6.0 cm × 6.0 cm × 本 10 鳥居用 ガソリン は2 31 2.6%×12.0h	1
									セメント kg 32 砂 m³ 0.08	
									砂利 " 0.16 玉石 300mm~400mm 個 40 4個×10点	
									板材 1.5cm×15cm×4m 枚 10 型枠用 硬質塩化ビニール 16.5cm×0.51cm× 本 10	-
									金属標 φ80mm×90mm 個 10 補助地中標 5cm×5cm×5mm " 10 鉄筋 φ6mm m 54 540cm×10点	1
									鉄筋 φ 6mm m 54 540cm×10点 鉄線 #8 kg 4.8 0.48kg × 10 雑品 式 1	-
									7-LII]
									各費目の直接人件費に対する割合費 割合 備 考 機械経費 2.0% 通信運搬費等 4.0% 材料費 17.5%	
]

(H27) 改 定							玗	見	行	備	考
(削除)											
	-		弬	Į.	日	数		- 11	2-5-2 機械経費の構成		
		測 量	測 量	測量	測 量	<mark>測</mark>		\exists	名		
		主 任	技 師	技 師	助 手		計		" 12.0 運行時間損料 雑器材 式 1		
		技 師		<mark>補</mark>		<mark>員</mark>		╟			
	-		1.0	6. 0		12.0	19.0		通信運搬費等の構成 項 目		
			1.0	<mark>6. 0</mark>		12.0	19.0		通信運搬費		
			<u> </u>	'	•	•	•		材料費の構成 品 名		
								-	角材 6.0cm×6.0cm×4.0m 本 10 鳥居用 ガソリン は2 31 2.6%×12.0h		
									セメント kg 130 砂 m³ 0.33 砂利 " 0.65		
								ļ	玉石 300mm~400mm 個 40 4個×10点 板材 1.5cm×15cm×4m 枚 10 型枠用		
								ŀ	硬質塩化ビニール 16.5cm × 0.51cm × 本 10 金属標 φ80mm×90mm 個 10		
								ŀ	補助地中標 5cm×5cm×5mm " 10 鉄筋 φ 6mm m 54 540cm×10点		
									鉄線 #8 kg 4.8 0.48kg × 10 雑品 式 1		
								L	各費目の直接人件費に対する割合		
									費 目 割 合 備 考 機械終費 2.0%		
									通信運搬費等 4.0% 材料費 18.5%		

(H27)

改 定 備 考

2-5-3 新点10点 地下埋設

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要		目	数			編			成		<u>z</u>	E	人	日	梦	<mark>文</mark>
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	設 置		1.0	6.0		6.0	外		1	1		2	4		<mark>1. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>		<mark>12. 0</mark>	<mark>19. 0</mark>
10点 地下埋設	合 計		1.0	6.0		6.0									<mark>1. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>		<mark>12. 0</mark>	<mark>19. 0</mark>

- (注) 1. 本歩掛は, 2-1 1級基準点測量, 2-2 2級基準点測量, 2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-5-3 新点10点 地下埋設

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要	ĺ	日	数			編			成	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	設置		1.0	6.0		6.0	外		1	1		2	4
10点 地下埋設	合 計		1.0	6.0		6. 0							

- (注) 1. 本歩掛は, 2-1 1級基準点測量, 2-2 2級基準点測量, 2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

2-5-4 新点10点 屋上埋設

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要		日	数			編			成		Z	E	人	目	米タ	<mark>文</mark>
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	11	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
10点	設 置		1.0	4.5		4. 5	外		1	1		1	3		<mark>1. 0</mark>	<mark>4. 5</mark>		<mark>4. 5</mark>	10.0
屋上埋設	合 計		1.0	4.5		4. 5									1.0	<mark>4. 5</mark>		<mark>4. 5</mark>	10. 0

- (注) 1. 本歩掛は、2-1 1級基準点測量、2-2 2級基準点測量、2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-5-4 新点10点 屋上埋設

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要	į	日	数			編			成	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	111
10点	設 置		1.0	4.5		4. 5	外		1	1		1	3
屋上埋設	合 計		1.0	4.5		4. 5							

- (注) 1. 本歩掛は,2-1 1級基準点測量,<math>2-2 2級基準点測量,<math>2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

	改	定							現	行	備	考
(削除)										2-5-4		
			<mark>=</mark> <mark>f</mark> <mark>‡</mark>	測量主任技師	延 測量技師	人測量技師補	月 測量 助手	数測量補助員	計	機械経費の構成 規格 単数量 摘要 ライトバン 1.5L 台4.5 供用日損料 " " 台9.0 運行時間損料 雑器材 式 1		
					1.0	<mark>4.</mark> 5		<mark>4. 5</mark>	10.0	通信運搬費等の構成 項 目		
					1.0	<mark>4. 5</mark>		<mark>4. 5</mark>	10.0	通信運搬費		
										材料費の構成		

(H27)

2-5-5 新点10点 コンクリート杭設置

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要		目	数			編			成		<mark>5</mark>	Ē	人	月	娄	<mark>文</mark>
標準作業量	作業工程	量主	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新 点 10点	設 置	-	1.0	5. 0		5. 0	外		1	1		1	3		1.0	<mark>5. 0</mark>		<mark>5. 0</mark>	11. 0
コンクリート杭 設置	合 計	-	1.0	5. 0		5. 0									1.0	<mark>5. 0</mark>		<mark>5. 0</mark>	11. 0

- (注) 1. 本歩掛は、2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2-6 基準点測量変化率 2-6-1 地域による変化率

地域\地形	平	也	丘	陵	地	低	山	地	高	山	地
大 市 街 地	+0.1										
市街地甲	+0.1										
市街地乙	0.0			0.0)						
都市近郊	0.0			0.0)						
耕 地	0.0		_	0. 1		+	0. 1				
原 野	0.0		_	0. 1			0.0		+	0. 1	
森林	+0.1			0.0)	+	0. 2		+	0.3	

2-7 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>3</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

2-5-5 新点10点 コンクリート杭設置

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

		所	要	į	月	数			編			成	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	祉
新 点 10点	設 置		1.0	5.0		5. 0	外		1	1		1	3
コンクリート杭 設置	合 計		1.0	5.0		5. 0							

- (注) 1. 本歩掛は、2-3 3級基準点測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

2-6 基準点測量変化率

2-6-1 地域<mark>差</mark>による変化率

地域\地形	平 地	丘 陵 地	低 山 地	高 山 地
大市街地	+0.1			
市街地甲	+0.1			
市街地乙	0.0	0.0		
都市近郊	0.0	0.0		
耕地	0.0	-0.1	+0.1	
原 野	0.0	-0.1	0.0	+0.1
森林	+0.1	0.0	+0.2	+0.3

2-7 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は1回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

(H27)	 改		Τ						1	現 行		 考
	ųX.	Æ	+							1.J	7V用	77
(削除)					延	,	日	数		2-5-5 機械経費の構成		
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手		計	名称 規格 単位数量 摘要 ライトバン 1.5L 台日 5.0 供用日損料 " 台時 10.0 運行時間損料 雑器材 式 1		
					1.0	<mark>5. 0</mark>		<mark>5. 0</mark>	11.0	通信運搬費等の構成 項 目		
			-		1.0	<mark>5. 0</mark>		<mark>5. 0</mark>	11.0	通信運搬费		
										材料費の構成 単位 数量 摘 要 ガソリン 26 2.6%%×10.0h コンクリート杭 9.0cm×9.0cm×60cm 本 10 雑品 式 1 1		
										機械経費 2.5% 通信運搬費等 3.0% 材料費 4.5%		

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

第3節 水準測量

3-1 水準測量

3-1-1 1級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、1級水準測量観測700km以下とする。

			所	要	Ī	日	数			編			成			延	人	日	数	
標準 作業量	作業	江程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1級水準	作業	計画	1.0	1.5	2.0	0.5		内	1	1	1	1		4	1.0	<mark>1. 5</mark>	<mark>2. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>		<mark>5. 0</mark>
測量観測 100km	選	点		4.0	4.0	4.0		外		1	1	2		4		<mark>4. 0</mark>	<mark>4. 0</mark>	<mark>8. 0</mark>		<mark>16. 0</mark>
	観	測		18.0	36. 0	36. 0		外		1	1	3		5		<mark>18. 0</mark>	<mark>36. 0</mark>	108. 0		162. O
	計算	整理	1.0	6.0	12. 0	4.0		内	1	1	1	1		4	1.0	<mark>6. 0</mark>	12. 0	<mark>4. 0</mark>		23. 0
	内訳	外業計		22. 0	40.0	40.0		外								<mark>22. 0</mark>	40.0	116 . 0		178. 0
	r y a /C	内業 計	2.0	7.5	14. 0	4. 5		内							<mark>2. 0</mark>	<mark>7. 5</mark>	14.0	<mark>4. 5</mark>		<mark>28. 0</mark>
	合	計	2.0	29. 5	54. 0	44. 5									<mark>2. 0</mark>	<mark>29. 5</mark>	<mark>54. 0</mark>	120. 5		206. 0

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第3節 水準測量

3-1 水準測量

3-1-1 1級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、1級水準測量観測700km以下とする。

			Ē	沂 舅	Ę F	3 数	汝			刹	i i	万	戈	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1級水準	作業計画		1.0	1.5	2.0	0.5		内	1	1	1	1		4
測量観測 100km	選点			4.0	4. 0	4. 0		外		1	1	2		4
	観測			18.0	36. 0	36. 0		外		1	1	3		5
	計	算整理	1.0	6.0	12.0	4. 0		内	1	1	1	1		4
	外業計			22.0	40.0	40.0		外						
	Y JEV	内業計	2.0	7.5	14. 0	4. 5		内						
	合	計	2.0	29.5	54. 0	44. 5								

(注)本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

エ 種	測量業務積算基準

(H27) 改 定					現	行	備	考
(削除)								
	測	<u>延</u> 測	<mark>人 日</mark> 則 <u>測</u>			機械経費の構成 名称 規格 単位 数量 摘要		
	量 主 任 技 師	量 技 師 解 液 液	支 师 手	補	<u></u> 計·	レベル 1級 台目 36 水準用電卓 " 36 ライトバン 1.5L " 40 供用日損料 " 台時 80 運行時間損料 雑器材 式 1		
	1.0	1. 5 2.	0.	5	<mark>5. 0</mark>	通信運搬費等の構成		
		4.0 4.	8.0	0	<mark>16. 0</mark>	項目 通信運搬費		
	 		108.	0	162. 0	材料費の構成		
			2. 0 4. 0		23. 0	調整 内閣 (日本) 本 (日本) 女 7mm×15mm×80mm 本 (日本) ガソリン は (208) 2.6%に×80h		
			0. 0 116.		178. 0	#品 式 1		
			4.		28. 0	各費目の直接人件費に対する割合		
	2.0	29. 5 54	120	5	206. 0	費目 割合 機械経費 4.5% 通信運搬費等 1.0% 材料費 1.0%		

工 種 測量業務積算基準	
--------------	--

改 定 備 考

3-1-2 2級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、2級水準測量観測100km以下とする。

			所	要	į.	目	数			編			成			延	人	目	数	
標準作業量	作業	\$工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	≓	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
2級水	作業	計画	0.5	1.0	1.0	0.5		内	1	1	1	1		4	<mark>0. 5</mark>	1.0	1.0	<mark>0. 5</mark>		<mark>3. 0</mark>
進 測量観	選	点		1.0	1.0	1.0		外		1	1	2		4		1.0	<mark>1. 0</mark>	<mark>2. 0</mark>		<mark>4. 0</mark>
測 3 O km	観	測		4.5	9. 0	9.0		外		1	1	3		5		<mark>4. 5</mark>	<mark>9. 0</mark>	<mark>27. 0</mark>		40.5
	計算	整理	1.0	2.0	4. 0	2.0		内	1	1	1	1		4	1. 0	2.0	<mark>4. 0</mark>	<mark>2. 0</mark>		<mark>9. 0</mark>
	大司	外業計		5. 5	10.0	10.0		外								<mark>5. 5</mark>	10.0	<mark>29. 0</mark>		<mark>44. 5</mark>
	内訳	内業 計	1.5	3.0	5. 0	2. 5		内							<mark>1. 5</mark>	<mark>3. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>	<mark>2. 5</mark>		<mark>12. 0</mark>
	合	計	1.5	8.5	15.0	12. 5									<mark>1. 5</mark>	<mark>8. 5</mark>	<mark>15. 0</mark>	<mark>31. 5</mark>		<mark>56. 5</mark>

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

3-1-2 2級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、2級水準測量観測100km以下とする。

標準作業量	竹	業工程	月	斤 勇	至 月	3 数	汝			編			成	
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
2級水準	11	丰業計画	0.5	1.0	1.0	0.5		内	1	1	1	1		4
測量観測 30㎞	逞	星 点		1.0	1.0	1.0		外		1	1	2		4
	匍	見 測		4. 5	9. 0	9.0		外		1	1	3		5
	111111	算整理	1. 0	2.0	4. 0	2.0		内	1	1	1	1		4
	内	外業計		5. 5	10.0	10.0		外						
	訳	内業計	1. 5	3. 0	5. 0	2.5		内						
	合	計	1. 5	8.5	15.0	12.5								

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(H27)												
	改	定							現	行	備	考
(削除)												
										3-1-2		
					延	人	日	数		機械経費の構成		
				<mark>測</mark>	<mark>測</mark>	<mark>測</mark>	<mark>測</mark>	測		名 称 規 格 単位 数量 摘 要		
				量	量	量	量	量	_	レベル 2級 台目 9		
				主 任	技 師	技	<mark>助</mark>	補	計	水準用電卓 " 9 ライトバン 1.5 L " 10 供用日損料		
				任	師	<mark>師</mark>	手	助 D		ライトバン1.5L"10供用日損料"おおおいます。20運行時間損料		
				技 红		<mark>補</mark>		<mark>員</mark>				
				師						<mark>雑器材</mark>		
							. .					
				<mark>0. 5</mark>	1. 0	1. 0	<mark>0. 5</mark>		<mark>3. 0</mark>	通信運搬費等の構成		
					1.0	1.0	2. 0		4.0	項目		
			<mark></mark> _		1.0	1.0	2. 0		4.0	通信運搬費		
					<mark>4. 5</mark>	<mark>9. 0</mark>	<mark>27. 0</mark>		40. 5			
			-							材料費の構成 品名 規格 単位 数量 摘要		
				1.0	<mark>2. 0</mark>	<mark>4. 0</mark>	2.0		<mark>9. 0</mark>	新 大 大 大 大 大 大 大 新 7mm×15mm×80mm 本 51		
			l ⊦							ガソリン		
					<mark>5. 5</mark>	10.0	<mark>29. 0</mark>		<mark>44. 5</mark>	雑品 式 1		
				1. 5	3. 0	<mark>5. 0</mark>	2. 5		12.0			
			-	<u></u>	0. 0	<u></u>			12.0			
				<mark>1. 5</mark>	<mark>8. 5</mark>	<mark>15. 0</mark>	<mark>31. 5</mark>		<mark>56. 5</mark>	各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備考		
			L							機械経費 3.0%		
										通信運搬費等 1.5%		
										材料費 1.5%		
-												

(H27)

3-1-3 3級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、3級水準測量観測50km以下とする。

			所	要	Î.	日	数			編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作業	红程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
3級水準	作業	計画	0.2	0.2	0.2			内	1	1	1			3	0. 2	0.2	0.2			0.6
測量観測 5km	選	点		0.4	0.4	0.4		外		1	1	1		3		<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 4</mark>	0. 4		<mark>1. 2</mark>
	観	測		1.0	1.0	1.0		外		1	1	2		4		1.0	1.0	2.0		4. 0
	計算	整理		0.5	0.5			内		1	1			2		0.5	0.5			1.0
	H=0	外業計		1.4	1.4	1.4		外								<mark>1. 4</mark>	<mark>1. 4</mark>	<mark>2. 4</mark>		<mark>5. 2</mark>
	内訳	内業計	0.2	0.7	0.7			内							0. 2	0. 7	0. 7			1.6
	合	計	0.2	2. 1	2. 1	1.4									<mark>0. 2</mark>	<mark>2. 1</mark>	<mark>2. 1</mark>	<mark>2. 4</mark>		<mark>6.8</mark>

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

3-1-3 3級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、3級水準測量観測50km以下とする。

			序	f 身	英	3 \$	汝			頳	=	F	戊	
標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
3級水準	作業	計画	0.2	0.2	0.2			内	1	1	1			3
測量観測 5 km	選 点			0.4	0.4	0. 4		外		1	1	1		3
	観測			1.0	1.0	1. 0		外		1	1	2		4
	計算整理			0.5	0.5			内		1	1			2
	中部	外業計		1. 4	1.4	1. 4		外						
	内訳	内業計	0.2	0.7	0.7			内						
	合	計	0.2	2. 1	2. 1	1. 4								

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(H27)									
改定							現	行	備考
(削除)								3-1-3	
	1-1		<u>31</u>	E J	日	数		機械経費の構成	
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	<mark>劉</mark> 量補 助 員	計	名称 規格 単位 数量 摘要 レベル 3級 台目 1 水準用電卓 " 1 1 ライトバン 1.5L " 1.4 供用日損料 " 台時 2.8 運行時間損料 雑器材 式 1	
		<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 2</mark>	0. 2			<mark>0. 6</mark>	通信運搬費等の構成	
			0.4	0. 4	0. 4		1.2	項目 通信運搬費	
			1.0	1.0	2.0		4.0		
			0. 5	0. 5			1.0	新 7mm×15mm×80mm 本 5 ガソリン は、7 2.6%に×2.8h	
		0.0	1.4	1. 4	2. 4		5. 2	雑品 式 1	
		0. 2	0.7		0.4		1.6	各費目の直接人件費に対する割合	
	[0.2	2. 1	2. 1	2. 4		6.8	費目 割合 機械経費 2.0% 通信運搬費等 1.0% 材料費 2.0%	

(H27)

改 定 備 考

3-1-4 4級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、4級水準測量観測20㎞以下とする。

			所	要	i	日	数			編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作業	红程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	』	測量技師補	測量助手	測量補助員	<u></u>
4級水準	作業	計画	0.1	0.1	0. 1			内	1	1	1			3	0. 1	0. 1	0. 1			<mark>0. 3</mark>
測量観測 2km	選	点		0.1	0. 1	0. 1		外		1	1	1		3		<mark>0. 1</mark>	0. 1	0. 1		<mark>0. 3</mark>
	観	測		0.3	0.3	0.3		外		1	1	2		4		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 6</mark>		<mark>1. 2</mark>
	計算	整理		0.3	0.3			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 3</mark>			<mark>0. 6</mark>
	+->-1	外業計		0.4	0. 4	0. 4		外								<mark>0. 4</mark>	0.4	0. 7		<mark>1. 5</mark>
	内訳	内業計	0.1	0.4	0. 4			内							<mark>0. 1</mark>	<mark>0. 4</mark>	0.4			<mark>0. 9</mark>
	合	計	0.1	0.8	0.8	0. 4									<mark>0. 1</mark>	0.8	0.8	0. 7		<mark>2. 4</mark>

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

3-1-4 4級水準測量観測

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、4級水準測量観測20km以下とする。

			月	f 身	Ę l	3 3	数			頳	i i	J.	龙	
標準作業量	作業	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	
4級水準	作業	計画	0. 1	0. 1	0. 1			内	1	1	1			3
測量観測 2 km	選点			0.1	0.1	0. 1		外		1	1	1		3
	観	測		0.3	0.3	0.3		外		1	1	2		4
	計算	整理		0.3	0.3			内		1	1			2
	外業計			0.4	0.4	0. 4		外						
	内業計		0. 1	0.4	0.4			内						
	合 計		0.1	0.8	0.8	0. 4								

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

H27)		
改定	現行	備考
(削除)	3–1-	-4
	<u>延 人 日 数</u> 機械経費の構成	7
	測 測 測 測 測 調 調 調 調 調 調 調 調 調 調 調 事 点 上<	- - - - -
	0.1 0.1 0.1 0.3 index in	-
	0.1 0.1 0.1 0.3 項目 通信運搬費	<u>-</u>]
	0.3 0.6 1.2 材料費の構成	<u>-</u>
	0.3 0.3 0.6 品名 規格 単位 数量 摘要 近 7mm×15mm×80mm 本 2	_
	0.4 0.4 0.7 1.5 ガソリン ポンリン 2 2.6% × 0.8h 雑品	_
	0.1 0.4 0.4 0.9 0.9 0.9 0.9	<u> </u>
	A	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

3-2 水準点設置

3-2-1 水準点設置(永久標識)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点65点以下とする。

			所	要	Ī	日	数			編			成			延	人	月	数	
標準 作業量	作業	红程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	選	点		1.5	2.0	1. 5		外		1	1	1		3		<mark>1. 5</mark>	<mark>2. 0</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>5. 0</mark>
8点	設	置			2. 5		2. 5	外			1		2	3			<mark>2. 5</mark>		<mark>5. 0</mark>	<mark>7. 5</mark>
	整	理			1.5	1. 0		内			1	1		2			<mark>1. 5</mark>	1.0		<mark>2. 5</mark>
	出部	外業計		1.5	4. 5	1. 5	2. 5	外								<mark>1. 5</mark>	<mark>4. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	<mark>5. 0</mark>	12. 5
	内訳	内業計			1.5	1. 0		内									<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 0</mark>		<mark>2. 5</mark>
	合	計		1.5	6. 0	2. 5	2. 5									<mark>1. 5</mark>	<mark>6. 0</mark>	<mark>2. 5</mark>	<mark>5. 0</mark>	<mark>15. 0</mark>

- (注) 1. 本歩掛は、地上・地下埋設及び1級 ~ 4 級の各水準測量に適用するものとし、3-1 水準測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

3-2 水準点設置

3-2-1 水準点設置(永久標識)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点65点以下とする。

			亨	f 事	至] }	数			編			成	
標準作業量	作業工程		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	™ L
新点 8点	選	点		1.5	2.0	1. 5		外		1	1	1		3
	設	置			2. 5		2. 5	外			1		2	3
	整	理			1. 5	1.0		内			1	1		2
	内訳	外業計		1.5	4. 5	1. 5	2. 5	外						
	L J E/V	内業計			1.5	1.0		内						
	合	計		1.5	6. 0	2. 5	2.5							

- (注) 1. 本歩掛は、地上・地下埋設及び1級~4級の各水準測量に適用するものとし、3-1 水準測量と 併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)	改	定						Ą	見	備	考
(削除)									3-2-1		
			No.	كار	<u></u>	E North			機械経費の構成		
			測量主任技師	型 <mark>技</mark> 師	測量 技師補	測量助手	測量補助員	計	名称 規格 単位 数量 摘要 ライトバン 1.5L 台目 4.5 供用日損料 " 台時 9 運行時間損料 雑器材 式 1		
				<mark>1.5</mark>	2.0	<mark>1. 5</mark>		<mark>5. 0</mark>	通信運搬費等の構成 項		
					<mark>2. 5</mark>		<mark>5. 0</mark>	<mark>7. 5</mark>	通信運搬費		
					<mark>1. 5</mark>	1.0		<mark>2. 5</mark>	材料費の構成 期格 単位 数量 摘要 セメント t 0.4		
				1.5	4. 5	1. 5	5. 0	12.5	で		
					1.5	1.0		2.5	割栗石 " 1.2 板材(型枠用) 1.2cm×18cm×400cm 枚 23		
				1.5	<mark>6. 0</mark>	2. 5	5. 0	15. 0	玉石 300mm~400mm 個 30 硬質塩化ビニール管 16.5cm×0.51cm×66cm 本 8		
									鉄筋 φ 6mm m 27.8 金属標 φ 80mm×90mm 個 8 鉄線 #8 kg 3 ガソリン パズ 23 2.6 パズ×9h 雑品 式 1		
									各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備考 機械経費 2.5% 通信運搬費等 2.5% 材料費 23.0%		

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

3-2-2 水準点設置(永久標識以外)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点20点以下とする。

			所	要		日	数			編			成			延	人	日	数	
標準 作業量	作業	红程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
新点	選	点		0.3	0.6	0.3		外		1	1	1		3		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 3</mark>		<mark>1. 2</mark>
6 点	設	置			0.6		0.6	外			1		1	2			0.6		<mark>0. 6</mark>	1. 2
	整	理			1. 0	0.8		内			1	1		2			<mark>1. 0</mark>	<mark>0.8</mark>		<mark>1. 8</mark>
	内訳	外業計		0.3	1. 2	0.3	0.6	外								<mark>0. 3</mark>	1.2	<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 6</mark>	<mark>2. 4</mark>
	r y and	内業計			1. 0	0.8		内									<mark>1. 0</mark>	<mark>0.8</mark>		<mark>1. 8</mark>
	合	計		0.3	2. 2	1. 1	0.6									<mark>0. 3</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>1. 1</mark>	<mark>0. 6</mark>	<mark>4. 2</mark>

- (注) 1. 本歩掛は、固定点を除く一時標識の設置に適用する。3-1 水準測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

3-2-2 水準点設置(永久標識以外)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、新点20点以下とする。

			序	f 事	Ę l	3	数			編	i		成	
			測	測	測	測	測	内	測	測	測	測	測	
	// NIC		量	量	量	量	量	外	量	量	量	量	量	
標準作業量	作業	工程	主	技	技	助	補	業	主	技	技	助	補	計
			任	師	師	手	助	の	任	師	師	手	助	
			技		補		員	別	技		補		員	
			師						師					
新点 6点	選	沪		0.3	0.6	0.3		外		1	1	1		3
	設	置			0.6		0.6	外			1		1	2
	整	理			1.0	0.8		内			1	1		2
	内訳	外業計		0.3	1. 2	0.3	0.6	外						
	L 1 E/C	内業計			1.0	0.8		内						
	合	計		0.3	2. 2	1. 1	0.6							

- (注) 1. 本歩掛は、固定点を除く一時標識の設置に適用する。3-1 水準測量と併せて使用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(H27) 改 定		現	備考
(削除)		3-2-2	
		日 数 機械経費の構成 測 別 名 称 規 格 単位 数量 摘 要 量 ライトバン 1.5 L 台日 1.2 供用日損料	
	0.3 0.6 0.	0.3 1.2 通信運搬費等の構成	
	0.6	0.6 1.2 可目 通信運搬費	
	1.0 0.	大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大小・大	
	0.3 1.2 0.	0.3 0.6 2.4 新ソリン 本 6 6 2.6%×2.4h	
		2.8 1.8 2 1 1	
		A	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

3-3 水準測量変化率

3-3-1 地域による変化率

地形		道 舀	各 上			道 舀	各外	
地域	平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大 市 街 地	0.0							
市街地甲	0.0							
市街地乙	0.0	+0.1	+0.2					
都市近郊	-0.1	0.0	+0.1		+0.2			
耕地	-0.1	0.0	+0.1		+0.1	+0.2		
原 野	+0.3	+0.4	+0.5			+0.6	+0.7	
森林			+0.6	+0.7			+0.8	+0.9

- (注) 1. (道路上) は1~4級水準測量観測, (道路外) は3, 4級水準測量観測に適用するものとする。
 - 2. (道路上)及び(道路外)の区分は主として水準路線が既設の道路沿いにあるか、そうでないかによって決定する。

3-4 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>2</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

3-3 水準測量変化率

3 - 3 - 1 地域<mark>差</mark>による変化率

	地形		道 译	各 上			道 译	各外	
地域		平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大 市	街 地	0.0							
市街	地 甲	0.0							
市街	地乙	0.0	+0.1	+0.2					
都市	近 郊	-0.1	0.0	+0.1		+0.2			
耕	地	-0.1	0.0	+0.1		+0.1	+0.2		
原	野	+0.3	+0.4	+0.5			+0.6	+0.7	
森	林			+0.6	+0.7			+0.8	+0.9

- (注) 1. (道路上) は1~4級水準測量観測, (道路外) は3, 4級水準測量観測に適用するものとする。
 - 2. (道路上)及び(道路外)の区分は主として水準路線が既設の道路沿いにあるか、そうでないかによって決定する。

3-4 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>1</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

第4節 路線測量

4-1 路線測量

本標準歩掛は、平地の標準作業歩掛であり、作業量(延長等)の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は4-2路線測量変化率により補正する。

4-1-1 作業計画

(1)標準歩掛等

			所	要 E	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量 助手	測量補助員	計
1業務	作業計画	0.6	1.2	0.8			内	1	1	1			3	0.6	1.2	0.8			2.6
当り	合 計	0.6	1.2	0.8										<mark>0. 6</mark>	<mark>1. 2</mark>	<mark>0.8</mark>			<mark>2. 6</mark>

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

4-1-2 現地踏査

(1)標準歩掛等

標準作業量	作業工程	測量主任技師	所測量技師	要上生物補質的	数	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	編測量技師	測量技師補	測量助手	成 測量補助員	士	測量主任技 師	延測量技師	人 測量技師 補	日測量助手	数測量補助員	計
1 km当り	現地踏査		1.0	1. 0			外		1	1			2		1.0	1.0			2.0
	合 計	·	1.0	1. 0	·								·		1.0	1.0			2.0

- (注) 1. 現地踏査は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第4節 路線測量

4-1 路線測量

本標準歩掛は、平地の標準作業歩掛であり、作業量(延長等)の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は4-2路線測量変化率により補正する。

4-1-1 作業計画

(1)標準歩掛等

7	(1) 徐中	产少街'守												
4				所	要日	数				紛	= #	成	,	
	標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
	1業務当り	作業計画	0.6	1. 2	0.8			内	1	1	1			3
		合 計	0.6	1. 2	0.8									

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

4-1-2 現地踏査

(1)標準歩掛等

			所	要 日	数				i	編	成	Ì	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量 技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km当り	現地踏査		1.0	1.0			外		1	1			2
	合 計		1. 0	1. 0									

- (注) 1. 現地踏査は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)			1						現	行			備	 考
	改	Æ							<u> </u>	17			7/用	与
(削除)														
			<u>-</u>	延	人	日	数 数		機械経費の構成			<mark>4-1-1</mark>	1	
			測 量	測	<mark>測</mark> 量	測	測 量		名 称	規格	単位数量	摘 要		
			主	量	基 技	量	補							
			主 任 技 師	技 師	<mark>師</mark> 補	助 手	助 員	<mark>計</mark>	通信運搬費等の構成 項 目					
			<mark>師</mark>	l the		•								
			0.6	1. 2	0.8			<mark>2. 6</mark>	世別典の推出					
			0.6	1. 2	0.8			2. 6	材料費の構成 品 名	規格	単位 数量	<mark>摘 要</mark>		
					•••									
									各費目の直接人件費に	- 対する割合				
									費目	割合	備	考		
									機械経費 通信運搬費等	0.0% 0.0%				
									材料費	0.0 <mark>%</mark>				
												4-1-2	ļ	
			2Ful	1	SEL .	日業			機械経費の構成	+ 	<mark>╨</mark> ┡			
			測 量	測 量	測 量 技	測 量	測 量			<mark>規格</mark> 5 L	単位 数量 台日 1.0	調要供用日損料		
			<mark>主</mark> 任	上 技	技 師		補 助	<mark>計</mark>	www.amassa.com/ 雑器材	<mark>v</mark>	台時 2.0 式 1	運行時間損料		
			技 師	師	補		員	н.						
			rin						通信運搬費等の構成					
				1.0	1. 0			<mark>2. 0</mark>	<mark>項目</mark>					
				1.0	1.0			2.0						
			<u> </u>						材料費の構成 品 名	規格	単位 数量	摘 要		
									<mark>木杭</mark> 6c ガソリン	em×6cm×60cm	本 13 5	2.6¦% × 2.0h		
									<mark>雑品</mark>		式 1	ال کار		
									各費目の直接人件費(費 目	<mark>こ対する割合</mark> 割 合	備	考		
									機械経費 通信運搬費等	2. 5% 0. 0%	CTN.			
									材料費	15. 0 %				
			1										<u></u>	

測量業務積算基準 エ 種

(H27)

改 現 定 行 備 考

4-1-3 伐採

(1)標準歩掛等

標準作業量	作業工程	測量主任技師	所測量技師	要測量技師補	別量 助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	成測量補助員	計	測量主任技 師	延測量 技師	人測量技師補	日測量助手	数 測量補助 員	計
1 km当り	伐 採			1.9	1.9	1. 9	外			1	1	1	3			<mark>1. 9</mark>	<mark>1. 9</mark>	<mark>1. 9</mark>	<mark>5. 7</mark>
	合 計			1.9	1. 9	1. 9										1.9	1. 9	1.9	<mark>5. 7</mark>

- (注) 1. 伐採は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 伐採は必要に応じて計上する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

4-1-4 線形決定(条件点の観測)

(1)標準歩掛等

				所 县	要 目	数				編			成			延	人	日	数	
標準 作業量	作訓	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技 師	測量技師	測量技師 補	測量助手	測量補助 員	<mark>計</mark>
10点	観	測		0.7	0.7	0. 7		外		1	1	1		3		0. 7	0.7	0. 7		2. 1
当り	点机	贪整理		0.3	0. 5			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	0.5			0.8
	内	外業計		0.7	0.7	0. 7		外								0.7	0.7	0. 7		2. 1
	訳	内業計		0.3	0.5			内								<mark>0. 3</mark>	0.5			0.8
	合	計		1.0	1. 2	0. 7										<mark>1. 0</mark>	<mark>1. 2</mark>	<mark>0. 7</mark>		<mark>2. 9</mark>

- (注) 1. 線形決定において設計条件となる点(線形決定する上で避けるべきポイント)があり、その位置(座標) (注) 1. 線形決定において設計条件となる点(線形決定する上で避けるべきポイント)があり、その位置(座標) が必要な場合に限り計上する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

4-1-3 伐採

(1)標準歩掛等

標準作業	作業工程	測量主任技師	所測量 技師	要別量技師補	数測量 助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	編別量技師補	測量 助手	測量補助員	計
1 km当り	伐 採			1.9	1.9	1.9	外			1	1	1	3
	合 計			1.9	1.9	1.9							

- (注) 1. 伐採は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 伐採は必要に応じて計上する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

4-1-4 線形決定(条件点の観測)

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				Ý	遍	月	ţ	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
10点当り	観	測		0.7	0. 7	0.7		外		1	1	1		3
	点	検整理		0.3	0. 5			内		1	1			2
	±==	外業計		0.7	0. 7	0.7		外						
	内訳	内業計		0.3	0. 5			内						
	合	計		1.0	1. 2	0.7								

- が必要な場合に限り計上する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)		
改定	現	備考
(削除)	現 行 Was A	《
	一	
	# 1	
	0.5 0.5 0.8 ガソリン 12 3 2.6	
	1.0 1.2 0.7 2.9	

改 定 現 行 備 考

4-1-5 線形決定

(1)標準歩掛等

			所	要 日	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技 師	測量技師	測量技師 補	測量助手	測量補助員	<mark>計</mark>
1 km	I P図上 決定	0.2	0.4	0.3			内	1	1	1			3	0.2	0.4	<mark>0. 3</mark>			0.9
当り	計 算		0.3	0. 3			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 3</mark>			0.6
	線形図作 成		0.2	0. 4			内		1	1			2		0. 2	<mark>0. 4</mark>			0.6
	点検整理		0.5	0. 4			内		1	1			2		<mark>0. 5</mark>	0. 4			0.9
	合 計	0.2	1.4	1. 4										0.2	<mark>1. 4</mark>	1. 4			<mark>3. 0</mark>

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

4-1-6 IP設置

(1)標準歩掛等

			所	要日	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技 師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km	I P設置 計算		0.2	0. 2			内		1	1			2		0.2	0. 2			0. 4
当り クロソイド	IP設置		0.8	0.8	0.8		外		1	1	1		3		0.8	0.8	0.8		<mark>2. 4</mark>
曲線	I P 点検 整理		0.4	0.3			内		1	1			2		<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 3</mark>			<mark>0. 7</mark>
1ヶ所 を含む	内外業計		0.8	0.8	0.8		外								<mark>0.8</mark>	<mark>0.8</mark>	<mark>0. 8</mark>		<mark>2. 4</mark>
	訳 内業計		0.6	0. 5			内								<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 5</mark>			<mark>1. 1</mark>
	合 計		1.4	1. 3	0.8										1.4	1. 3	0.8		<mark>3. 5</mark>

- (注) 1. I Pの位置を現地に設置する必要がある場合に計上する。
 - 2. IP設置計算は,座標値を持たない場合にのみ計上する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

4-1-5 線形決定

(1)標準歩掛等

			所	要日	数			編成						
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	
1 km当り	IP図上決定	0. 2	0.4	0.3			内	1	1	1			3	
	計算		0.3	0.3			内		1	1			2	
	線形図作成		0.2	0.4			乜		1	1			2	
	点検整理		0.5	0.4			内		1	1			2	
	合 計	0.2	1.4	1. 4										

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

4-1-6 IP設置

(1)標準歩掛等

				所	要日	数				幺市		成				
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計		
1 km当り クロソイド	ΙP	設置計算		0.2	0.2			内		1	1			2		
曲線	I	P設置		0.8	0.8	0.8		外		1	1	1		3		
1ヶ所を含	ΙP	IP点検整理		0.4	0.3			内		1	1			2		
ಕು	内訳	外業計		0.8	0.8	0.8		外								
	ממ	内業計		0.6	0.5			内								
	合	計		1.4	1. 3	0.8										

- (注) 1. I Pの位置を現地に設置する必要がある場合に計上する。
 - 2. IP設置計算は,座標値を持たない場合にのみ計上する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)								
改定							現	備考
(削除)							4-1-5	
		延	人	日			機械経費の構成	
	測 量	測	測	<mark>測</mark>	<mark>測</mark> 景		名 本 本 単位 数量 摘 要 座標展開機 台口 0.4	
	主	量	技 技	量	量 補 助		電子計算機 パ゚ーソナルコンピュータ " 0.3	
	任 t	技	師	助	助 回	計	雑器材 式 1	
	主 任 技 師	師	<mark>補</mark>	<mark>手</mark>	<mark>員</mark>		<mark>通信運搬費等の構成</mark>	
		<u> </u>	1			<u> </u>		
	<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 3</mark>			<mark>0. 9</mark>	<mark>項 目</mark> I	
		0.3	0.3			0.6		
	<u> </u>	0.0	0.0			1	│ <mark>材料費の構成</mark> │ 品 名 規 格 単位 数量 摘 要	
		<mark>0. 2</mark>	0.4			<mark>0. 6</mark>	品 名 規 格 単位 数量 摘 要 ポリエステルフィルム 0.9m×20m #300 本 0.16	
		0.5	0.4			0. 9	姓品 式 1	
		+-	+ =			+	┨ <u>┖</u>	
	0. 2	1.4	1.4			<mark>3. 0</mark>	各費目の直接人件費に対する場合	
							費目割合備考	
							機械経費 1.5 % 通信運搬費等 0.0 %	
							材料費 4.5 %	
							4-1-6	
		延	人		数		機械経費の構成	
	測 量	測	測 量	<mark>測</mark> —	測 量		名 称 規 格 単位 数量 摘 要 トータルステーション 3 級 台日 0.8	
	主	量	<mark>技</mark>	量	二 補 助		jイトバン 1.5L " 0.8 供用日損料	
	主 任 技	技	<mark>師</mark> 補	助	助 員	計	" 台時 1.6 運行時間損料	
	斯 阿	師	竹田	手	<mark>貝</mark>		雑器材 式 1	
		 	 					
		<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 2</mark>			<mark>0. 4</mark>	項目	
		0.8	<mark>0.8</mark>	0.8		<mark>2. 4</mark>		
		0.4	0.3			0.7	材料費の構成	
		+ =	+ =	<u> </u>	-	_	品 名 規 格 単位 数量 摘 要 木杭 9cm×9cm×90cm 本 7	
		<mark>0.8</mark>	<mark>0.8</mark>	0.8		<mark>2. 4</mark>	木杭 9cm×9cm×90cm 本 1	
		0.6	0.5			1.1	ガソリン	
	│	+	 	-	-	-	雑品	
		<mark>1. 4</mark>	1.3	0.8		<mark>3. 5</mark>		
	│	1	1	-	1		各費目の直接人件費に対する割合	
							費 目 割 合 備 考 機械経費 2.5%	
							<u> (機械経貨</u> <u> </u>	
							材料費 7.0%	

(H27)

4-1-7 中心線測量

(1)標準歩掛等

				所	要 E	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作	:業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	<mark>計</mark>
1 km	中座	心 点 標計算		0.3	0.4			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	0. 4			0. 7
当り クロソイド	測	定設置		2.7	2. 7	2. 7		外		1	1	1		3		<mark>2. 7</mark>	<mark>2. 7</mark>	<mark>2. 7</mark>		<mark>8. 1</mark>
曲 線 1ヶ所		l形地形 lの作成		0.1	0.2	0. 1		内		1	1	1		3		<mark>0. 1</mark>	<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 1</mark>		0.4
を含む	点	検整理		0.3	0.3			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 3</mark>			<mark>0. 6</mark>
	内	外業計		2.7	2. 7	2. 7		外								<mark>2. 7</mark>	<mark>2. 7</mark>	<mark>2. 7</mark>		<mark>8. 1</mark>
	訳	内業計		0.7	0.9	0. 1		内								0. 7	0. 9	0. 1		<mark>1. 7</mark>
	合	計		3. 4	3. 6	2. 8										3. 4	<mark>3. 6</mark>	2.8		9.8

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

4-1-8 仮BM設置測量

(1)標準歩掛等

				所 县	要 日	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km	測	定設置		0.8	0.8	0.8		外		1	1	1		3		0.8	0.8	<mark>0.8</mark>		2. 4
当り	計	算			0.2	0. 1		内			1	1		2			0.2	0. 1		<mark>0. 3</mark>
	点	検整理		0. 2	0.2			内		1	1			2		0. 2	0. 2			0.4
	内	外業計		0.8	0.8	0.8		外								0.8	0.8	0.8		<mark>2. 4</mark>
	訳	内業計		0. 2	0.4	0. 1		内								<mark>0. 2</mark>	0.4	0. 1		0.7
	合	計		1. 0	1.2	0. 9										1.0	1.2	0.9		<mark>3. 1</mark>

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

4-1-7 中心線測量

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				ź	編	成	ζ	
標準作業量	f	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km当り クロソイド		中 心 点 座標計算		0.3	0.4			内		1	1			2
曲線	3	則定設置		2. 7	2. 7	2. 7		外		1	1	1		3
1ヶ所を含 む		泉形地形 図の作成		0. 1	0.2	0. 1		内		1	1	1		3
	Ä	点検整理		0.3	0.3			内		1	1			2
	内	外業計		2. 7	2. 7	2. 7		外						
	訳	内業計		0. 7	0.9	0. 1		内						
	Ę	計		3. 4	3. 6	2.8								

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

4-1-8 仮BM設置測量

(1)標準歩掛等

				所	要日	数				<u> </u>	編	成	Ì	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km当り	測	定設置		0.8	0.8	0.8		外		1	1	1		3
	計	算			0. 2	0. 1		内			1	1		2
	点	検整理		0. 2	0. 2			内		1	1			2
	内訳	外業計		0.8	0.8	0.8		外						
	אַ פֿירַ אַ	内業計		0. 2	0. 4	0. 1		内						
	合	計		1. 0	1. 2	0.9								

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)	<u> </u>							/## -##
改 定							現	備考
(削除)	 	<u>延</u> <mark>測</mark> 量	人測量技	日 測 量	数 測 量補		4-1-7 機械経費の構成 名 称 規 格 単位 数量 摘 要 トラルステーション 3級 座標展開機 " 0.2	
	工 任 技 師 —————————————————————————————————	<mark>技</mark> 師	7	助 手	開 助 員	計 0.7	がと 1.5L " 2.7 供用日損料 " 台時 5.4 運行時間損料 雑器材 式 1	
		2. 7	2. 7	2. 7		8. 1	通信運搬費等の構成 項	
		0. 1	0. 2	0.1		0. 4	材料費の構成	
		0. 3	0.3			0.6	品 名 規 格 単位 数量 摘 要 木杭 9cm×9cm×75cm 本 10	
		2. 7	2. 7	2. 7		8. 1	" 6cm×6cm×60cm " 65 ま*リエステルフィルム 0.9m×20m #300 " 0.17 ガソリン は 14 2.6 は × 5.4h	
		0. 7	0.9			1. 7	ガソリン パス 14 2.6 パル×5.4 h 雑費 コ 式 1	
		3. 4	<mark>3. 6</mark>	2.8		<mark>9. 8</mark>	各費目の直接人件費に対する割合	
							費 目 高 備 考 機械経費 3.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 8.5%	
		<u>_</u> 延	人	В	数 		4-1-8 機械経費の構成	
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	名 林 単位 数量 摘要 レベル 3級 台日 0.8 ライトパン 1.5L " 0.8 供用日損料 " 台時 1.6 運行時間損料 雑器材 式 1	
		0.8	0.8	0.8		<mark>2. 4</mark>	通信運搬費等の構成 項 目	
			0.2	0.1		<mark>0. 3</mark>	<u> </u>	
		0.2	0.2	<u> </u>		0. 4	材料費の構成 品名 規格 単位 数量 摘要 木杭 9cm×9cm×75cm 本 3	
	-	0.8		+ = -		2. 4 0. 7	ガソリン 次 4 2.6次×1.6h 雑品 式 1	
		0. 2 1. 0	$\vdash \equiv$	 		3. 1	各費目の直接人件費に対する場合	
							費目 割合 備考 機械経費 2.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 4.5%	

エ 種 測量業務積算基準

(H27)

改 定 行 備 現

4-1-9 縦断測量

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数			1	編			成			延	Ţ	日	数	,
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師		測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手		計	測量主任技師	型 測量 技師	測量技師補	測量助手		<u>計</u>
1 km	観	測		1. 4	1.4	1. 4		外		1	1	1		3		1.4	1.4	<mark>1. 4</mark>		4. 2
当り 往復		断面図 作成		0.2	0.4	0.4		内		1	1	1		3		0. 2	<mark>0. 4</mark>	0. 4		1.0
	点	検整理		0.3	0.2			内		1	1			2		0.3	0.2			<mark>0. 5</mark>
	内	外業計		1. 4	1.4	1. 4		外								1.4	1.4	1.4		<mark>4. 2</mark>
	訳	内業計		0.5	0.6	0. 4		内								<mark>0. 5</mark>	0.6	0.4		<mark>1. 5</mark>
	合	計		1. 9	2.0	1.8										1. 9	2.0	1.8		<mark>5. 7</mark>

- (注) 1. 縦断測量は直接水準,間接水準の両方に適用し,機械経費には,間接水準におけるトータルステーション (注) 1. 縦断測量は直接水準,間接水準の両方に適用し,機械経費には,間接水準におけるトータルステーション
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費, 通信運搬費等, 材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に 基づき別途計上する。

4-1-10 横断測量

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				編			成			延	人	日	数	Į.
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助 員	計
1 km	観	測		4. 2	4. 2	4. 2		外		1	1	1		3		<mark>4. 2</mark>	<mark>4.</mark> 2	<mark>4.</mark> 2		12.6
当り	縦断	f面図作			1.8	1. 5		内			1	1		2			1.8	<mark>1. 5</mark>		<mark>3. 3</mark>
幅 60m クロソイト	点	検整理		0.7	0. 7			内		1	1			2		0. 7	0. 7			1. 4
曲 線 1ヶ所	内	外業計		4. 2	4. 2	4. 2		外								<mark>4.</mark> 2	<mark>4.</mark> 2	<mark>4. 2</mark>		12.6
を含む	訳	内業計		0.7	2. 5	1.5		内								0. 7	<mark>2. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>		4. 7
	合	計		4. 9	6. 7	5. 7										<mark>4. 9</mark>	<mark>6. 7</mark>	<mark>5. 7</mark>		17. 3

- (注) 1. 横断測量は直接水準,間接水準の両方に適用し,機械経費には,間接水準におけるトータルステーション(注) 1. 横断測量は直接水準,間接水準の両方に適用し,機械経費には,間接水準におけるトータルステーション も含む。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

4-1-9 縦断測量

(1)標準歩掛等

				所	要日	数				ź	編	成	ζ	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km当り 往復	観	測		1.4	1.4	1.4		外		1	1	1		3
	縦断	面図作成		0.2	0.4	0.4		内		1	1	1		3
	点	検整理		0.3	0.2			内		1	1			2
		外業計		1.4	1.4	1.4		外						
	内訳	内業計		0.5	0.6	0.4		内						
	合	計		1. 9	2.0	1.8								

- - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

4-1-10 横断測量

(1)標準歩掛等

				所	要日	数				á	編	成	ţ	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km	観	測		4. 2	4. 2	4. 2		外		1	1	1		3
当り 幅 60m	縦断	縦断面図作成			1.8	1. 5		内			1	1		2
クロソイト *	点	検整理		0.7	0.7			内		1	1			2
曲 線 1ヶ所	#==	外業計		4. 2	4. 2	4. 2		外						
を含む	内訳	内業計		0. 7	2. 5	1. 5		内						
	合	計		4. 9	6. 7	5. 7								

- も含む。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(H27)			
改定		現	備考
(削除)	│	機械経費の構成 単位 数量 摘 要	
	│	助員 " 当時 2.8 運行時間損料 雑器材 式 1	
	0.2 0.4 0.4		
	0.3 0.2		
	1.4 1.4 1.4		
	0.5 0.6 0.4	1.5	
	1. 9 2. 0 1. 8	一	
		費 目 割 合 備 考 機械経費 2.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 5.5%	
	4.2 4.2 4.2	12.6 通信運搬費等の構成 12.6	
	1.8 1.5		
	0.7 0.7		
	4. 2 4. 2 4. 2	+ to 4 5 cm × 4 5 cm × 4 5 cm × 4 5 cm	
	0.7 2.5 1.5	ガンコン。 りゅう1 9 6リッマ 0 4b	
	4. 9 6. 7 5. 7		
		各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備 考 機械経費 2.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 6.0%	

エ 種 測量業務積算基準

(H27)

改 定 現 行 備 考

4-1-11 詳細測量(縦断測量)

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技 師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
0.5km 当り	縦	断面図 作成		0. 1	0. 4			内		1	1			2		0. 1	0. 4			<mark>0. 5</mark>
1/100	縦	断測量		1. 0	1. 0	1.0		外		1	1	1		3		1.0	1.0	1.0		<mark>3. 0</mark>
0.5km 当り	点	検整理		0.3	0. 1			内		1	1			2		<mark>0. 3</mark>	0. 1			0. 4
	内	外業計		1. 0	1. 0	1.0		外								1. 0	1.0	1.0		<mark>3. 0</mark>
	訳	内業計		0.4	0. 5			内								0. 4	<mark>0. 5</mark>			0. 9
	合	計		1. 4	1. 5	1.0										1. 4	<mark>1. 5</mark>	1.0		<mark>3. 9</mark>

- (注) 1.詳細測量は、4-1-9縦断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上する。 (注) 1.詳細測量は、4-1-9縦断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

4-1-12 詳細測量(横断測量)

(1)標準歩掛等

				所 -	要日	数				編			成			延	人	日	数	\Box
標準 作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技 師	測 量 技 師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
0.5km 当り	横	断面図 作成		0. 3	0.8	0. 5		内		1	1	1		3		<mark>0. 3</mark>	<mark>0.8</mark>	<mark>0. 5</mark>		1.6
1/100	横	断測量		2. 1	2. 1	2. 1		外		1	1	1		3		<mark>2. 1</mark>	2. 1	<mark>2. 1</mark>		<mark>6. 3</mark>
0.5km 当り	点	検整理		0. 5				内		1				1		<mark>0. 5</mark>				<mark>0. 5</mark>
	内	外業計		2. 1	2. 1	2. 1		外								<mark>2. 1</mark>	2. 1	2. 1		<mark>6. 3</mark>
	訳	内業計		0.8	0.8	0. 5		内				·				0.8	0.8	0. 5		<mark>2. 1</mark>
	合	計		2. 9	2.9	2.6										2.9	2.9	2.6		8.4

- (注) 1. 詳細測量は、4-1-10 横断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上す (注) 1. 詳細測量は、4-1-10 横断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上す
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割 合」に基づき別途計上する。

4-1-11 詳細測量(縦断測量)

(1)標準歩掛等

				所 ∃	要日	数				編			成	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
0.5km 当り	紨	断面図 作成		0. 1	0.4			内		1	1			2
1/100	紛	断測量		1. 0	1.0	1. 0		外		1	1	1		3
0.5km 当り	点	検整理		0.3	0.1			内		1	1			2
	内	外業計		1. 0	1.0	1. 0		外						
	訳	内業計		0. 4	0.5			内						
	合	計		1. 4	1.5	1. 0								

2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

4-1-12 詳細測量(横断測量)

(1)標準歩掛等

				所	要日	数				i	編	成	,	
標準作業量	11	非業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
0.5km 当り	横图	f面図作成		0.3	0.8	0.5		内		1	1	1		3
1/100	棱	黄断測量		2. 1	2. 1	2. 1		外		1	1	1		3
0.5km 当り	ķ	京検整理		0. 5				内		1				1
	内	外業計		2. 1	2. 1	2. 1		外						
	訳	内業計		0.8	0.8	0.5		内						
	4	計		2. 9	2. 9	2. 6								

- る。
- 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)							
改 定							現 行 備 考
<mark>(削除)</mark> The second of the seco		_					4-1-11
	測		延 <u>人</u> 測	日測	数 測		<mark>機械経費の構成</mark> 名 称
	量	름	量	量	量		レベル 3級 台日 1.0
	主 任	技	技 師	助 助	補 助	計	<mark>"</mark> 台時 2.0 運行時間損料
	技 師	師	補	手	<mark>員</mark>		<mark>雑器材</mark>
	-	_					
		0.1	+=		-	<mark>0. 5</mark>	
		1.0	1.0	1.0		<mark>3. 0</mark>	
		<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 1</mark>			<mark>0. 4</mark>	│ <mark>材料費の構成</mark> │ <mark>品 名 規 格 単位</mark> 数量 摘 要
		1.0	1.0	1.0		<mark>3. 0</mark>	木杭 4.5cm×4.5cm×45cm 本 23 セクションポリエステルフィルム 0.9m×20m #300 " 0.18
		0. 4	0.5			0. 9	ガソリン 次 5 2.6 k × 2.0h 雑品 式 1
		1.4	1.5	1.0		3. 9	SEHH L
							各費目の直接人件費に対する割合
							費 目 割 合 備 考 機械経費 2.0%
							<mark>通信運搬費等 0.0%</mark>
							<mark>材料費 </mark>
	_	3	征 人	日	数		
		測	測	測	測		<mark>名 称 規 格 単位 数量 摘 要</mark>
	量 主	_ _	量 技	量	量 補		レベル 3級 台日 2.1 ライトバン 1.5 L " 2.1 供用日損料
	任 技	技	師	助	助 員	計	" 台時 4.2 運行時間損料 雑器材 式 1
	師	師	THI	<mark>手</mark>	P.		本社会(27) 工 I
	-	0. 3	+=		1	1.6	<u>項 目</u>
		<mark>2. 1</mark>	<mark>2. 1</mark>	2. 1		<mark>6. 3</mark>	
		<mark>0. 5</mark>				<mark>0. 5</mark>	<mark>□材料費の構成</mark> □ 品 名 規 格 単位 □数量 ■ 摘 要
		2. 1	2. 1	2. 1		<mark>6. 3</mark>	木杭 4.5cm×4.5cm×45cm 本 61 セクションホーリエステルフィルム 0.9m×20m #300 " 0.25
		0.8	0.8	0. 5		<mark>2. 1</mark>	<mark>ガソリン</mark>
	\vdash	_	+-	+	-		<mark>雑品</mark> 式 1
		<mark>2. 9</mark>	2.9	<mark>2. 6</mark>		<mark>8. 4</mark>	
							各費目の直接人件費に対する割合 費 割 合 備 考
							機械経費 2.0% 通信運搬費等 0.0%
							材料費 8.0%

(H27)

4-1-13 用地幅杭設置測量

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				編			成			延	人	日	数	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	<mark>測量補助</mark> 員	計
1 km	座	標計算		0.7	1. 1			内		1	1			2		0.7	1. 1			<mark>1. 8</mark>
当り	測	定設置		1. 9	1. 9	1. 9		外		1	1	1		3		<mark>1. 9</mark>	<mark>1. 9</mark>	<mark>1. 9</mark>		<mark>5. 7</mark>
	杭打	「図作成			1.0			内			1			1			1.0			<mark>1. 0</mark>
	点	地幅杭 間測量 長測定)		1. 5	1. 5	1. 5		外		1	1	1		3		<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>		<mark>4. 5</mark>
	点	検整理		1. 0	1.0			内		1	1			2		1.0	1.0			2.0
	内	外業計		3. 4	3. 4	3. 4		外								3. 4	3. 4	<mark>3. 4</mark>		10. 2
	訳	内業計		1. 7	3. 1			内								1. 7	3. 1			<mark>4. 8</mark>
	合	計		5. 1	6. 5	3. 4							_			<mark>5. 1</mark>	<mark>6. 5</mark>	<mark>3. 4</mark>		<mark>15. 0</mark>

- (注) 1. 用地幅杭で、コンクリート杭を使用する場合は、別途計上する。
 - 2. 用地幅杭を片側のみ設置する場合においても同一歩掛とする。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

(1)標準歩掛等

				所	要 日	数				ź	編	成	ţ	
標準作業量	企業工程		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 km当り	座	標計算		0.7	1. 1			内		1	1			2
	測	定設置		1. 9	1. 9	1. 9		外		1	1	1		3
	杭打図作成				1.0			内			1			1
	用地位量(注	福杭点間測 四長測定)		1. 5	1. 5	1. 5		外		1	1	1		3
	点	検整理		1. 0	1.0			内		1	1			2
	内訳	外業計		3. 4	3. 4	3. 4		外						
	いるい	内業計		1. 7	3. 1			内						
	合	計		5. 1	6. 5	3. 4								

- (注) 1. 用地幅杭で、コンクリート杭を使用する場合は、別途計上する。
 - 2. 用地幅杭を片側のみ設置する場合においても同一歩掛とする。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)	改	定							現	備考
(削除)										
				延	人		<mark>数</mark>		4-1-13 機械経費の構成	
			測 量	測 量	測 量	測 量	測 量 補		名 称 規 格 単位 数量 摘 要 トータルステーション 3級 台日 3.4	
			主任技師	大 大	技 師	更 助	<mark>助</mark>	<mark>計</mark>	電子計算機 パーソナルコンピュータ パーリナルコンピュータ jイトパン 1.5 L パースナルコンピュータ パース・コート 1.3 4 供用日損料	
			技 師	<mark>師</mark>	<mark>補</mark>	<mark>手</mark>	<mark>員</mark>		" 台時 6.8 運行時間損料 雑器材 式 I	
				0.5				1.0		
				0.7	1. 1	1 0		1. 8 5. 7	<mark>通信運搬費等の構成</mark> 項 目	
				1. 9	1. 9 1. 0	<mark>1. 9</mark>		1. 0		
					1. U			1.0	<mark>材料費の構成</mark> 品 名 規 格 単位 <mark>単位</mark> 数量 摘 要	
				<mark>1. 5</mark>	1. 5	<mark>1. 5</mark>		<mark>4. 5</mark>	木杭 6cm×6cm×60cm 本 137 ガソリン 以表 17 2.6以本×6.8h	
				1.0	1.0			2.0	雑費 式 1	
				3. 4	3. 4	3. 4		10.2	各費目の直接人件費に対する割合	
				<mark>1. 7</mark>	3. 1			<mark>4.8</mark>	費 目 割 合 備 考 機械経費 2.5%	
				<mark>5. 1</mark>	<mark>6. 5</mark>	<mark>3. 4</mark>		<mark>15. 0</mark>	通信運搬費等 0.0% 材料費 8.5%	

測量業務積算基準 エ 種

(H27)

改 行 定 現 備考

4-2 路線測量変化率

4-2-1 変化率適用表

工程	区分/種類	地域	交 通 量	曲線数	測量幅	測点間隔
作	業 計 画					
現力	地 踏 査	0	0			
伐	採	0	0			
条 件	点の観測	0				
線	形決定	0				
I	P 設置	0	0	0		
中 心	線測量	0	0	0		0
仮BI	M 設置測量	0	0			
縦	断 測 量	0	0			
横	断 測 量	0	0	0	0	0
詳細	縦断測量	0	0			
測量	横断測量	0	0			
	畐杭設置測量 畐杭点間測量	0	0			

4 - 2 - 2 地<mark>域</mark>による変化率 <mark>(削除)</mark>

(H) by				
地域/地形	平 地	丘 陵 地	低山地	高山地
大市街地	+1.0			
市街地甲	+0.4			
市街地乙	+0.3	+0.5		
都市近郊	+0.2	+0.3		
耕 地	0.0	+0.1	+0.2	
原 野	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5
森 林	+0.3	+0.4	+0.6	+0.7

4-2-3 交通量による変化率

	現 地 条 件	変 化 率	備考
交	3,000台以上/12時間	+0.2	かなり影響を受ける
通	1,000~3,000台未満/12時間	+0.1	ある程度影響を受ける
量	0~1,000台未満/12時間	0.0	影響を受けやすい

4-2 路線測量変化率

4-2-1 変化率適用表

工程	区分/種類	<mark>地 形</mark>	交 通 量	曲線数	測量幅	測点間隔
作	業 計 画					
現	地 踏 査	0	0			
伐	採	0	0			
条件	点の観測	0				
線	形 決 定	0				
I	P 設 置	0	0	0		
中心	ぶ線 測量	0	0	0		0
仮 B	M 設置測量	0	0			
縦	断測量	0	0			
横	断測量	0	0	0	0	0
詳細	縦断測量	0	0			
測量	横断測量	0	0			
	- 嗝杭設置測量 嗝杭点間測量	0	0			

4 - 2 - 2 地<mark>形</mark>による変化率

表4.1 地形による変化率

地域/地形	平 地	丘 陵 地	低山地	高山地
大市街地	+1.0			
市街地甲	+0.4			
市街地乙	+0.3	+0.5		
都市近郊	+0.2	+0.3		
耕 地	0.0	+0.1	+0.2	
原 野	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5
森 林	+0.3	+0.4	+0.6	+0.7

4-2-3 交通量による変化率

	現 地 条 件	変 化 率	備考
交	3,000台以上/12時間	+0.2	かなり影響を受ける
通	1,000~3,000台未満/12時間	+0.1	ある程度影響を受ける
皇里	0~1,000台未満/12時間	0.0	影響を受けやすい

改 定 備 考

4-2-4 曲線数による変化率

本標準歩掛は、クロソイド曲線 $(A_1 + R + A_2)$ 1ヶ所を標準としており、曲線数による変化率は下表のとおりとする。

曲線数による変化率の適用にあたってクロソイド曲線数は変化率参考図の換算単曲線曲線数により、 単曲線数に換算し(クロソイド曲線1ヶ所をもって単曲線2ヶ所とする)、単独単曲線数と合算したう え、1km当りに換算し四捨五入するものとする。

表 4. 1 曲線数による変化率表

ſ	単曲線換算		9.											以上
	曲	線	数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0
ſ	変	化	率	-0.1	-0.1	0.0	0.0	+0.1	+0.1	+0.2	+0.2	+0.3	+0.3	+0.4

曲線数による変化率参考図

	ソイド				換算
型	曲線	参考図	備	考	単曲線
式	数				曲線数
基		A 1 P			
本	1	A 2			2
型		δ			
凸		A 1P A 2	点 P に L =	- O Ø 🖽	
	1		曲線がある		2
型			る。		
S		0 A 3 R 2			
	2	A_1 A_2 A_4	変曲点〇つ 分けて考え		4
型		· ·			
即		R1 O A	卵型のクロ	ュソイド	
	2	A 1	Aの途中で		4
型		b b A 2	分けて考え	る。	
複		A 3	点 P に L =	= O の円	
合	2	R	曲線がある		4
型		00 A1 A2	として考え	る。	

4-2-4 曲線数による変化率

本標準歩掛は、クロソイド曲線(A_1+R+A_2)1 ヶ所を標準としており、曲線数による変化率は下表のとおりとする。

曲線数による変化率の適用にあたってクロソイド曲線数は変化率参考図の換算単曲線曲線数により、単曲線数に換算し(クロソイド曲線1ヶ所をもって単曲線2ヶ所とする)、単独単曲線数と合算したうえ、1 km 当りに換算し四捨五入するものとする。

表4. 2 曲線数による変化率表

単曲線換算												以上	
曲	線	数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0
変(化 率		-0.1	-0.1	0.0	0.0	+0.1	+0.1	+0.2	+0.2	+0.3	+0.3	+0.4

曲線数による変化率参考図

	ノイド			換算
型	曲	参考図	備考	単曲線
	線	グ ⁷ ロ	VIII → →	平田水
式	数			曲線数
基		A1 Pa		
本	1	A 2		2
型		8		
Д		A1 <u>P</u> A2	点 P に L = O の 円	
	1	A 1 P A 2	曲線があると考え	2
型		* 0	る。	
S		A 3		
	2	A 1	変曲点Oで2つに 分けて考える。	4
型		A = A = A = A = A = A = A = A = A = A =	対けて考える。	
印		A	印刷のカラソノド	
	2	R ₂	卵型のクロソイド Aの途中で2つに	4
型		A 1 A 2	分けて考える。	
複		م م	点 P に L = O の円	
合	2	$\stackrel{A3}{\triangleright}_R$	曲線がある卵型線	4
型		0 O A 1 A 2	として考える。	

4-2-5 測量幅,測点間隔による変化率

(1) 中心線測量の測点間隔による変化率

中心線測量は、中心杭の間隔は 20mを標準として、これにプラス杭、役杭を加えたものとする。 基準点に取り付ける場合は、基準点測量の歩掛により別途計上する。

表 4. 2 中心線測量の測点間隔による変化率

測点間隔	1 0 m	2 0 m	2 5 m	5 0 m
変化率	+0.3	0.0	-0.1	-0.3

(2) 横断測量の測量幅及び測点間隔による変化率

横断測量の測量幅は、中心線より左右各 30mで測点間隔 20mを標準としており、それと異なる場合は次表の変化率による。

表4.3 横断測量の測量幅及び測点間隔による変化率

幅間隔	45m 未満	45m以上 ~ 75m未満	75m ~ 95m	95m ~ 105m	105m ~ 115m	115m ~ 125m	125m ~ 135m	135m ~ 145m
1 0 m	0.6	0.8	1.0	1. 1	1.2	1.2	1.3	1. 4
2 0 m	-0.1	0.0	0. 2	0.2	0.3	0.3	0. 4	0.4
2 5 m	-0.1	0.0	0. 1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
5 0 m	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1	0.0
100m	-0.5	-0.4	-0.3	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2

幅間隔	145m 以上 ~ 155m未満	155m ~ 165m	165m ~ 175m	175m ~ 185m	185m ~ 195m	195m ~ 205m	205m ~ 250m	250m ~ 300m
1 0 m	1.5	1.6	1. 7	1.8	1.8	1.9	2. 1	2. 4
2 0 m	0.4	0. 5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	1. 0
2 5 m	0.4	0. 4	0.5	0.5	0.5	0.6	0. 7	0. 9
5 0 m	0.0	0.0	0. 1	0.1	0.1	0.1	0. 2	0.4
100m	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0. 1

4-3 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>4</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、 1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

4-2-5 測量幅,測点間隔による変化率

(1) 中心線測量の測点間隔による変化率

中心線測量は、中心杭の間隔は20mを標準として、これにプラス杭、役杭を加えたものとする。 基準点に取り付ける場合は、基準点測量の歩掛により別途計上する。

表4. 3 中心線測量の測点間隔による変化率

測点間隔	1 0 m	2 0 m	2 5 m	5 0 m
変化率	+0.3	0.0	-0.1	-0.3

(2) 横断測量の測量幅及び測点間隔による変化率

横断測量の測量幅は、中心線より左右各 30mで測点間隔 20mを標準としており、それと異なる場合は次表の変化率による。

表4.4 横断測量の測量幅及び測点間隔による変化率

幅間隔	45m 未満	45m以上 ~ 75m未満	75m ~ 95m	95m ~ 105m	105m ~ 115m	115m ~ 125m	125m ~ 135m	135m ~ 145m
1 0 m	0.6	0.8	1. 0	1. 1	1. 2	1. 2	1. 3	1.4
2 0 m	-0.1	0.0	0. 2	0.2	0.3	0.3	0. 4	0.4
2 5 m	-0.1	0.0	0. 1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
5 0 m	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-0. 1	0.0
1 0 0 m	-0.5	-0.4	-0.3	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2

幅間隔	145m以上 ~ 155m未満	155m ~ 165m	165m ~ 175m	175m ~ 185m	185m ~ 195m	195m ~ 205m	205m ~ 250m	250m ~ 300m
1 0 m	1.5	1.6	1. 7	1.8	1.8	1. 9	2. 1	2. 4
2 0 m	0.4	0. 5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	1.0
2 5 m	0.4	0.4	0. 5	0.5	0.5	0.6	0. 7	0.9
5 0 m	0.0	0.0	0. 1	0.1	0.1	0.1	0. 2	0.4
1 0 0 m	-0.2	-0. 1	-0. 1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0. 1

4-3 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>3</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

第5節 河川測量

5-1 河川測量

本歩掛は、作業量(延長・幅・断面数等)の増減に対しては、比例計算で補正を行う。

5-1-1 作業計画

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は,流心延長30km以下とする。

標達	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
1 🗦	業務当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計							外										
訳	内業計		0.8	0.6	0.3			内	1	1	1			0.8	<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 3</mark>		
合	計		0.8	0.6	0.3									0.8	0.6	0. 3		

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-2 現地踏査

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は,流心延長 30km 以下とする。

流心延長 10 km までを延長による比例計算を行うものとし、10 km 超~30 km までは 10 km と同様の歩掛とする。

標達	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)						
	記心延長 km当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計		0.1	0.3	0.3	0.2		外	1	1	1	1		<mark>0. 1</mark>	<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 2</mark>	
訳	内業計							内										
合	計		0. 1	0.3	0.3	0.2					-	-	-	0. 1	0. 3	0.3	0. 2	

- (注) 1. 河川工事測量の現地踏査は路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 現地踏査は精度管理費係数の対象としない。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第5節 河川測量

5-1 河川測量

本歩掛は、作業量(延長・幅・断面数等)の増減に対しては、比例計算で補正を行う。

5-1-1 作業計画

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は,流心延長 30km 以下とする。

l	標準	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
	1 蕦	美務当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	内	外業計							外					
	訳	内業計		0.8	0.6	0.3			内	1	1	1		
	合	₩		0.8	0.6	0.3								

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

5-1-2 現地踏査

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は,流心延長 30km 以下とする。

流心延長 10km までを延長による比例計算を行うものとし、10km 超~30km までは 10km と同様の歩掛と する。

標達	摩準作業量			所要	日数	(A)		内		(B)			
	心延長 km当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計		0.1	0.3	0.3	0.2		外	1	1	1	1	
訳	内業計							内					
合	計		0. 1	0.3	0.3	0. 2							

- (注) 1. 河川工事測量の現地踏査は路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 現地踏査は精度管理費係数の対象としない。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

エ 種	測量業務積算基準

2()	改	定					Į	現	備考
削除)									
			_					5-1	<u>-1</u>
				則 則 量	日(A)× 測 量	(B) 測 量	測 量 海	機械経費の構成 規 格 単位 数量 摘	<mark>罗</mark>
				E D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	測量技師補	測量助手	<mark>助</mark> 員		
			0.	8 0.6	0.3			通信運搬費等の構成 項 目	
			0.	8 0.6	0.3				
								材料費の構成 品 規 格 単位 数量 摘	E
								各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備考 機械経費 0.0% 通信運搬費等 0.0%	
								材 料 費 0.0%	

(H27)	改	 定					玗	₹	行				備	考
(削除)														
													1	
				延	人目(A)	\times (B)		機械経費の構成	Ž			<mark>5-1-2</mark>	1	
				測 量 量	則 】 量 量	測量助手	測 量	名	1.5L	台	位 数 5 0.3	供用日損料	1	
				主 任 E	量技師補	助 手 	補 助	www. #器材	II .	<u></u>	時 0.6 1	運行時間損料	1	
				技 師			<mark>員</mark>						1	
				0.1 0.	0.3	0.2		通信運搬費等の	 構成				1	
				0. 1 0.	0.3	0. 2		<mark>項 目</mark>					1	
			L					材料費の構成					1	
								品 名 ガソリン	規	-	<u>位</u> 数 量	in i	1	
								雑品		-	1		1	
													1	
													1	
								各費目の直接人 費 目	件費に対する害 割	可合 合	備	考	1	
								機械経費	1. 5	5 <mark>%</mark> 0 <mark>%</mark>	V114		1	
								材料費	11. 5	<mark>5%</mark>			1	
													1	
													1	
													1	
													1	
													1	
													1	
													1	

(H27)

改 定 備 考

5-1-3 距離標設置測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、距離標設置数 100 点以下とする。

標	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
10	0点当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計				2.0	2.0	1.9	外			1	1	1			<mark>2. 0</mark>	<mark>2. 0</mark>	<mark>1. 9</mark>
訳	内業計			1.0	0.9	0.5		内		1	1	1			1.0	<mark>0. 9</mark>	<mark>0. 5</mark>	
合	計			1.0	2.9	2.5	1.9								1.0	<mark>2. 9</mark>	<mark>2. 5</mark>	1.9

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-4 水準基標測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、測量延長 30km 以下とする。

標準	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
	l量延長 Dkm当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計			1.5	1.5	1.5		外		1	2	2			1. 5	<mark>3. 0</mark>	<mark>3. 0</mark>	
訳	内業計		0.3	1.9	1.4	1.6		内	1	1	1	1		<mark>0. 3</mark>	1. 9	1. 4	<mark>1. 6</mark>	
合	計		0.3	3. 4	2.9	3. 1								0.3	3. 4	4. 4	4. 6	

- (注) 1. 既知点 (水準点) から水準基標までの取付観測が必要な場合は、2級水準測量を計上するものとする
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-3 距離標設置測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、距離標設置数 100 点以下とする。

標達	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
10)点当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計				2.0	2.0	1.9	外			1	1	1
訳	内業計			1.0	0.9	0.5		内		1	1	1	
合	計			1.0	2.9	2. 5	1. 9						

(注)本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

5-1-4 水準基標測量

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、測量延長 30km 以下とする。

標準	作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
測量	란延長 m当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	外業計			1.5	1.5	1. 5		外	Hila	1	2	2	
訳	内業計		0.3	1. 9	1.4	1.6		内	1	1	1	1	
合	計		0.3	3. 4	2.9	3. 1							

- (注) 1. 既知点(水準点)から水準基標までの取付観測が必要な場合は、2級水準測量を計上するものとする。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設

エ 種	測量業務積算基準

	改	定		現	行	備	考
(削除)	改	定	延人日(A)×(B) 測量 測量 測量 測量 測量 期量 期量 期量 期量 制量 抽助員 上任 5 5 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.1 4.4 4.6 4.6 0.3 3.4 4.4 4.6	機械経費の構成 名 称 レベル ライトバン リ 雑器材 通信運搬費等の 項 目	規 格 単位 数量 摘 要 2級 台目 3.0 供用日損料 1.5L " 3.0 供用日損料 一 古時 6 運行時間損料 式 1 構成 規 格 単位 数量 摘 要	備	考
				ガソリン 雑品	成 格 単位 数 重 摘 要		
				通信運搬費等 材 料 費	0. 0% 1. 0%		

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

改 定 備 考

5-1-5 河川定期縦断測量 直接水準

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、定期縦断測点間隔50~200mかつ流心延長30km以下とする。

標準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
流心延長 1 km当り 縦 1/100	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横 1/1,000	観 測		0.5	1. 0	0.5	0. 4	外		1	1	2	1		<mark>0. 5</mark>	1.0	1.0	<mark>0. 4</mark>
	縦断面図作成		0.3	0. 2	0. 1		内		1	1	1			<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 1</mark>	
	点検整理		0.3	0. 2	0.1		内		1	1	1			<mark>0. 3</mark>	0.2	0. 1	
内 外業計			0.5	1.0	0.5	0.4	外							<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 0</mark>	1. 0	0.4
訳 内業計			0.6	0.4	0.2		内							<mark>0. 6</mark>	0.4	0. 2	
合 計			1. 1	1. 4	0.7	0. 4					-	-		1. 1	1. 4	1. 2	0. 4

- (注) 1. 河川工事測量は路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-5 河川定期縦断測量 直接水準

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、定期縦断測点間隔50~200mかつ流心延長30km以下とする。

標準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
流心延長 1 km当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦 1/100 横 1/1,000	観測		0. 5	1.0	0.5	0.4	外		1	1	2	1
	縦断面図作成		0.3	0.2	0. 1		内		1	1	1	
	点検整理		0.3	0.2	0. 1		内		1	1	1	
内 外業計			0.5	1.0	0.5	0.4	外					
訳 内業計			0.6	0.4	0.2		内					
合 計		-	1. 1	1.4	0.7	0.4		-				

- (注) 1. 河川工事測量は路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(H27)		
改定	現	備考
<mark>(削除)</mark>		
	5-1-5	
	延人日(A)×(B) 機械経費の構成 測 測 測 測 測 名 規 格 単位 数 量 摘	
	測 測 測 測 測 測 測 測 測 測 測 測 期 調 期 日本 日本 <t< td=""><td></td></t<>	
	量 量 量 量 量 上ベル 3級 台日 1.0 主 技 技 助 補 ライトバン 1.5L " 1.0 供用日損料 任 師 手 助 " 1.5L " 1.0 供用日損料	
	任 師 事 助 " 当 当 当 当 当 当 1 </td <td></td>	
	技 補 員 電子計算機 台日 0.2 自動製図機用 新 雑器材 式 1	
	m 業器材 式 1	
	0.5 1.0 1.0 0.4 通信運搬费等の構成	
	巡门足顺 其守**时从	
	0.3 0.2 0.1	
	0.5 1.0 1.0 0.4 材料費の構成	
	0.6 0.4 0.2 品 名 規 格 単位 数量 摘 要	
	木杭 6.0cm×6.0cm 本 10	
	1.1 1.4 1.2 0.4 セクションホッリエステルフィルム 0.9m×10m #300 " 0.2 ガソリン 環境 5 2.6 環境 × 2.0h	
	各費目の直接人件費に対する割合 費 目 割 合 備 考	
	機 械 経 費 2.0%	
	通信運搬費等 0.0%	
	材 料 費 8.0%	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

5-1-6 河川定期横断測量 直接水準(平地)

- (1)標準歩掛等
 - 本歩掛の適用範囲は,平均測量幅2~800mかつ定期横断測点間隔50~200mかつ流心延長30km以下と まる
 - 平均測量幅 450mまでを幅による比例計算を行うものとし、450m超~800mまでは 450mと同様の歩掛する。

標準	隼作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
	400m 10本当り 1/100	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横:	1/200~	観 測		4.0	6.0	5. 0	4.8	外		1	1	1	1		<mark>4. 0</mark>	<mark>6. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>	4.8
	1/1,000	横断面図作成		2.0	4. 0	4. 5		内		1	1	1			<mark>2. 0</mark>	<mark>4. 0</mark>	<mark>4. 5</mark>	
		点検整理	0. 2	1.0	1. 2	0.5		内	1	1	1	1		<mark>0. 2</mark>	1.0	<mark>1. 2</mark>	<mark>0. 5</mark>	
内	外業計			4.0	6.0	5.0	4.8	外							4. 0	<mark>6. 0</mark>	<mark>5. 0</mark>	<mark>4.8</mark>
訳	内業計		0.2	3.0	5. 2	5.0		内						0.2	<mark>3. 0</mark>	<mark>5. 2</mark>	<mark>5. 0</mark>	
合	計		0. 2	7.0	11. 2	10.0	4.8							0. 2	7. 0	11. 2	10. 0	4.8

- (注) 1. 河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-6 河川定期横断測量 直接水準(平地)

- (1)標準歩掛等
 - 本歩掛の適用範囲は、平均測量幅 2~800mかつ定期横断測点間隔 50~200mかつ流心延長 30km 以下とする。
 - 平均測量幅 450mまでを幅による比例計算を行うものとし、450m超~800mまでは 450mと同様の歩掛する。

標準作	乍業量				所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
	0m 本当り 100	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横 1/2		観	測		4. 0	6.0	5. 0	4.8	外		1	1	1	1
1,	/1,000	横断面	図作成		2. 0	4.0	4. 5		内		1	1	1	
		点検	整理	0.2	1.0	1.2	0. 5		内	1	1	1	1	
内夕	小業計				4. 0	6.0	5. 0	4.8	外					
訳「	内業計			0.2	3.0	5. 2	5.0		内					
合	1			0.2	7. 0	11.2	10. 0	4.8						

- (注) 1. 河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

(H27)		
改 定	現	備考
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
(削除)		
	<u></u>	<mark>-6</mark>
	延人日(A)×(B) 機械経費の構成	
	測 測 測 測 測 名 新 規 格 単位 数 量	
	量 量 量 量 上ベル 3級 台目 6	
	量 量 量 量 量 レベル 3級 台目 6 主 技 技 助 補 ライトバン 1.5L " 6 供用日損料 任 師 手 助 " 台時 12 運行時間損料	
	任 師 師 手 助 " " 当時 12 運行時間損料 技 補 員 電子計算機 台目 4 自動製図機用	
	To To To To To To To To	
	The state of the s	
	4.0 6.0 5.0 4.8 通信:電極悪空の構成	
		<u> </u>
	2.0 4.0 4.5]
	0.2 1.0 1.2 0.5	
	4.0 6.0 5.0 4.8 材料費の構成	
	0.2 3.0 5.2 5.0 品 名 規 格 単位 数量 摘	
	0.2 7.0 11.2 10.0 4.8 セクションボ・リエステルフィルム 0.9m×10m #300 " 0.5	
	ボソリン	
	<u>業品</u>	
		_
	各費目の直接人件費に対する割合	<u> </u>
	<mark>費 目 割 合</mark> 備 考	1
	機 械 経 費 1.5%	4
	通信運搬費等 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0	4
]

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

改定	現	備考

5-1-7 河川定期横断測量 複写

(1)標準歩掛等

標準				所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
10階	新面当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内	外業計							外										
訳	内業計	·				0.8		内				1					0.8	
合	計					0.8											0.8	

- (注) 1. 河川における主として河状変化を調査するための横断測量に適用するものとする。
 - 2. 定期的に河状調査のために実測する範囲は、河川定期横断測量または深浅測量(河川水深測量)の歩掛を適用する。
 - 3. 既成断面図から複写して横断面図を描く範囲は、上記河川横断測量(複写)を計上する。
 - 4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 5. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-7 河川定期横断測量 複写

(1)標準歩掛等

標準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
10断面当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
内 外業計							外					
訳 内業計					0.8		内				1	
合 計					0.8							

- (注) 1. 河川における主として河状変化を調査するための横断測量に適用するものとする。
 - 2. 定期的に河状調査のために実測する範囲は、河川定期横断測量または深浅測量(河川水深測量)の歩掛を適用する。
 - 3. 既成断面図から複写して横断面図を描く範囲は、上記河川横断測量(複写)を計上する。
 - 4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27)		
改定	現行	備考
<mark>(削除)</mark>		
	5-1-7	
	延人日(A)×(B) 機械経費の構成	
	量 量 量 量 一 デジタイザー A 0 台目 0.8 主 技 技 助 補 雑器材 式 1	
	量 量 量 量 量 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 二<	
	0.8 通信運搬費等の構成	
	項目	
	0.8	
	材料費の構成	
	品 名 規 格 単位 数 量 摘 要 I	
	セクションホ°リエステルフィルム 0.9m×10m #300 本 0.5 雑品 式 1	
	# # m	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	<mark>費 目 割 合 備 考</mark>	
	機 械 経 費 2.0%	
	通信運搬費等 0.0% 材 料 費 17.5%	

工 性	エ 種	測量業務積算基準
-----	-----	----------

改 定 備 考

5-1-8 河川定期横断測量 直接水準(山地)

- (1)標準歩掛等
 - 本歩掛の適用範囲は、平均測量幅 0~100mかつ定期横断測点間隔 50~200mかつ流心延長 30km 以下とする。

標準	準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
	100m 10本当り 1/100	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横	1/200~	観 測		2.0	4. 0	0.5	1. 3	外		1	1	1	1		<mark>2. 0</mark>	<mark>4. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>	<mark>1. 3</mark>
	1/1,000	横断面図作成		1.5	3. 5	0.4		内		1	1	1			<mark>1. 5</mark>	<mark>3. 5</mark>	0. 4	
		点検整理	0.2	0.5	0. 7	0.3		内	1	1	1	1		<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 5</mark>	0.7	<mark>0. 3</mark>	
内	外業計			2.0	4. 0	0.5	1. 3	外							2.0	<mark>4. 0</mark>	<mark>0. 5</mark>	1.3
訳	内業計		0.2	2.0	4. 2	0.7		内						0.2	<mark>2. 0</mark>	<mark>4. 2</mark>	0. 7	
合	計		0.2	4.0	8. 2	1. 2	1. 3							0. 2	4. 0	8. 2	1. 2	1. 3

- (注) 1. 河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-8 河川定期横断測量 直接水準(山地)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、平均測量幅 0~100mかつ定期横断測点間隔 50~200mかつ流心延長 30km 以下とする。

標	準作業量						内	編成人員 (B)					
	100m 10本当り 1/100	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横	1/200~	観 測		2. 0	4.0	0. 5	1.3	外		1	1	1	1
	1/1,000	横断面図作成		1. 5	3. 5	0. 4		内		1	1	1	
		点検整理	0.2	0.5	0.7	0.3		内	1	1	1	1	
内	外業計			2.0	4.0	0.5	1.3	外					
訳	内業計		0.2	2.0	4.2	0.7		内					
合	計		0.2	4. 0	8. 2	1. 2	1.3						

- (注) 1. 河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(H27) 改 定	現 行	備考
~		viu
<mark>(削除)</mark>		
	5-1-8	
	延人日(A)×(B) 機械経費の構成 測 測 測 測 測 多 名 財 格 単位 数 量 摘	
	量 量 量 量 しべル 3級 台目 4 主 技 助 補 ライトバン 1.5L " 4 供用日損料	
	任 師 手 助 " 当 当 当 当 1 1 1 当 1 </td <td></td>	
	m m d d d d d d d d	
	2.0 4.0 0.5 1.3 运冷海频弗垒 0.排动	
	世間建筑領等の構成	
	1. 5 3. 5 0. 4 日	
	0.2 0.5 0.7 0.3	
	2.0 4.0 0.5 1.3 材料費の構成	
	0.2 2.0 4.2 0.7 品 名 規 格 単位 数量 摘	
	1	
	ガソリン 20 2.6ポン× 8.0h	
	雑品	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	<mark>費 目</mark> 割 合 備 考	
	機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

5-1-9 河川定期横断測量 間接水準(山地)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、平均測量幅 0~200mかつ定期横断測点間隔 50~200mかつ流心延長 30km 以下とする。

標準	作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
10	00m 0本当り	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦 1/ 横 1/	/100 /200~	観測		1.0	2.0	3.0	1. 4	外		1	1	1	1		1.0	2.0	<mark>3. 0</mark>	<mark>1. 4</mark>
		横断面図作成		1.0	1.0	2.0		内		1	1	1			1.0	<mark>1. 0</mark>	<mark>2. 0</mark>	
		点検整理		0.4	0.7	0.2		内		1	1	1			<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 7</mark>	<mark>0. 2</mark>	
内	外業計			1.0	2.0	3.0	1.4	外							1. 0	<mark>2. 0</mark>	<mark>3. 0</mark>	1. 4
訳	内業計			1.4	1.7	2.2		内							<mark>1. 4</mark>	1. 7	<mark>2. 2</mark>	
合	計			2.4	3. 7	5. 2	1. 4								<mark>2. 4</mark>	3. 7	5. 2	1. 4

- (注) 1. 河川工事測量は,路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 直接水準の不可能な勾配 10%以上の傾斜が連続する区間で横断測量を実施する場合に限り適用する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

5-1-9 河川定期横断測量 間接水準(山地)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、平均測量幅 0~200mかつ定期横断測点間隔 50~200mかつ流心延長 30km 以下とする。

標	準作業量				所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
幅	100m 10本当り 1/100	作業工	程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	1/200~	観	測		1. 0	2.0	3. 0	1. 4	外		1	1	1	1
		横断面図	作成		1. 0	1.0	2. 0		内		1	1	1	
		点検整	理		0.4	0.7	0.2		内		1	1	1	
内	外業計				1.0	2.0	3.0	1.4	外					
訳	内業計				1.4	1.7	2.2		内					
合	計				2. 4	3. 7	5. 2	1. 4						

- (注) 1. 河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
 - 2. 直接水準の不可能な勾配 10%以上の傾斜が連続する区間で横断測量を実施する場合に限り適用する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

エ 種	測量業務積算基準

(H27)							
改定		Į	見	行		備	考
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			· -				
(削除)							
(Hi)林)							
					5-	·1-9	
	延人日(A)	\times (B)	機械経費の構成		<mark></mark> _		
	油川 油川 油川	測 測	名 和	規 格 ^详	位数量 摘	<mark>要</mark>	
		量 量	トータルステーション		· 日 2		
	<mark>主 技 技</mark>	助 補 📗	ライトバン	1.5L	世界日損料		
	│ <mark>任 │ 師</mark> │ <mark>師</mark>	<mark>手</mark> <mark>助</mark> [JJ.	」 i	·時 4 運行時間損料	<mark>가</mark>	
	主 五 五 五 五 五 五 五 五 五	<mark>員</mark> [電子計算機		· 日 1 自動製図機F	<mark>Ħ</mark>	
			雑器材		式 1		
	1.0 2.0	3.0 1.4					
	1.0 2.0	0.0 1.4	通信運搬費等の	構成		_	
	1.0 1.0	$ _{2.0}$	項 目			_	
		ļ 				_	
	0.4 0.7	0.2				_	
		 	計			—	
	1. 0 2. 0 1. 4 1. 7	3.0 1.4	材料費の構成 品 名	規 規格 単	位 数 量 摘	 要	
	1.4 1.7	<mark>2. </mark>	·····································	7. 1台 中 4. 5cm×4. 5cm×45cm	<u>*10 数 単 摘 </u>	女	
	2 4 3 7	5. 2 1. 4	セクションホ。リエステルフィルム		0.2		
	2.4 3.7	0.2 1.4	ガソリン		$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	0h	
		┷┷┷┩╏	雑品		式 1		
		ļ	Джин				
		Ī					
		_					
			各費目の直接人件	費に対する割合			
			費目	割合	備考		
			機械経費	2.0%			
			通信運搬費等	<mark>0.0%</mark>			
			材料費	<mark>2.5%</mark>			

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

改 定 備 考

5-1-10 法線測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、法線測量測点間隔 20~50mかつ流心延長 10km 以下とする。

標準作業量			所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)			延人	日 (A)	\times (B)	
測量延長	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
1 km当り	観測		2.0	2. 0	2.0	1. 0	外		1	1	1	2		2. 0	2.0	2. 0	2.0
	法線線形図 作 成		0.7	1. 0	0.2		内		1	1	1			0. 7	1.0	0. 2	
	点検整理	0.4	0.5	0. 9	0.3		内	1	1	1	1		0.4	<mark>0. 5</mark>	<mark>0. 9</mark>	<mark>0. 3</mark>	
内外業計			2.0	2.0	2.0	1.0	外							<mark>2. 0</mark>	<mark>2. 0</mark>	2. 0	<mark>2. 0</mark>
訳 内業計		0.4	1.2	1.9	0.5		内						<mark>0. 4</mark>	1. 2	<mark>1. 9</mark>	<mark>0. 5</mark>	
合 計		0. 4	3. 2	3. 9	2.5	1. 0							0. 4	3. 2	3. 9	2. 5	2. 0

- (注) 1. 法線の縦横断測量は路線測量の縦横断測量を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する 割合」に基づき別途計上する。

5-1-10 法線測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、法線測量測点間隔 20~50mかつ流心延長 10km 以下とする。

標準	準作業量				所要	日数	(A)		内		編成	人員	(B)	
	量延長	作業	江程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	・外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
1	km当り	観	測		2.0	2.0	2.0	1.0	外		1	1	1	2
		法線約 作	線形図 成		0. 7	1.0	0.2		内		1	1	1	
		点検	法線線形図		0.5	0.9	0.3		内	1	1	1	1	
内	外業計				2.0	2.0	2.0	1.0	外					
訳	内業計				1.2	1.9	0.5		内					
合	計			0.4	3. 2	3.9	2. 5	1.0						

- (注) 1. 法線の縦横断測量は路線測量の縦横断測量を適用する。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設)

(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(H27)								
25 1 (A) × (B) 1		改	定		現	行		備	考
25 1 (A) × (B) 1	(Will PA)								
接続記載の成成 接続記載の構成 接続記載の構成 接続記載の構成 接続記載の構成 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接									
接続記載の成成 接続記載の構成 接続記載の構成 接続記載の構成 接続記載の構成 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接									
一				張 ↓ □ (A) ∨ (D)	機は奴弗の様式	•	<mark>5−1−10</mark>		
世				測 測 測 測 測			単位数量 摘 要		
数 機 長				<mark>量 量 量 </mark> 量					
数 機 長				<u> </u>					
2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 3.1 3.				t	II .		台時 4 運行時間損料		
2.0 2.					<mark>電子計算機</mark> II		台日 1 自動製図機用		
0.7 1.0 9.2 0.4 0.5 0.9 0.3 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 0.4 1.2 1.9 0.8 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 2.5 3.0 0.4 3.2 3.9 3.8 0.5 5.0 5.0 0.6 5.0 6.0 6.0 6.0 6.0 0.6 6.0 6.0 6.0 6.0 0.6 6.0 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.4 6.0 6.0 6.0 6.0 0.5 6.0 6.0 6.0 0.5 6.0 6.0 6.0 0.6 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0 0.8 6.0 6.0				2.0 2.0 2.0 2.0		Letter, IX	式 1		
0.7 1.0 0.2 0.4 0.5 0.8 0.3 2.0 2.0 2.0 2.0 0.4 1.2 1.9 0.5 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 0.5 4 4 4 4 5 4 0.6 6 6 6 6 6 0.6 7 7 7 1.0 7 7 7 1.0 7 7 7 1.0 7 7 1.0 7 7 7 1.0 7 7 7 1.0 7					一	博 版			
2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 4 1.2 1.9 0.5 品 名 規 格 単位 数 量 摘 要 木札 名 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 品 名 規 格 単位 数 量 摘 要 木札 名 2.0 2.0				0.7 1.0 0.2					
2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 4 1.2 1.9 0.5 品 名 規 格 単位 数 量 摘 要 木札 名 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 品 名 規 格 単位 数 量 摘 要 木札 名 2.0 2.0				0.4 0.5 0.9 0.3					
0.4 1.2 1.9 0.5 0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 3.9 2.5 2.0 Author				2.0 2.0 2.0 2.0					
0.4 3.2 3.9 2.5 2.0 1 セクションボ リエスデルフィルム の、9m×20m #300 n 0.1 10 2.6%2×4.0h				0.4 1.2 1.9 0.5	品名				
				0,4 3,2 3,9 2,5 2,0					
各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 備 考 機械経費 2.5% 通信運搬費等 0.0%					- <mark>ガソリン</mark>	John John Ar Good	$\frac{10}{2.6}$ 2. 6^{10} × 4. 0h		
費 目 割 合 備 考 機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%					<mark>維品</mark>		式 <u>1</u>		
費 目 割 合 備 考 機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%									
費 目 割 合 備 考 機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%									
費 目 割 合 備 考 機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%					タ弗日の古控し	小弗に共士を割入			
機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0%							 備 考		
					機械経費	<mark>2.5%</mark>			
							_		
						5. 0 /0			

備 考

(H27)

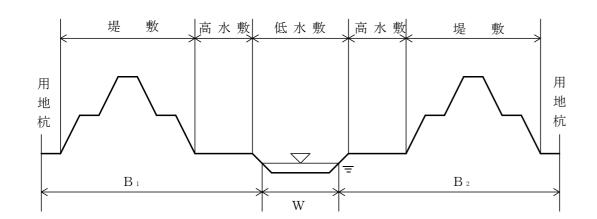
る。

5-2 測量幅

5-2-1 横断(平地)測量幅

横断(平地)測量幅は下図の($B_1 + B_2$)とし、水面幅(W)は含めない。

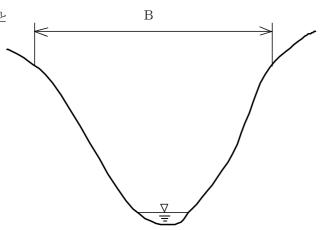
改



定

5-2-2 河川横断(山地)測量幅

河川横断(山地)の測量幅は,右図の全幅Bをと



5-2-3 計算例

・河川定期横断測量(直接水準〈平地〉)幅 450mの場合

$$\frac{N}{10}$$
 (450 m/400 m) $\alpha = \frac{N \alpha}{10}$ (1.13)

N … 作業量(本数)

α … 測量幅 400mの標準歩掛

※測点間隔・流心延長による補正は行わない。

5-3 その他

(1) 打合せ

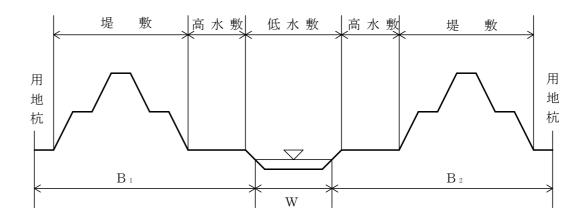
中間打合せの回数は<mark>4</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

5-2 測量幅

5-2-1 横断(平地)測量幅

横断(平地)測量幅は下図の(B_1+B_2)とし、水面幅(W)は含めない。

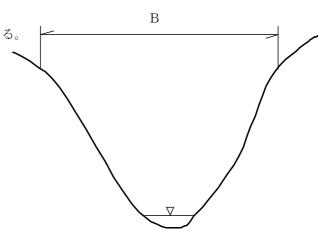
現



行

5-2-2 河川横断(山地)測量幅

河川横断(山地)の測量幅は,右図の全幅Bをとる。



5-2-3 計算例

・河川定期横断測量(直接水準〈平地〉)幅 450mの場合

$$\frac{N}{10}$$
 (450m/400m) $\alpha = \frac{N \alpha}{10}$ (1.13)

N … 作業量(本数)

α … 測量幅 400mの標準歩掛

※測点間隔・流心延長による補正は行わない。

5-3 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>1</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

第6節 深浅測量

6-1 作業計画

(1)標準歩掛等

本歩掛は、ダム・貯水池深浅測量、河川深浅測量、海岸深浅測量のすべてにおいて共通の歩掛として計上するものとする。

			所		要	目		数	内		編				成		延		人		目		数
			測	測	測	測	測	測	外	測	測	測	測	測	測		測	<mark>測</mark>	<mark>測</mark>	測	測	測	
			量	量	量	量	量	量	業	量	量	量	量	量	量		量	量	量	測 量	量	量	
標準作業	作業	工程	主	技	技	助	補	船	0	主	技	技	助	補	船	計	主	技	技	助	補	船	計
量	11 /		任	師	師	手	助	操	別	任	師	師	手	助	操		任	師	師	手	助	操	
			技		補		員	縦		技		補		員	縦		技 師		補		員	縦	
			師					士		師					士		師					士	
. NII → () (.		外業計							外														
1業務当	内訳		-																				\vdash
り		内業計	0.2	0.3	0.4				内	1	1	1				3	0.2	<mark>0. 3</mark>	0.4				0.9
			_																				\blacksquare
合	言	+	0.2	0.3	0.4												0.2	<mark>0. 3</mark>	0.4				0.9

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第6節 深浅測量

6-1 作業計画

(1)標準歩掛等

本歩掛は、ダム・貯水池深浅測量、河川深浅測量、海岸深浅測量のすべてにおいて共通の歩掛として計上するものとする。

				所	要	月	数		内		新	前		万	戊	
標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	- -
1業務当り	内訳	外業計							外							
1 未伤ヨリ	Nat.	内業計	0.2	0.3	0. 4				内	1	1	1				3
合	計		0.2	0.3	0. 4											

- (注) 1. 作業計画は精度管理費係数の対象としない。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

エ 種	測量業務積算基準

改定							現	
								<mark>6−1</mark>
		延	人		日 National Property of the Pr	数		機械経費の構成
		測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計	名 財 格 単位 数量 摘要 1 1 1 2 1 1 3 1 1 4 1 1 5 1 1 6 1 1 7 1 1 8 1 1 9 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 3 1 1 4 1 1 5 2 1 6 2 1 7 2 1 8 2 1 8 2 1 8 2 1 9 2 1 10 2 1 10 2 1 10 3 1 10 3 1 10 4 1 10 4 1 10 4 1 10 4 1 10 4 1 10 4 1 10 4 1 <t< th=""></t<>
								通信運搬費等の構成 項 目
	0.2	0.3					<mark>0. 9</mark>	
	0.2	<mark>0. 3</mark>	<mark>0. 4</mark>				<mark>0. 9</mark>	
								材料費の構成
								品 名 規 格 <mark>単位</mark> 数量 摘 要
								各費目の直接人件費に対する割合
								機械経費 0.0% 通信運搬費等 0.0%
								材料費 0.0%

(H27)

6-2 ダム・貯水池深浅測量

6-2-1 ダム・貯水池深浅測量

(1)標準歩掛等

			所		要	日		数	内		編				成		延		人		目		数
標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	盐	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計
水 面 幅 150m	現地	踏査		0.6	0.6	0.6			外		1	1	1			3		0.6	<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 6</mark>			1.8
10 測線当	観	測		1. 1	1. 1	1. 1	1.1	1. 1	外		1	1	1	1	1	5		1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	<mark>5. 5</mark>
深浅間隔	横断面			1.5	2. 1	1.9			内		1	1	1			3		<mark>1. 5</mark>	<mark>2. 1</mark>	<mark>1. 9</mark>			<mark>5. 5</mark>
5m	点検	整理	0.4	0.7	0.8	0.8			内	1	1	1	1			4	<mark>0. 4</mark>	0.7	<mark>0. 8</mark>	0.8			<mark>2. 7</mark>
	内訳	外業計		1. 7	1.7	1.7	1.1	1. 1	外									1.7	1. 7	1. 7	1. 1	<mark>1. 1</mark>	<mark>7. 3</mark>
	P Y EV	内業計	0.4	2. 2	2.9	2.7			内								<mark>0. 4</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 9</mark>	<mark>2. 7</mark>			<mark>8. 2</mark>
合	譮	+	0.4	3.9	4.6	4. 4	1.1	1.1									0.4	<mark>3. 9</mark>	<mark>4. 6</mark>	<mark>4. 4</mark>	<mark>1. 1</mark>	1. 1	<mark>15. 5</mark>

- (注) 1. 横断面図作成には縦断面図の作成及びダム堆砂量の計算を含む。
 - 2. 等深線図の作成を行う場合は、別途計上する。
 - 3. 補正は6-2-2 ダム・貯水池深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400 mを超える場合は別途計しする
 - 4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 5. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

- 6-2 ダム・貯水池深浅測量
- 6-2-1 ダム・貯水池深浅測量
 - (1)標準歩掛等

1					所	要	日	数		内		絲	i H		F	戊	
	標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計
	水面幅150m	現地	踏査		0.6	0.6	0.6			外		1	1	1			3
	10測線当り	観	測		1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	外		1	1	1	1	1	5
	深浅間隔5m	横断面	図作成		1. 5	2. 1	1. 9			内		1	1	1			3
		点検	整理	0.4	0.7	0.8	0.8			内	1	1	1	1			4
		内訳	外業計		1. 7	1. 7	1. 7	1. 1	1.1	外							
		YIT	内業計	0.4	2. 2	2. 9	2. 7			内							
	合	計		0.4	3.9	4. 6	4. 4	1. 1	1. 1								

- (注) 1. 横断面図作成には縦断面図の作成及びダム堆砂量の計算を含む。
 - 2. 等深線図の作成を行う場合は、別途計上する。
 - 3. 補正は6-2-2ダム・貯水池深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400mを超える場合

別途計上する。

4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

127)	改	定							現	Ļ	行				備	考
(削除)																
(Edian)														<mark>6-2-1</mark>		
) 河II	延 加	人 測	海II	日 測	数 測		機械経費の構成 名 称	成 規 格	単位	数量	摘要		
			量	量	量	量		量	_	測量船	FRP 定員5名					
			主 任	技 師	技 師	助 手	量補助員	船 操	計	トータルステーション	3級	<i>II</i>	1. 1			
			技	, rep	補	,	員	縦		音響測深機ライトバン	1.5L	<u> </u>				
			<mark>師</mark>					士		II .	ıı .	台時	3. 4			
				<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 6</mark>	0.6			1.8	<mark>雑器材</mark>		式	1			
				1.1	1.1	1. 1	1 1	1.1	5. 5	通信運搬費等の	構成					
				1 · · ·	1 · 1	1.1	1. 1	1 · 1	0. 0	<mark>項目</mark>						
				1.5	2. 1	1.9			<mark>5. 5</mark>							
			0.4	0.7	0.8	0.8			2. 7							
				1.7	1. 7	1.7	1. 1	<mark>1. 1</mark>	<mark>7. 3</mark>	I I del mile (itt. b)						
			0.4	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 9</mark>	2.7			8. 2	材料費の構成品名	規格	単位	数量	摘要		
			0.4	3.9	<mark>4. 6</mark>	4.4	1. 1	<mark>1. 1</mark>	15. 5	木杭	4.5cm×4.5cm×90cm	本	20			
					1. 0	1. 1	1. 1	1. 1	10.0	セクションホ [°] リエステルフィル <i>I</i> 記録紙	0.9m×10m #300 10m]]]]				
										HUMANA	T OIL		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	учистеления д		
										ガソリン(FRP船)	1. 2 ^½ ×7h×1. 1日	リツトル	9			
										ガソリン(ライトバン)			+			
										雑品		式	1			
											L					
										各費目の直接 費 目	接人件費に対する割合 割 合		備	考		
										機械経費	2.5%			<mark>3. 5%</mark>		
										通信運搬費 ⁴ 材料費	等 0.0% 3.5%	+		0.0% 3.5%		
										水深3mを超える	場合は備考欄の率を遊	周用する	5 。			
															<u> </u>	

6-2-2 ダム・貯水池深浅測量の変化率

(1) 水面幅による変化率

水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 なお、変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。

y = 0. 003 w + 0.55

y:変化率

w:水面幅(m)

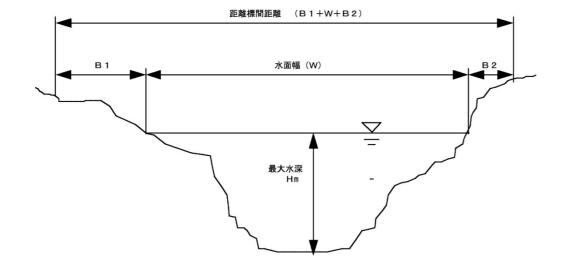
備考 1. 水深により下記による歩掛適用を原則とする。

1)水深H<1m:河川定期横断測量(平地または山地)(B1+W+B2)を適用。

2) <mark>水深H≥ 1 m</mark>: 本歩掛による深浅測量(W)+河川定期横断測量(平地または山地)(B1+B

2)

を適用。



6-2-2 ダム・貯水池深浅測量の変化率

1. 水面幅による変化率

水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 なお、変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。

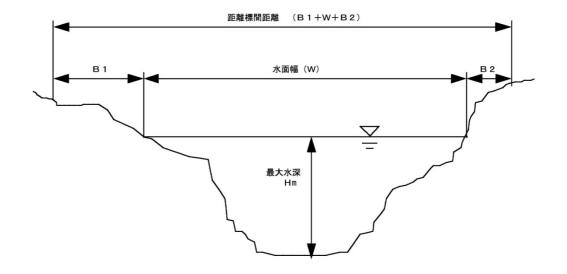
y = 0. 003 x + 0.55

y : 変化率

x:水面幅(m)

備考 1. 水深により下記による歩掛適用を原則とする。

- 1)水深Hm<1m:河川定期横断測量(平地または山地)(B1+W+B2)を適用。
- 2) 1 m ≤ 水深: 本歩掛による深浅測量(W)+河川定期横断測量(平地または山地)(B1+B2)を適用。



エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

6-3 河川深浅測量

6-3-1 河川深浅測量

(1)標準歩掛等

		所	ŕ	要	日	1	数	内		編				成		3	延	人		日	数	<mark>t</mark>	
標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計
水面幅100m 10測線当り	現地	踏査		0.2	0.2	0. 2			外		1	1	1			3		0.2	0. 2	0.2			<mark>0. 6</mark>
深浅間隔5m	観	測		1.3	1.3	1. 3	1.3	1.3	外		1	1	1	1	1	5		<mark>1. 3</mark>	<mark>6. 5</mark>				
N (Z(H))	横断面	図作成		0.9	1.3	1. 4			内		1	1	1			ಌ		0.9	<mark>1. 3</mark>	1.4			<mark>3. 6</mark>
	点検	整理	0.4	0.8	0.8	0.8			内	1	1	1	1			4	0. 4	0.8	<mark>0.8</mark>	0.8			<mark>2. 8</mark>
	H=1	外業計		1.5	1.5	1. 5	1.3	1. 3	外									<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	1.5	<mark>1. 3</mark>	1. 3	<mark>7. 1</mark>
	内訳	内業計	0.4	1.7	2. 1	2. 2			内								0. 4	1.7	2. 1	2. 2			<mark>6. 4</mark>
合	計		0.4	3. 2	3.6	3. 7	1.3	1. 3									0. 4	3. 2	3.6	3. 7	<mark>1. 3</mark>	1.3	13. 5

- (注) 1. 等深線図を作成する場合は、別途計上する。
 - 2. 補正は6-3-2河川深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400mを超える場合は別途計上する。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 4.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

6-3 河川深浅測量

6-3-1 河川深浅測量

(1)標準歩掛等

標準作業量				所	要	日	数		内		ž	編	成					
標準作業量	作業工	程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計		
水面幅100m	現地		0.2	0.2	0.2			外		1	1	1			3			
10測線当り	観		1.3	1.3	1. 3	1. 3	1.3	外		1	1	1	1	1	5			
深浅間隔5m	横断面	横断面図作成		0.9	1.3	1. 4			内		1	1	1			3		
	点検整理		0. 4	0.8	0.8	0.8			内	1	1	1	1			4		
	内訳	外業計		1.5	1.5	1. 5	1. 3	1.3	外									
	上八式	内業計	0. 4	1.7	2. 1	2. 2			内									
合	合 計			3. 2	3.6	3. 7	1. 3	1.3										

- (注) 1. 等深線図を作成する場合は、別途計上する。
 - 2. 補正は6-3-2河川深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400mを超える場合は別途計しまする。
 - 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

H27) 改	定							現	ļ	行				備	考
(削除)															
(TI) PA(<mark>6-3-1</mark>		
		湘山	延測	人 測	E 加	l 測	数 _測		機械経費の構 名 称	<mark>戎</mark> □ 規 格	単位	数量	摘要		
		量	量	量	量		量		測量船	FRP 定員5名	_		IM 女		
		主 任	技 師	技 師	助 手	量補助員	船 操	計	トータルステーション	3級	11	1.3	_		
		技	H.P.	補	, ,	与 員	縦		音響測深機ライトバン	1.5L	<i>11</i>	1.3 1.5			
		<mark>師</mark>					士		"	"	台時	_			
			0.2	0. 2	0.2			<mark>0. 6</mark>	雑器材		式	1			
									通信運搬費等 ♂	 構成					
			1.3	1. 3	1.3	1.3	1. 3	6. 5	項目						
			0.9	<mark>1. 3</mark>	1.4			<mark>3. 6</mark>							
		0.4	0.8	0.0	0.0			2.8							
		0.4	0. o	<mark>0. 0</mark>	0. o			<u>2. 0</u>							
			<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 5</mark>	<mark>1. 3</mark>	<mark>1. 3</mark>	<mark>7. 1</mark>							
		0.4	1 7	<mark>2. 1</mark>	2. 2			6. 4	材料費の構成						
								0. 1	品 名 木杭	規 格 4.5cm×4.5cm×90cm	単位 本		摘要		
		<mark>0. 4</mark>	3. 2	<mark>3. 6</mark>	3. 7	1. 3	<mark>1. 3</mark>	13. 5	セクションホ。リエステルフィル.		11				
									記録紙	10m	"	0.4	水深3mを超える場合		
									ガソリン(FRP船)	$1.2^{\eta \gamma}_{h\nu} \times 7h \times 1.3$ 日	リツトル	10			
									ガソリン (ライトバン)	2. 6 1 × 3. 0h	"	7			
									*# D						
									<mark>雑品</mark>		式	<u> </u>			
									タ典日の声	遠し供弗に対去て割 る			1		
									を	接人件費に対する割合 割 合		備	考		
									機械経費	3.0%			4.5%		
									通信運搬費 材料費	等 0.0% 3.5%		<u>-</u>	0.0% 8.5%		
										<u> </u>	у ш				
									水保3mを超える	場合は備考欄の率を通	即用する	ာ ့			

改定	現 行	備考
6-3-2 河川深浅測量の変化率 (1) 水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 なお、変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 y = 0.0035 y : 変化率 w : 水面幅(m)	6-3-2 河川深浅測量の変化率 1. 水面幅による変化率 水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 なお、変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 y=0.0035 x+0.65 y:変化率 x:水面幅(m)	
備考 1.最大水深1m未満となる測量は,河川定期横断測量(平地または山地)の歩掛適用を原則とする。	備考 1.最大水深1m未満となる測量は,河川定期横断測量(平地または山地)の歩掛適用を原則とする。	
水面幅 W 量 最大水深 Hm	水面幅 W 最大水深 Hm	

6-4 海岸深浅測量

6-4-1 海岸深浅測量

(1)標準歩掛等

			所		要	日		数	内		編	i		,	成			延	人		日	数	
標準作業量	作業	工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	計
水 面 幅	現地	踏査		0.4	0.4	0.4			外		1	1	1			3		0.4	0. 4	0.4			1.2
700m 10 測 線 当 り	観	測		2. 2	2. 2	2.2	2.2	2.2	外		1	1	1	1	1	5		<mark>2. 2</mark>	2. 2	<mark>2. 2</mark>	2. 2	2. 2	11.0
	横断面	図作成		1.6	2. 3	2.3			内		1	1	1			3		1.6	2. 3	<mark>2. 3</mark>			<mark>6. 2</mark>
	点検	整理	0.2	0.6	0.6	0.6			内	1	1	1	1			4	0. 2	0.6	0.6	0.6			2.0
	出却	外業計		2.6	2.6	2.6	2.2	2.2	外									<mark>2. 6</mark>	2.6	2.6	2. 2	2. 2	<mark>12. 2</mark>
	内訳	内業計	0.2	2. 2	2. 9	2.9			内								0. 2	<mark>2. 2</mark>	2. 9	<mark>2. 9</mark>			<mark>8. 2</mark>
合	章	+	0.2	4.8	5. 5	5. 5	2. 2	2. 2									0. 2	4.8	<mark>5. 5</mark>	<mark>5. 5</mark>	2. 2	2. 2	20. 4

- (注) 1. 本歩掛は、外海及び内海に適用する。
 - 2. 横断面図作成には等深線図の作成を含む。
 - 3. 補正は6-4-2海岸深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅1500mを超える場合は別途計 上する。
 - 4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 5.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

6-4 海岸深浅測量

6-4-1 海岸深浅測量

(1)標準歩掛等

1					所	要	日	数		内			編		成		
	標準作業量	作業工績	锃	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	=
	水面幅700m	現地	踏査		0.4	0.4	0.4			外		1	1	1			3
	10測線当り	観	測		2. 2	2. 2	2. 2	2. 2	2. 2	外		1	1	1	1	1	5
		横断面	図作成		1. 6	2. 3	2. 3			内		1	1	1			3
		点検	整理	0.2	0.6	0.6	0.6			内	1	1	1	1			4
		内訳	外業計		2. 6	2. 6	2. 6	2. 2	2. 2	外							
		K 1 <u>U</u> /	内業計	0.2	2. 2	2. 9	2.9			内							
	合	計		0.2	4. 8	5. 5	5. 5	2. 2	2. 2								

- (注) 1. 本歩掛は、外海及び内海に適用する。
 - 2. 横断面図作成には等深線図の作成を含む。
 - 3. 補正は6-4-2海岸深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅1500mを超える場合は別途計上する。
 - 4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

·27) 改	定							現	ļ	行				備	考
<mark>削除)</mark>															
			7.1		_	1 4	KI.		# T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	<u>.</u>			<mark>6-4-1</mark>		
		<mark>測</mark>	延 測	人 測	、 F ┃ <mark>測</mark>	測	<mark>数</mark> 測		機械経費の構成 名 称	、 規 格	単位	数量	摘要		
		量 主	量 技	量 技	量 助	量 補 助	量 船	計	測量船	FRP 定員6名	台日				
		任	が 師	所 師	奶 手	助 助	操	<mark>ПП</mark>	トータルステーション 音響測深機	<mark>3級</mark>	11	2. 2 2. 2	水深3mを超える場合		
		技 師		補		員	縦 士		ライトバン	1.5 L	11	<mark>2. 6</mark>	供用日損料		
									www. www. www. www. www. www. www. www	ıı .	台時 式		運行時間損料		
			<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 4</mark>	<mark>0. 4</mark>			1. 2							
			<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>11. 0</mark>	通信運搬費等の項目	<mark>構成</mark> 					
			1.6	2. 3	2. 3			6. 2							
		<mark>0. 2</mark>	<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 6</mark>	<mark>0. 6</mark>			<mark>2. 0</mark>							
			<mark>2. 6</mark>	<mark>2. 6</mark>	<mark>2. 6</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	12. 2							
		0. 2	<u>9 9</u>	2. 9	2.9			8. 2	材料費の構成						
		0. 2						0. <u>2</u>	品 名 木杭	規 格 4.5cm×4.5cm×90	単位本		摘要		
		0. 2	<mark>4. 8</mark>	<mark>5. 5</mark>	<mark>5. 5</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>2. 2</mark>	<mark>20. 4</mark>	セクションホ。リエステルフィルム		11				
									記録紙	10m	"	<mark>0. 6</mark>	水深3mを超える場合		
									ガソリン(FRP船)	3. 7 ^{ッッ} ×7h×2. 2日	_	_			
									ガソリン(ライトバン)	2.6%×5.2h	11	13 			
									雑品		式	1			
										長人件費に対する割合					
									費 目 機械経費	割 合 3.5%		<u>備</u>	考 5. 0%		
									通信運搬費等	<mark>0.0%</mark>		(<mark>0. 0%</mark>		
									材料費	<mark>3. 5%</mark>		•	<mark>3. 5%</mark>		
									<mark>水深3mを超える</mark>	場合は備考欄の率を道	適用す	る。			

工 種 測量業務積算基準	
--------------	--

改 定 行 備 考 6-4-2 海岸深浅測量の変化率 6-4-2 海岸深浅測量の変化率 (1) 水面幅による変化率 1. 水面幅による変化率 水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 水面幅による変化率は、次式により算出するものとする。 なお、変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 なお,変化率は小数第2位(小数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。 y = 0. 0002 w + 0.86y = 0. 0002 x + 0.86y : 変化率 y : 変化率 w:水面幅(m) x:水面幅(m) 外浜及び沖浜 水面幅 W 外浜及び沖浜 水面幅 W 6-5 その他 6-5 その他 (1) 打合せ (1) 打合せ 中間打合せの回数は<mark>3</mark>回を標準とし、必要に応じて回数を増減する。打合せ回数を増減する場合 中間打合せの回数は<mark>2</mark>回を標準とし、必要に応じて回数を増減する。打合せ回数を増減する場合 は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

					改				5	Ē												現				行								備	考	,
第7節 月	月地	測量															第7節 丿	用地:	則量																	
7-1 用地	測量																7 一 1 用地	也測量																		
7-1-1 (1)標準	作為																7-1- 1 (1)標	作美																		
(1) 徐中	产少街、	于				,											(1) 徐	中少街	f ———					1												
	Ī.	折 身	要	日	数	内		編		成		延	人	日	数			Ē	斤 身	要	日	数	内	編	i	成			延	人	日	数				
作業工程及び	測量	測量	測 量	測量	測量	外業	測量	測量	測量	則 測 量 量	測量	測量	測量	測量	測量		作業工程及び	測量	測量	測量	測量	測量	外業の	測温	削測	測量	測量	測量	測量	測量	測量	測 量				
	主	技	技	助	補	0)	主	技	技」	助 補	主	技	技師	量助手	補	7.1		主	技	技	助	補	一 の	量主任師	技技	助	補	主	技	技	助	補				
標準作業量	任 技	師	師補	手	助員	別	任技	師	師 補	手 助 員	任 技	師	神補	- 手	助員	計	標準作業量	任 技	師	師補	手	助員	別	技	申申補	井	助員	任 技	師	師補	手	助員	計			
	師						師				師							師						師				師								
作業計画																	作業計画																			
	0.8	1. 1	1. 1			内	1	1	1		0.8	1.1	1. 1			3. 0		0.8	1. 1	1.1			内	1 1	. 1			0.8	1.1	1. 1			3. 0			
1 業務当り																	1業務当り																			
現 地 踏 査			1.0			AI.										0 0	現地踏査						ļ ,,													
1 業務当り	1.0	1.0	1.0			外	1	1	1		1.0	1.0	1.0			3. 0	1 業務当り	1.0	1.0	1.0			外	1 1	. 1			1. 0	1.0	1.0			3.0			
(注) 1. 本步 2. 機板														按人份	上書にき	ナナス	(注) 本歩掛	には、	身係機	関協議	資料作	成及び	関係機	関打合	せ協議	に係ん	る作業	業時間	も含む	P _o	I	I				
					rī 貝 (C	- JV - C	i 소 ' (対里ラ	尺 4力7示	ーツボ	10401)		、ロマク臣		「貝(CA)	7 2	<mark>(新設)</mark>																			

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

() 改 定	現行	備考
	<mark>7–1–1</mark>	
	機 械 経 費 の 構 成 通信運搬費等の構成 材 料 費 の 構 成	
	A 称	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	費 目 割 合 割 合 割 合 摘 要	
	機械経費 0.0% 超信運搬費等 0.0% 材料費 0.0%	
	ライトバン 日 損 料 時間損料 1.5L 台 1.0	
	雑器材 式 1	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	<mark>費 目 割 合 費 目 割 合 費 目 割 合 調 </mark>	
	機 械 経 費 1.5% <mark>通信運搬費等</mark> 0.0% 材 料 費 6.5%	

					改					定													現				:	行							備	考
7 − 1 − 2 (1) †																		7-1-2																		
	戸	f	Ę	日 募	数			編		成			延	人	日	数			Ē	听		日	数			編		成		延	人	月	数			
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量制手	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計		
			0.4	0.4		内			1	1				0. 4	0.4		0.8				0.4	0. 4		内			1	1			0. 4	0.4		0.8		
公図等の転写 10,000㎡当り			0.3	0.3		外			1	1				0.3	0.3		0.6	公図等の転写 10,000㎡当り			0.3	0.3		外			1	1			0.3	0.3		0.6		
			0.7	0.7		計								0.7	0.7		1. 4				0.7	0.7		計							0.7	0.7		1. 4		
地積測量図			0.2	0.3		内			1	1				0.2	0.3		0.5	地積測量図			0.2	0.3		内			1	1			0.2	0.3		0. 5		
転 写 10,000㎡当り			0.4	0.4		外			1	1				0.4	0.4		0.8	転 写 10,000㎡当り			0.4	0.4		外			1	1			0.4	0.4		0.8		
,			0.6	0.7		計								0.6	0.7		1. 3				0.6	0.7		計							0.6	0.7		1. 3		
土地の			0.6	0.6		内			1	1				0.6	0.6		1.2	土地の			0.6	0.6		内			1	1			0.6	0.6		1. 2		
登記記録調査 10,000㎡当り			0.3	0.3		外			1	1				0.3	0.3		0.6	登記記録調査 10,000㎡当り			0.3	0.3		外			1	1			0.3	0.3		0.6		
			0.9	0.9		計								0.9	0.9		1.8				0.9	0.9		計							0.9	0.9		1.8		
建物の			0.1	0.1		内			1	1	_			0.1	0.1		0. 2	建物の			0.1	0.1		内			1	1			0. 1	0.1		0. 2		
登記記録調査 10戸当り			0.1	0.1		外			1	1				0.1	0.1		0. 2	登記記録調査 10戸当り			0.1	0.1		外			1	1			0. 1	0.1		0. 2		
(注) <mark>1. 本歩</mark> 打				議資料										む。	0. 2		0.4	(注) 本歩掛に	は, 関	係機関		0.2 料作成	及び関	計 係機関	打合	 	議に保	系る作業	業時間	も含む。	0. 2	0.2		0. 4		
2.機械総 に基づる				材料	でい	ハては	測	量業務	秀標準	■歩掛	にお	ける名	費目の	の直接	人件費	に対す	る割合.	」 <mark>(新設)</mark>																		

(H27)									.	
改定			現		行				備	考
(Mitter)										
<mark>(削除)</mark> The second of the seco	Ht. VV 4.4 W.4	o # 4	·圣/亭/军••	****	4.4	w #	o ##	7-1-2		
	機械経費	一	<mark>通信運搬費</mark> ————————————————————————————————————	身の 構成 	<mark>材</mark>	料費	の構	成		
							224			
	名	路 単位 数量	項目	備考	品名	規格	里 数 量	摘 要		
							<mark>位</mark>			
	ライトバン 1.5L 日 損 料				ホ。リエステルシート	$0.9 \mathrm{m} \times 20 \mathrm{m}$	本 0.04	#300		
	時間損料	<mark>台時</mark> 0.6			ガソリン		L 1	2.6L×0.6h		
	<mark>雑器材</mark>	式 1								
	各費目の直接人件					_				
	費目	割合	費目	割合	費目	割合	摘	要		
	機械経費	1.0%	通信運搬費等	0.0%	材料費	<mark>2. 0%</mark>				
	ライトバン 日 損 料	台日 0.4			ガソリン		L 2	$2.6L\times0.8h$		
	時間損料	台時 0.8								
	雑器材	式 <u>1</u>								
	 各費目の直接人件		-J <mark>削合</mark>	L		.·				
	 費 目	割合	費目	割 合	費目	割 合	描 描	要		
	機 械 経 費	+ ===	通信運搬費等	0.0%	材料費	1.0%				
	ライトバン 1.5L		1		ガソリン	 	L 1	2. 6L×0. 6h		
	日 損 料 時間損料	台日 0.3 台時 0.6								
	各費目の直接人件			L		·				
	費 目	割 合	費目	割合	費目	割 合	摘	要		
	機械経費		通信運搬費等	0.0%	材料費	0.5%				
	ライトバン 1.5L				ガソリン		L 0.5	$2.6L\times0.2h$		
	日 損 料 時間損料	台日 0.1 台時 0.2						'		
	***************************************	1 012	<u> </u>							
	 各費目の直接人件	 L費に対する		l	l	Jl.				
	費目	割合	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	割 合	費 目	割合	描 摘	 要		
			+		<u> </u>		1向	女		
	機 械 経 費	1.0%	通信運搬費等	<mark>0.0%</mark>	<mark>材 料 費</mark>	<mark>0. 5%</mark>				

						改					定													現				行								備	
								_																													
		所	要			数			編		成	_		延	人	月	数							数	. r	<u> </u>	Ħ _	成			延	人	日	数			
宇業工程及び 票準作業量	重主	則量主壬支币	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	沙量三倍老的	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計		
利者確認	2			0.7	0. 7		内			1	1				0.7	0.7		1.4	権利者確認			0.7	0.7		内		1	1				0.7	0. 7		1. 4		
查 当 初)	Ē			0. 2	0.2		外			1	1				0.2	0.2		0.4	調査(当初)			0.2	0. 2		外		1	1				0. 2	0. 2		0.4		
),000㎡当り)			0.9	0.9		計								0.9	0.9		1.8	10,000㎡当り			0.9	0.9		計							0.9	0.9		1.8		
紅利者確認	1			2. 3	2. 3		内			1	1				2.3	2. 3		4.6	権利者確認			2. 3	2. 3		内		1	1				2. 3	2. 3		4. 6		
周	Ě			0.5	0. 5		外			1	1				0.5	0.5		1.0	調査			0.5	0.5		外		1	1				0. 5	0.5		1. 0		
0人当り				2.8	2.8		計								2.8	2.8		5. 6	10人当り			2.8	2.8		計							2. 8	2.8		5. 6		
○ 図 等 転 写 続 図 ○ 続 図 ○ 成 の の の が 当 り]			0.5	0.5		内			1	1				0.5	0.5		1.0	公図等転写 連 続 図 作 成 10,000㎡当り			0.5	0.5		内		1	1				0.5	0.5		1.0		
注)1.権利 確認ま 2.権利 3.本歩 4.機械 合」に	で)る 者確認 掛にり <mark>経費,</mark>	を行う 認調す は, <mark>通信</mark>	うもの 孟(追 関係機 運搬	であっ 跡)。 関協調 <mark>費等,</mark>	る。 とは, 議資料 <mark>材料</mark> 類	相続が ・作成及	発生し なで関係	ってい 系機	いる場 関打合	}合に iせ協	こ当初 協議に]で確 _係る	認され 作業時	た相続	売人以降 含む。	をの確認	忍調査 े	であ	(注) 1. 権利者 確認まで 2. 権利者 る。 3. 本歩技 (新設)	で) を1 音確認記	テうもの 周査(i	かである自跡)。	る。 とは, [,]	相続が	発生し	ている	場合に	二当初	で確認	思された	上相続。	人以降					

27)	改	定				現		行					備	考
<mark>削除)</mark>												<mark>7-1-2</mark>		
			機械経	費の構	成	通信運搬費等	等の構成	材	料費	の	構			
			名 称 <mark>規</mark>	見 格 単位	数量	<u>項 目</u>	備考	品名	規 格	<mark>単</mark> 位	数 量	摘要		
			ライトバン 1 日 損 料	1.5L 台目	0.2			ガソリン		L	1	$2.6L\times0.4h$		
			時間損料	<mark>台時</mark>	0.4									
			タ典日の古墳					L	_]	.Jl				
			各費目の直接		「する割) 合	<mark>音</mark> 一 費 目	割 合	費目	割合	Τ	摘	要		
			 機 械 経			通信運搬費等	0.0%	材料費		+	3141	<u> </u>		
				1.5L	0.5			ガソリン		L	2	$2.6L\times1.0h$		
			時間損料	台時	1.0									
			ク弗口の古紀				L	l	.]	.Jl				
			各費目の直接		「する割) 合	<mark>音</mark> 一 費 目	割合	費目	割合	Τ	摘	要		
						通信運搬費等	0.0%	材料費		+	Then	<u> </u>		
			雑器材	式	_			<mark>ポリエステルシート</mark>	$0.9 \text{m} \times 20 \text{m}$	本	0. 02	#300		
			各費目の直接		-					1				
					合	費目	割合		割合		摘	要		
			機械経	費 0.	0%	通信運搬費等	0.0%	材料費	1.0%					

(H27)

改 定 現 行 備 考 7-1-3 境界確認 7-1-3 境界確認 (1)標準歩掛等 (1)標準歩掛等 延 所 要 日 数 編 成 延 人 日 数 所 要 日 数 成 人 日 数 測量主任技師 測量技師補 外業の 測量技師補 外業の 測量助 測量技師 測量技師補 測量技師 測量主任技師 測量技師 測量技師 測量技師 測量助手 測量助 測量助 測量助 測量補助員 測量補助員 測量主任技師 測量技師補 測量補助員 測量主任技師 測量補助員 作業工程及び 測量主任技師 作業工程及び 測量主任技師 別 別 助員 手 助員 計 計 標準作業量 標準作業量 手 内 0.5 0.5 0.5 1 1 | 1 0.5 0.5 0.5 1.5 0.5 0.5 0.5 内 1 0.5 0.5 0.5 1.5 1 復元測量 復元測量 外 1 1 | 1 | 1 1 1 1 1 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 6.8 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 外 1.7 1.7 1.7 1.7 6.8 10,000㎡当り 10,000㎡当り 2.2 計 2.2 2.2 1.7 計 2.2 1.7 8.3 2. 2 | 2. 2 | 1. 7 2. 2 2. 2 1.7 8.3 内 0.7 0.7 内 1 0.7 0.7 1 1 0.7 0.7 1.4 1 0.7 0.7 1.4 境界確認 境界確認 外 1 1 外 1 1 4.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1 1.0 1.0 1.0 1.0 4.0 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 1 1 1.0 1.0 1.0 1.0 10,000㎡当り 10,000㎡当り 1.7 | 1.7 | 1.0 計 5.4 1.7 1.7 1.0 計 1.0 1.7 1.7 1.0 5.4 1.7 1.7 1.0 1.0 内 内 1 0.4 0.8 0.4 0.4 1 0.4 0.4 0.8 0.4 0.4 0.4 土地境界 土地境界 外 1 0.8 0.8 外 1 0.8 0.8 確認書作成 0.8 0.8 1 0.8 0.8 1.6 確認書作成 1.6 10,000㎡当り 10,000㎡当り 計 計 2.4 1.2 1.2 2.4 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 (注) 1. 復元測量とは、境界確認において境界を確定するうえで法務局において提出済の地積測量図他参考資 (注) 1. 復元測量とは、境界確認において境界を確定するうえで法務局において提出済の地積測量図他参考資 料による杭の復元を行うものである。 料による杭の復元を行うものである。 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 3. 機械経費, 通信運搬費等, 材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する (新設) 割合」に基づき別途計上する。

(H27)										
改定			現		行				備	考
								7-1-3		
<mark>(削除)</mark> The second of the seco	機械経費	の構成	通信運搬費	等の構成	材	料費	<i>の</i> 7	構成		
	名 称 規 格	単位数:	量 項 目	備考	品名	規格	<mark>単</mark> 数 位	<mark>量</mark> 摘 要		
	トータルステーション 3級	台目 1.	7		木杭又は プラスチック杭	4.5cm× 4.5cm×45cm	本 34	1		
	ライトバン 日 損 料 時間損料	台日 台時 3.	7		ガソリン		L 8	2. 6L×3. 4h		
	維器材	式 1			雑品		式 1			
			-							
	各費目の直接人件				J	1	JL			
	費目	割合	費目	割合	費目	割合	摘	要		
	機械経費	2.5%	通信運搬費等	0.0%	材料費	4.5%				
	ライトバン 日 損 料 時間損料	台日 1. 台時 2.	0		木杭又は プラスチック杭	4.5cm× 4.5cm×45cm	本 73	3		
	雑器材	式 1	<u></u>		ガソリン		L 5	$2.6L\times2.0h$		
	<u>亦世有计學习</u>		_		雑品		式 1			
					<u> </u>]			
	各費目の直接人件									
	費目	割合		割合	費目	割合	摘	要		
	機 <mark>機 械 経 費</mark>	1.0%	通信運搬費等	<mark>0.0%</mark>	材料費	<mark>5. 5%</mark>				
	ライトバン 日 損 料 時間損料1.5L 明 明 明 時間 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	台日 0. 台時 1.	8 6		ガソリン		L 4	2. 6L×1. 6h		
	夕弗口の老校上///	曲) 7 - 1- 1- 7	朝人	L	J	l	Jl			
	各費目の直接人件 費 目	T	費目	割合	費目	割合		要		
		割 合 1.5%	一 通信運搬費等		t 料費	1.0%	1向	安		
		11070	CHAMMA T	J. 070	1. 11 X	1. 0 70	1			

(H27)

改 定 現 行 備 オ

7-1-4 境界測量

(1)標準歩掛等

	Ē	折 身	要	3	女	内		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
補助基準点の		0.4	0.4	0. 4		内		1	1	1			0. 4	0. 4	0.4		1. 2
設置		0.8	0.8	0.8	0.8	外		1	1	1	1		0.8	0.8	0.8	0.8	3. 2
10,000㎡当り		1.2	1.2	1.2	0.8	計							1. 2	1. 2	1.2	0.8	4. 4
		0.7	0.7	0.7		内		1	1	1			0. 7	0. 7	0.7		2. 1
境界測量 10,000㎡当り		1.4	1.4	1.4	1.4	外		1	1	1	1		1. 4	1. 4	1.4	1. 4	5. 6
		2. 1	2. 1	2. 1	1.4	計							2. 1	2. 1	2. 1	1.4	7. 7
用地境界		0.3	0.3	0.3		内		1	1	1			0.3	0.3	0.3		0.9
仮 杭 設 置		0.8	0.8	0.8	0.8	外		1	1	1	1		0.8	0.8	0.8	0.8	3. 2
10,000㎡当り		1.1	1.1	1. 1	0.8	計							1. 1	1. 1	1.1	0.8	4. 1
用地境界杭			0.5	0.5		内			1	1				0. 5	0.5		1. 0
設置			1.2	1.2	1.2	外			1	1	1			1. 2	1.2	1.2	3. 6
10本当り			1. 7	1. 7	1.2	計								1. 7	1.7	1.2	4. 6

(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

7-1-4 境界測量

(1)標準歩掛等

	月	斤 勇	更	3	汝	内		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技質	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	7外業の別	測量主任技質	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技質	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
補助基準点の		0. 4	0.4	0. 4		内		1	1	1			0. 4	0.4	0.4		1. 2
設 置		0.8	0.8	0.8	0.8	外		1	1	1	1		0.8	0.8	0.8	0.8	3. 2
10,000㎡当り		1. 2	1.2	1. 2	0.8	盐							1. 2	1. 2	1.2	0.8	4. 4
		0. 7	0.7	0. 7		内		1	1	1			0. 7	0.7	0.7		2.]
境 界 測 量 10,000㎡当り		1.4	1.4	1. 4	1.4	外		1	1	1	1		1.4	1.4	1.4	1.4	5. 6
		2. 1	2. 1	2. 1	1. 4	計							2. 1	2. 1	2. 1	1.4	7. 7
用地境界		0.3	0.3	0.3		内		1	1	1			0.3	0.3	0.3		0.9
仮 杭 設 置		0.8	0.8	0.8	0.8	外		1	1	1	1		0.8	0.8	0.8	0.8	3. 2
10,000㎡当り		1. 1	1. 1	1. 1	0.8	盐							1. 1	1. 1	1. 1	0.8	4.
用地境界杭			0.5	0. 5		内			1	1				0.5	0.5		1. (
設 置			1.2	1. 2	1. 2	外			1	1	1			1.2	1.2	1.2	3. 6
10本当り			1.7	1. 7	1. 2	計								1. 7	1.7	1.2	4. (

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

改定	現	備考
<u> </u>	7-1 & 械 経 費 の 構 成 通信運搬費等の構成 材 料 費 の 構 成	1-4
	称 規 格 単位 数量 項 目 備 考 品 名 規 格 数 量 数 量 数 量 数 量 数 量 摘 要	4
	大杭又は	
	1.5L 計損料 台目 0.8 台時 1.6 対ソリン L 4 2.6L×1.6h	i
	The state of th	
	費目割合費目割合摘要	
	機械経費 2.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 4.5%	
	NAF-ション 3級 台日 1.4 ガソリン L 7 2.6L×2.8 イトバン 1.5L ま 1	<mark>8h</mark>
	日 損 料	
	F間損料	
	費 目 割 合 費 目 割 合 摘 要	
	版 械 経 費 2.0% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 3.0%	
	大杭又は	
	'トバン 1.5L 1.	i
	・費目の直接人件費に対する割合 ・	
	費 目 割 合 費 目 割 合 摘 要 & 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 6.5%	
	プ [*] ラスチック杭 9 _{cm×9cm} ×90cm イ 10	_
	指 料 1.0	<u> </u>
	費 目 割 合 費 目 割 合 摘 要	
	後 械 経 費 3.0% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 22.5%	

測量業務積算基準 エ 種

(H27)

改 定 現 行 備 考 7-1-5 境界点間測量 7-1-5 境界点間測量 (1) 標準歩掛等 (1)標準歩掛等 所 要 日 数 編 成 延 人 日 数 内外業の別 測量技師補

作業工程及び

標準作業量

境界点間測量

10,000㎡当り

(新設)

7-1-6

	戸	斤	更 月	3 ¥	数	内		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
		0.2	0. 4	0. 4		内		1	1	1			0. 2	0.4	0. 4		1. 0
境界点間測量 10,000㎡当り		1.2	1. 2	1.2		外		1	1	1			1. 2	1.2	1.2		3.6
		1.4	1.6	1.6		計							1. 4	1.6	1.6		4.6

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費, 通信運搬費等, 材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割 合」に基づき別途計上する。

7-1-6 面積計算

(1)標準歩掛等

	戸	斤 孠	更	3	数	内		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び	測量主	測量技	測量技	測量助で	測量補品	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補:	測量主	測量技	測量技	測量助で	測量補品	=1
標準作業量	量主任技師	師	新	手	助員	מים	仕技師	帥	神補	丰	助員	量主任技師	師	師補	手	助員	計
面 積 計 算 10,000㎡当り		2.2	2. 2	2. 2		内		1	1	1			2. 2	2. 2	2. 2		6.6

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費, 通信運搬費等, 材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」 に基づき別途計上する。

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

測量技師補

0. 2 0. 4

1.4 1.6

1.2

1.2

測量助

手

0.4

1.2

1.6

測量技師

測量主任技師

7-1-6 面積計算

(1)標準歩掛等

	戸	斤 孠	Ę F	3 \$	汝	内		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
面 積 計 算 10,000㎡当り		2. 2	2. 2	2. 2		内		1	1	1			2. 2	2. 2	2. 2		6.6

測量助手

1 | 1 |

1

測量補助員

測量主任技師

内

外

計

測量技師

測量主任技師

測量助手

0. 2 | 0. 4 | 0. 4

1. 2 | 1. 2 | 1. 2

1.4 1.6 1.6

測量補助員

計

1.0

3.6

4.6

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

(H27)														
改定					現		行					備	考	
(米山平本)														_
<mark>(削除)</mark> The state of the state	√ 4_4 364	/ /2	D +#	4-	·圣层·宏柳.弗/	かの排出	++	wi #	<i>T</i>	1#:	7-1-5	1		
	機械機	栓 箕 ⁽ 	り 	 	通信運搬費 [。]	等の構成 	<u>₩</u>	料 費		構	<mark>放</mark>	4		
									<u>単</u>					
	名称	規格	単位	数量	項目	備考	品名	規格		量	摘 要			
									<mark>位</mark> 					
	トータルステーション	3級	台日	1. 2			ガソリン		L	6 2.	6L×2.4h	-		
	ライトバン	1.5L					雑品		式	1	OD NE. III	-		
	日 損 料時間損料			1. 2 2. 4			тен			-		_		
	雑器材		式	1										
	 各費目の[L	٠		J J			1		
	書	目	割る		<mark>当</mark> 費 目	割合	費目	割合		摘	要	1		
	<u> </u>	X 弗	3.0%		通信運搬費等	0.0%	材料費	+		11-0	<u> </u>	1		
	1000 1000 11		0.07	/ 0	心山足冰貝寸	0.070	竹 竹 真	1. 0 /0				_		
											7-1-6			
	±64 <u>, 11.</u>	汉 弗 /	л [#]	ı.t:	· 运 <i>信</i> · 海顿弗	立の株式	++	火 井 ,	<i>D</i>	 #	<mark>7-1-6</mark>	1		
	機械が	<mark>経 費 (</mark>	の構 /	成	通信運搬費	等の構成 	材	料費	<i>の</i>	構				
									単		<u>——</u> 成			
							<mark>材</mark> 品 名		単					
									単		<u>——</u> 成			
	<u>名 称</u>		単位				品名		単 数 位		<u>——</u> 成			
									単		<u>——</u> 成			
	名 称 雑器材	規格	単位 式	数量 1	項目	備考	品名	規格	道。	T 量	摘要			
	名 称 雑器材	規格	単位数	数量 I	項目	備考	品 名 雑品	規格	道。	T 量	摘要			
	名 称 雑器材	規格	単位数	数量 I かる割っ	項 目 合	備考	品 名 雑品	規格	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	T 量	摘要			
	名 称 雑器材	規格 直接人件	単位数	数量 1 合	項 目 合	備 考	品 名 雑品	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			
	名 称 雑器材 各費目の頂	規格 直接人件	単位 式 響に対す	数量 1 合	項 目 合 費 目	備 考	品 名 雑品 費 目	規 格 割 合	単 位 式	· 量	摘要			

(H27)

改 定 現 行 備 考 7-1-7 用地実測図原図等の作成 7-1-7 用地実測図原図等の作成 (1)標準歩掛等 (1)標準歩掛等 延 所 要 延 数 所 要 日 数 編 成 人 日 数 日 数 成 人 日 測量技師補 測量技師 補 測量補助員 測量主任技知 測量主任技師 測量主任技知 測量補助員 測量技師補 測量技師 測量助手 外業の 測量主任: 測量補 測 測 測 測 作業工程及び 作業工程及び 量技師補 量補助員 量補助員 量助 量主任技師 主任技 別 別 計 助 計 標準作業量 手 標準作業量 員 用地実測図 用地実測図 原図作成 原図作成 1 1 1.3 | 1.7 内 1.3 1.7 1.7 4.7 1.7 $1 \mid 1 \mid 1$ 1.3 1.7 1.7 内 1.3 1.7 1.7 4.7 10,000㎡当り 10,000㎡当り (縮尺 1/500) (縮尺 1/500) 0.3 0.3 内 1 0.9 0.3 1 0.3 0.3 0.3 内 1 | 1 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 1 0.3 0.9 用地現況測量 用地現況測量 外 1 (建物等) 0.6 0.6 0.6 0.6 1 0.6 0.6 0.6 0.6 2.4 1 1 0.6 0.6 0.6 0.6 外 0.6 0.6 0.6 0.6 2.4 (建物等) 10,000㎡当り 10,000㎡当り 0.9 0.9 0.6 計 0.9 0.9 0.6 3.3 0.9 0.9 計 0.9 0.9 0.9 0.6 3.3 0.9 0.9 0.9 0.6 用地平面図 用地平面図 成 0.5 0.9 0.9 内 1 0.5 0.9 0.9 2.3 1 成 0.9 0.9 内 1 1 0.9 0.9 2.3 10,000㎡当り 0.5 1 0.5 10,000㎡当り (縮尺 1/500) (縮尺 1/500) 土地調書作成 土地調書作成 内 0.9 0.9 1 1 0.9 0.9 1.8 0.9 0.9 0.9 1 | 1 0.9 1.8 10,000㎡当り 10,000㎡当り (注) 1. 用地現況測量(建物等)については、7-3公共用地境界確定協議の現況実測平面図作成と測量箇所が (注) 1. 用地現況測量(建物等)については、7-3公共用地境界確定協議の現況実測平面図作成と測量箇所が 重複する場合は、その数量を控除するものとする。 重複する場合は、その数量を控除するものとする。 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (新設) 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割 合」に基づき別途計上する。

改定					現		行					
	機械経	費の	横	成	通信運搬費等	等の構成	材	料費	の	構	7- 1 成	<mark>1-7</mark>
	名 称	規格	単位	数量	項目	備考	品名	規格	<mark>単</mark> 位	数量	摘要	
	雑器材		式	1			<mark>ポリエステルシート</mark>	$0.9 \text{m} \times 20 \text{m}$	本	<mark>0. 02</mark>	#500	
]			<u> </u>]				
	各費目の直接		に対する	る割合			,		1			
	<mark>費</mark>	目	割	合	<mark>費 目</mark>	割合	費目	割合		摘	要	
	機械経	費	0.00	<mark>%</mark>	通信運搬費等	0.0%	材料費	0.0%				
		<mark>3 級</mark> 1. 5L	台日	0.6			ガソリン		L	3	2. 6L×1. 2h	
	ライトバン 日 損 料 時間損料	1. UL	台日 台時	0. 6 1. 2			雑品		式	<u>1</u>		
	雑器材		式	1								
	各費目の直接	立 () : 사 : 2) : 사 : 2	z 宝() △			J]]]		L	
		目	EXI 9 6 割		費目	割 合	費目	割合		摘		
	機械経	費	2.00	<mark>%</mark>	通信運搬費等	0.0%	材料費	3.5%				
	雑器材		式	1			<mark>ポリエステルシート</mark>	$0.9 \text{m} \times 20 \text{m}$	本	0. 03	#300	
]]			<u> </u>]				
	各費目の直接	<mark>妾人件費</mark>	に対する	る割合			1	T	1			
	<u>費</u>	目	割	合	費目	割合	費目	割合		摘	要	
	機械経	費	0. 0°	<mark>%</mark>	通信運搬費等	0.0%	材料費	0.5%				
]]			<u> </u>]				
	各費目の直接	<mark>妾人件費</mark>	に対する	る割合			1	T	1			
	<mark>費</mark>	目	割	<mark>合</mark>	費目	割合	費目	割合		摘	<mark>要</mark>	
	機械経	費	0.00	<mark>%</mark>	通信運搬費等	0.0%	材料費	<mark>0.0%</mark>				

(H27)

改 定 現 行 備 考

7-3 公共用地境界確定協議

(1)標準歩掛等

(1)標準						ı											
	戸	年	Ę l	3	数	<u> </u>		編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
公共用地管理	0.5	0.5	0.5			内	1	1	1			0. 5	0.5	0.5			1.5
者との打合せ	0.5	0.5	0.5			外	1	1	1			0. 5	0.5	0.5			1.5
1業務当り	1.0	1.0	1.0			計						1. 0	1. 0	1.0			3.0
現況実測		0.4	0. 7	0.7		内		1	1	1			0.4	0.7	0.7		1.8
平面図作成 10,000㎡当り		1.2	1. 2	1.2		外		1	1	1			1. 2	1. 2	1.2		3.6
(縮尺 1/500)		1.6	1.9	1.9		計							1.6	1.9	1.9		5. 4
			3. 0	3. 7		内			1	1				3.0	3. 7		6. 7
横断面図作成 1 km 当 り		2.5	2. 5	2. 5	2.5	外		1	1	1	1		2. 5	2.5	2.5	2. 5	10.
,		2.5	5. 5	6. 2	2. 5	計							2. 5	5. 5	6.2	2. 5	16.
依頼書作成 1 km 当 り	0.6	1.4	1.4			内	1	1	1			0.6	1.4	1.4			3. 4
	0.9	0.9	2. 1			内	1	1	1			0.9	0.9	2. 1			3. 9
協議書作成 1 km 当 り	0.9	0.9	0.9			外	1	1	1			0. 9	0.9	0.9			2.7
	1.8	1.8	3. 0			計						1.8	1.8	3.0			6. 6

- (注) 1. 現況実測平面図作成については既存の地図等を利用する場合は計上しないものとする。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

7-3 公共用地境界確定協議

(1)標準歩掛等

(1)標準	歩掛等	F				ı						1					
	亨	f	Ē F	3 \$	汝			編		成			延	人	日	数	
作業工程及び標準作業量	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	1111
公共用地管理	0.5	0. 5	0. 5			内	1	1	1			0.5	0. 5	0. 5			1. 5
者との打合せ	0.5	0. 5	0. 5			外	1	1	1			0. 5	0. 5	0. 5			1. 5
1業務当り	1.0	1. 0	1. 0			計						1. 0	1. 0	1.0			3. 0
現況実測		0. 4	0. 7	0. 7		内		1	1	1			0. 4	0. 7	0.7		1.8
平面図作成 10,000㎡当り		1. 2	1. 2	1. 2		外		1	1	1			1. 2	1. 2	1. 2		3. 6
(縮尺 1/500)		1. 6	1. 9	1. 9		計							1. 6	1. 9	1. 9		5. 4
			3. 0	3. 7		内			1	1				3. 0	3. 7		6. 7
横断面図作成 1 km 当 り		2. 5	2. 5	2. 5	2. 5	外		1	1	1	1		2. 5	2. 5	2. 5	2.5	10.0
		2. 5	5. 5	6. 2	2. 5	計							2. 5	5. 5	6. 2	2. 5	16. 7
依頼書作成 1 km 当 り	0.6	1. 4	1. 4			内	1	1	1			0.6	1. 4	1.4			3. 4
	0. 9	0. 9	2. 1			内	1	1	1			0.9	0. 9	2. 1			3. 9
協議書作成 1 km 当 り	0.9	0. 9	0. 9			外	1	1	1			0.9	0. 9	0.9			2. 7
	1.8	1.8	3. 0			計						1.8	1.8	3. 0			6. 6

- (注) 1. 現況実測平面図作成については既存の地図等を利用する場合は計上しないものとする。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

改 	現	1
	7-3	
	機 械 経 費 の 構 成 通信運搬費等の構成 材 料 費 の 構 成	
	名 称 規 格 単位 数量 項 目 備 考 品 名 規 格 位 数 量 摘 要	
	ライトバン 日損料 時間損料 1.5L 台日 台時 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日	
	雑器材	
	各費目の直接人件費に対する割合 費 目 割 合 費 目 割 合 適 要	
	機 械 経 費 0.5% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 0.5%	
	トータルステーション 3 級 台目 1.2 ポ゚リエステルシート 0.9m×20m 本 0.02 #300	
	ライトバン 日 損 料 1. 5L 台目 1. 2 ガソリン L 6 2. 6L×2. 4h	
	時間損料 台時 2.4	
	雑器材	
	各費目の直接人件費に対する割合 費 割 合 割 合 割 合 割 合 適	
	機 械 経 費 2.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 4.0%	
	トータルステーション 3 級 台目 2.5 ま。リエステルシート 0.9m×20m 本 0.02 #300	
	ライトバン 日 損 料 時間損料 1.5L 台目 2.5 台目 5.0 ガソリン 組 報品 L 13 2.6L×5.0h	
	時間損料 5.0 雑器材 式 1	
	費 目 割 合 費 目 割 合 摘 要	
	機 械 経 費 1.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 2.5% 雑器材	
	本命型 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	費目割合費目割合類合類	
	機 械 経 費 0.0% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 0.0%	
	ライトバン 日 損 料 1.5L 台目 0.9	
	時間損料 台時 1.8 雑品 式 1	
	雑器材 式 1	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	費 目 割 合 割 合 割 合 割 合 摘 要	
	機 械 経 費 0.5% 通信運搬費等 0.0% 材 料 費 0.5%	

7-4 公共用地境界確定協議変化率

7 - 4 - 1 変化率適用表

	エ		程		業別	地域	縮尺
公共	用地管	が理者と	の打	合せ	内外	×	×
現	兄実涯	則 平 面	i図作	下 成	内外	0	0
横	断i	面 図	作	成	内外	0	×
依	頼	書	作	成	内	×	×
協	議	書	作	成	内外	×	×

7-4-2 地域による変化率

地	域	大市街地	市街地甲	市街地乙	都市近郊	耕	地	原	野
変化	匕率	+ 1.0	+ 0.8	+ 0.5	+ 0.3		0		0.3

備考 森林については、耕地を適用する(変化率 0)。

7-4-3 縮尺による変化率

現況実	測 平 面	図 作 成			
1/250	1/500	1/1000			
+ 0.2	0	- 0.2			

備考 現況実測平面図作成は、縮尺1/500を標準としており、それと異なる場合は変化率を 適用する。

7-5 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>5</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

7-4 公共用地境界確定協議変化率

7-4-1 変化率適用表

I		程		業別	地域	縮尺
公共用地	管理者と	の打	合せ	内外	×	×
現況実	測平面	図化	F 成	内外	0	0
横断	面図	作	成	内外	0	×
依頼	書	作	成	内	×	×
協議	書	作	成	内外	×	×

7-4-2 地域による変化率

地	域	大市街地	市街地甲	市街地乙	都市近郊	耕地	原	野
変化	匕率	+ 1.0	+ 0.8	+ 0.5	+ 0.3	0	_	0.3

備考 森林については、耕地を適用する(変化率 0)。

7-4-3 縮尺による変化率

現	況	実	測	平	面	図	作	成
1/250			1,	0 0	1/1000			
+ 0.2						_	0. 2	

備考 現況実測平面図作成は、縮尺1/500を標準としており、それと異なる場合は変化率を 適用する。

7-5 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>3</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

改 定 備 考

第8節 空中写真測量

8-1 撮影の積算方式

8-1-1 撮影計画

撮影作業に先だち、撮影器材の選定(航空機の性能又は機種、デジタルカメラの性能等),数値写真レベルの決定(撮影高度又は数値写真レベル、撮影基準面、撮影重複度等),1/25,000 地形図等を利用して行う撮影航法の選定(撮影コース及び各コースの撮影開始ならびに終了地点等)ならびに撮影飛行場、撮影時間等の撮影作業全般にわたる計画及び準備作業である。

なお、航空機は単発機とする。ただし、双発機を利用する場合は、別途計上する。

8-1-2 運 航

1. 運航時間

(1) 空輸時間

航空機を常駐し管理している飛行場(以下、「本拠飛行場」という。)が、撮影地にできるだけ近く選定した撮影飛行場(以下「撮影飛行場」という。表-2参照*1)でない場合に、本拠飛行場から撮影飛行場まで航空機を空輸する時間(往復)であって、次式により算定する。また、この空輸した先の撮影飛行場を前進飛行場という。

空輸時間= $\frac{[撮影飛行場迄の往復直線距離(km)]^{*1}}{空輸運航速度^{*2}}$ + $[離着陸時間 (h)^{*3}] \times 2$ ・・・①

- *1. 撮影飛行場までの往復直線距離は、表-2を参照。ただし、表に掲載されていない区間については、【設計業務等標準積算基準書(参考資料)5-3 撮影の計画図2-5-13】の経緯度を用いて直線距離を計算する。なお、数値は1の位を四捨五入(10 km単位)とする。
- *2. 250km/h とする。
- *3. 片道の離着陸時間を 0.5 時間とする。

(2) 撮影運航時間

当該撮影作業の実施に必要な時間で、撮影<mark>飛行場・</mark>撮影地間往復時間、撮影回数、本撮影時間、GNSS/IMU 装置初期化時間、コース進入時間、補備撮影時間及び予備飛行時間に分け、 $A \sim G o 2$ $-1 \sim 7$ 式により算定する。

(表-1) 撮影作業種別一覧表

1	空輸時間	7	予備飛行時間
2	撮影 <mark>飛行場</mark> ・撮影地間往復時間	8	総運航時間
2'	1回当たり撮影 <mark>飛行場</mark> ・撮影地間往復時間	9	撮影日数
3	本撮影時間	10	滞留日数
3′	撮影コース延長	11)	滞留費
4	GNSS/IMU 装置初期化時間	12	撮影費
4)′	1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間	13	写真枚数
5	コース進入時間	<u>(14)</u>	撮影基線長
6	補備撮影時間		

第8節 空中写真測量

8-1 撮影の積算方式

8-1-1 撮影計画

撮影作業に先だち、撮影器材の選定(航空機の性能又は機種、デジタルカメラの性能等),数値写真レベルの決定(撮影高度又は数値写真レベル、撮影基準面、撮影重複度等),1/25,000 地形図等を利用して行う撮影航法の選定(撮影コース及び各コースの撮影開始ならびに終了地点等)ならびに撮影基地、撮影時間等の撮影作業全般にわたる計画及び準備作業である。

なお、航空機は単発機とする。ただし、双発機を利用する場合は、別途計上する。

8-1-2 運航

1. 運航時間

(1) 空輸時間

航空機を前進飛行場に移動するために必要とする時間で、本拠飛行場から撮影地にできるだけ近く 選定した撮影<mark>基地</mark>飛行場、(以下「撮影<mark>基地</mark>」という。表-2参照*1)まで航空機を空輸する時間 (往復)であって、次式により算定する。

空輸時間= $\frac{[撮影飛行場迄の往復直線距離(km)]^{*1}}{空輸運航速度^{*2}}$ + [離着陸時間(h) *3]×2 ・・・①

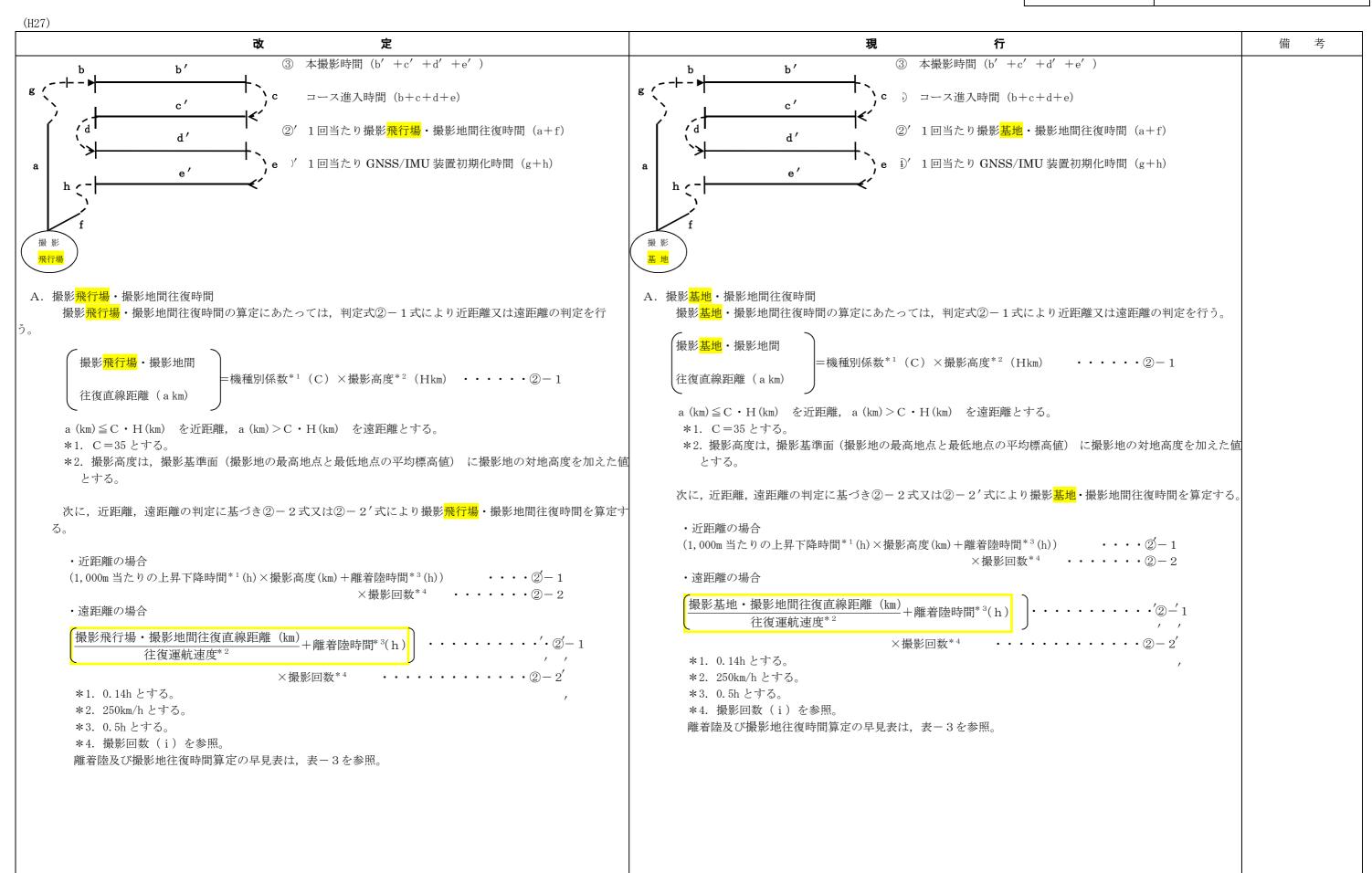
- *1. 撮影基地までの往復直線距離は,表-2を参照。ただし,表に掲載されていない区間については,【設計業務等標準積算基準書(参考資料)5-3 撮影の計画図2-5-13】の経緯度を用いて直線距離を計算する。なお,数値は1の位を四捨五入(10 km単位)とする。
- *2. 250km/h とする。
- *3. 片道の離着陸時間を 0.5 時間とする。

(2) 撮影運航時間

当該撮影作業の実施に必要な時間で、撮影<mark>基地・</mark>撮影地間往復時間、撮影回数、本撮影時間、GNSS/IMU 装置初期化時間、コース進入時間、補備撮影時間及び予備飛行時間に分け、 $A\sim G$ の② $-1\sim 7$ 式により算定する。

(表-1) 撮影作業種別一覧表

1)	空輸時間	7	予備飛行時間
2	撮影 <mark>基地</mark> ·撮影地間往復時間	8	総運航時間
2'	1回当たり撮影 <mark>基地</mark> ・撮影地間往復時間	9	撮影日数
3	本撮影時間	10	滞留日数
3′	撮影コース延長	11)	滞留費
4	GNSS/IMU 装置初期化時間	12	撮影費
4)'	1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間	13	写真枚数
5	コース進入時間	<u>(14)</u>	撮影基線長
6	補備撮影時間		



備考

(H27)

改 定

(表-3) (のつづき			測地往復	寺間算定表	(遠距離の場合)
計画		遠	距	離		
	距離	÷//. 17-1-	→← 17+	VT 64	往復	備考
高 度	片 道	離陸	着陸	運航	時間計	
m	km	h	h	h	h	
1,000	20			0.160	0.660	
100	25			0.200	0.700	
200	30			0.240	0.740	
300	35			0.280	0.780	運航速度
400	40			0.320	0.820	250km/h
500	45			0.360	0.860	上昇時間 0.07h
600	50			0.400	0.900	(1,000m につき)
700	55			0.440	0.940	下降時間 0.07h
800	60			0.480	0.980	(1,000m につき)
900	65			0.520	1.020	
2,000	70			0.560	1.060	離陸時間 0.3h
100	75			0.600	1. 100	着陸時間 0.2h
200	80			0.640	1. 140	
300	85			0.680	1. 180	
400	90			0.720	1. 200	
500	95			0.760	1.260	
600	100			0.800	1.300	
700	105			0.840	1.340	
800	110	0.300	0.200	0.880	1.380	
900	115			0.920	1.420	
3,000	120			0.960	1.460	
100	125			1.000	1.500	
200	130			1.040	1.540	
300	135			1.080	1.580	
400	140			1. 120	1.620	
500	145			1. 160	1.660	
600	150			1. 200	1.700	
700	155			1. 240	1.740	
800	160			1. 280	1. 780	
900	165			1.320	1.820	
4,000	170			1.360	1.860	
100	175			1.400	1.900	
200	180			1.440	1.940	
300	185			1.480	1. 980	
400	190			1.520	2.020	
500	195			1.560	2.060	

(表-3の使い方)

600

200

1. 先ず地図上で撮影・計測飛行場と撮影・計測地の略々中心との距離を求める。

1.600

2. 撮影・計測高度に対する適用距離(片道)の値が、第1項により求めた距離より大きい場合には、近距離側の往復時間計をその撮影・計測高度に対して決定し、第1項により求めた距離より小さい場合には遠距離側の往復時間を第1項により求めた距離に対して決定する。

2.100

B. 撮影回数 (i)

撮影日数計算式⑨で算定した値の整数値(端数切上げ)を用いる。

C. 本撮影時間

本撮影時間 (h) = $\frac{撮影コース延長^{*1}(km)}{撮影運航速度^{*2}(km/h)}$ ・・・・・・・・③

*1. 撮影コース延長は、地形図上に撮影コースを計画し、その延長を計測する。・・③' 撮影コースの位置は、後続作業を考慮し基準点の配置等に十分配慮して決定する。なお、数値は小数第 (表-3) のつづき 離着陸及び撮影・計測地往復時間算定表(遠距離の場合)

行

現

(表一:	3) のつづ	き 離着陸	幸及び撮影	計測地征	主復時間算	[定表(遠距離	惟の場合)
計 画		遠	距	離			
司 四	距離				往復	備	考
高 度	片道	離陸	着陸	運航	時間計		
m	km	h	h	h	h		
1,000	20			0. 160	0.660		
100	25			0. 200	0.700		
200	30			0. 240	0.740		
300	35			0. 280	0.780	運航速度	
400	40			0.320	0.820	250km/	h
500	45			0.360	0.860	上昇時間 0.	07h
600	50			0.400	0.900	(1,000m に	つき)
700	55			0.440	0.940	下降時間 0.	07h
800	60			0.480	0.980	(1,000m に	つき)
900	65			0.520	1.020		
2,000	70			0.560	1.060	離陸時間 0.	
100	75			0.600	1.100	着陸時間 0.	2h
200	80			0.640	1.140		
300	85			0.680	1.180		
400	90			0.720	1.200		
500	95			0.760	1.260		
600	100			0.800	1.300		
700	105			0.840	1.340		
800	110	0.300	0. 200	0.880	1.380		
900	115			0.920	1.420		
3,000	120			0.960	1.460		
100	125			1.000	1.500		
200	130			1.040	1.540		
300	135			1.080	1.580		
400	140			1. 120	1.620		
500	145			1. 160	1.660		
600	150			1. 200	1.700		
700	155			1. 240	1.740		
800	160			1. 280	1.780		
900	165			1. 320	1.820		
4,000	170			1. 360	1.860		
100	175			1. 400	1. 900		
200	180			1. 440	1. 940		
300	185			1. 480	1. 980		
400	190			1. 520	2.020		
500	195			1. 560	2.060		
600	200			1.600	2. 100		

(表-3の使い方)

- 1. 先ず地図上で撮影・計測<mark>基地</mark>と撮影・計測地の略々中心との距離を求める。
- 2. 撮影・計測高度に対する適用距離(片道)の値が,第1項により求めた距離より大きい場合には,近 距離側の往復時間計をその撮影・計測高度に対して決定し,第1項により求めた距離より小さい場合に は遠距離側の往復時間を第1項により求めた距離に対して決定する。
- B. 撮影回数 (i)

撮影日数計算式⑨で算定した値の整数値(端数切上げ)を用いる。

C. 本撮影時間

本撮影時間 $(h) = \frac{撮影コース延長^{*1}(km)}{撮影運航速度^{*2}(km/h)}$ · · · · · · · · · · · ③

*1. 撮影コース延長は、地形図上に撮影コースを計画し、その延長を計測する。・・③' 撮影コースの位置は、後続作業を考慮し基準点の配置等に十分配慮して決定する。なお、数値は小数第2

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

(H27) 改 定	現 行
2位を四捨五入(0.1km 単位)する。 *2.表-4を参照。	位を四捨五入 (0.1km 単位) する。 *2.表-4を参照。
(表-4) 撮影運搬速度	(表-4)撮影運搬速度
写 真 縮 尺	写 真 縮 尺
撮影運航速度(km/h) 160 180 200 250	撮影運航速度(km/h) 160 180 200 250
 D. GNSS/IMU 装置初期化時間 (h) = (1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間*1 (h)) × (撮影回数) *2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 D. GNSS/IMU 装置初期化時間 (h) = (1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間*1 (h))
コース進入時間(h)= (1コース当たり 0.18h) × (コース数) ・・・・・・・・⑤	コース進入時間(h)= (1コース当たり 0.18h) × (コース数) ・・・・・・・・⑤
F. 補備撮影時間 綿密な気象・地形調査を実施して、撮影を開始しても予測不可能な気象変化や気流状態の不良によって、測 量用写真として不適当の場合は再撮影を必要とする。このために補備撮影時間を見込むものとする。 補備撮影時間(h) = ((撮影 <mark>飛行場</mark> ・撮影地間往復時間(h)) + (本撮影時間(h)) + (GNSS/IMU 装置初期化時間(h)) + (コース進入時間(h)))×30% = (②+③+④+⑤)×30% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	F. 補備撮影時間 綿密な気象・地形調査を実施して、撮影を開始しても予測不可能な気象変化や気流状態の不良によって、測 量用写真として不適当の場合は再撮影を必要とする。このために補備撮影時間を見込むものとする。 補備撮影時間(h)=((撮影 <mark>基地</mark> ・撮影地間往復時間(h)) + (本撮影時間(h)) + (GNSS/IMU 装置初期化時間(h)) + (コース進入時間(h)))×30% =(②+③+④+⑤)×30% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
G. 予備飛行時間 撮影作業は、撮影地の局部的な天候、地形及び撮影時刻等により極度の制約を受けて撮影好適日が非常に少ない。このため、快晴日であっても撮影地上空に雲等の撮影障害があれば止むを得ず引き返しとなる。このための時間を予備飛行時間として見込むものとする。 予備飛行時間(h) = ((撮影 <mark>飛行場</mark> ・撮影地間往復時間(h)))×100% = ②×100% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	G. 予備飛行時間 撮影作業は、撮影地の局部的な天候、地形及び撮影時刻等により極度の制約を受けて撮影好適日が非常に少ない。このため、快晴日であっても撮影地上空に雲等の撮影障害があれば止むを得ず引き返しとなる。このための時間を予備飛行時間として見込むものとする。 予備飛行時間(h)=((撮影 <mark>基地</mark> ・撮影地間往復時間(h)))×100% =②×100% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-1-3 総運航時間	8-1-3 総運航時間
1. 総運航時間の算定 当該撮影作業の実施に必要なすべての運航時間で、次式により算定する。 総運航時間(h)=①+2.3×②+1.3×(③+④+⑤) ・・・・・・・・・・・・・・	1. 総運航時間の算定 当該撮影作業の実施に必要なすべての運航時間で、次式により算定する。 総運航時間(h)=①+2.3×②+1.3×(③+④+⑤) ・・・・・・・・・・・・・・・
2. 総運航費の算定 総運航費は次式により算定する。 総運航費= (総運航時間) × 1 時間当たり (航空機損料+航空ガソリン* ¹ +航空オイル* ²) *1. 60.0 % / 2 / h とする。 *2. 2.5 % / h とする。	2. 総運航費の算定 総運航費は次式により算定する。 総運航費= (総運航時間) × 1 時間当たり (航空機損料+航空ガソリン* ¹ +航空オイル* ²) *1. 60.0 % / h とする。 *2. 2.5 % / h とする。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

備 考

(H27)

8-1-4 滞留

滞留とは、撮影実施及び天候待ちのため撮影作業員が撮影<mark>飛行場</mark>にとどまることである。

改

- 1. 滞留日数の算定
- (1) 撮影日数

定

*小数第1位(小数第3位を四捨五入し、小数第2位を端数切上げ)までとする。

- (2) 滞留日数
- A. 撮影日数が2日以内の場合

(滯留日数)=(撮影1日当たり滯留日数) *1 ×(撮影日数) *2 ・・・・・・・・ 10 -1

- *1. 5日を標準とする。
- *2. 小数点以下は切上げて整数にする。
- B. 撮影日数が2日を越える場合

滞留日数は、整数値(小数第3位を四捨五入し、端数切上げ)とする。

(滞留日数)*
4
= $\frac{(撮影予定当該月の全日数)}{(当該月の撮影可能日数)* $^{3}}$ ×(撮影日数) ・・・・・・・⑩-2$

- *3. 撮影可能日数表(表-6)を参照し、それぞれ撮影地内又は撮影地に最も近い地点のデジタル空中写真撮影可能日数を採用する。
- *4. 式⑩-2での計算の結果、滞留日数が10日未満となる場合は、滞留日数を10日とする。
- 2. 滞留費の算定

滞留費は次式により算定する。

*操縦士,整備士,撮影士各1名の基準日額及び通信運搬費とする。ただし,前進飛行場を利用する場合は,日当,宿泊料(または日額旅費)も計上する。

(注) 特に規模の大きい撮影については、別途計上することができる。

8-1-7 旅費交通費等

前進<mark>飛行場</mark>を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場~前進<mark>飛行場</mark>までの<mark>公共交通機関</mark>による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

8-1-4 滞留

滞留とは、撮影実施及び天候待ちのため撮影作業員が撮影基地にとどまることである。

現

- 1. 滞留日数の算定
- (1) 撮影日数

行

*小数第1位(小数第3位を四捨五入し、小数第2位を端数切上げ)までとする。

- (2) 滞留日数
- A. 撮影日数が2日以内の場合

(滞留日数) = (撮影 1 日当たり滞留日数) *1 × (撮影日数) *2 ・・・・・・・ 10 -1

- *1. 5日を標準とする。
- *2. 小数点以下は切上げて整数にする。
- B. 撮影日数が2日を越える場合

滞留日数は,整数値(小数第3位を四捨五入し,端数切上げ)とする。

- *3. 撮影可能日数表(表-6)を参照し、それぞれ撮影地内又は撮影地に最も近い地点のデジタル空中写真撮影可能日数を採用する。
- *4. 式⑩-2での計算の結果、滞留日数が10日未満となる場合は、滞留日数を10日とする。
- 2. 滞留費の算定

滞留費は次式により算定する。

- *操縦士,整備士,撮影士各1名の基準日額及び通信運搬費とする。ただし,前進<mark>基地</mark>を利用する場合は,日当,宿泊料(または日額旅費)も計上する。
- (注) 特に規模の大きい撮影については、別途計上することができる。

8-1-7 旅費交通費等

前進<mark>基地</mark>を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場〜<mark>撮影基地(</mark>前進<mark>基地)</mark>までの<mark>陸路</mark>による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

라	τ		定		現	<u> </u>		行		
長-5) 運航時間算定例			1		(表-5) 運航時間算定例		I	I	1	
地区 区分	名	(a)	(b)	備考	区分	名	(a)	(b)	備考	
撮影面積	km²	900	225		撮影面積	km²	900	225		
撮影距離	km	420	60		撮影距離	km	420	60		
コース数	コース	14	4	(a):地図情報レベル 1000 (b):地図情報レベル 2500	コース数	コース	14	4	(a):地図情報レベル 1000 (b):地図情報レベル 2500	
撮影高度	m	2,000	2,000		撮影高度	m	2,000	2,000		
本拠飛行場から撮影 <mark>飛行場</mark> 間往復直線 距離	km	30	00		本拠飛行場から撮影 <mark>基地</mark> 間往復直線距 離	km	30	00		
撮影 <mark>飛行場</mark> から撮影地までの往復直線 距離	km	140	30		撮影 <mark>基地</mark> から撮影地までの往復直線距 離	km	140	30		
①空輸時間	h	2.	20		①空輸時間	h	2.	20		
②′撮影 <mark>飛行場</mark> 撮影地1往復時間	h	1.06	0. 62		②′撮影 <mark>基地</mark> 撮影地1往復時間	h	1.06	0.62		
② " 全往復時間	h	2. 12	0. 62	②′×撮影回数 (i)	② " 全往復時間	h	2. 12	0. 62	②′×撮影回数 (i)	
③本撮影時間	h	2. 10	0.30		③本撮影時間	h	2. 10	0.30		
④GNSS/IMU 装置初期化時間	h	1.00	0. 50	0.5×撮影回数 (i)	④GNSS/IMU 装置初期化時間	h	1.00	0.50	0.5×撮影回数 (i)	
⑤コース進入時間	h	2. 52	0.72	0.18 h× (コース数)	⑤コース進入時間	h	2. 52	0.72	0.18 h× (コース数)	
⑥補備撮影時間	h	2. 32	0. 64	(2+3+4+5) ×30%	⑥補備撮影時間	h	2. 32	0.64	(2+3+4+5) ×30%	
小計 A		10.06	2. 78	2+3+4+5+6	小計 A		10.06	2.78	2+3+4+5+6	
⑦予備飛行時間	h	2. 12	0. 62	2	⑦予備飛行時間	h	2. 12	0.62	2	
小計 B		12. 18	3. 40	A+⑦	小計 B		12. 18	3. 40	A+⑦	
撮影回数(i)	d	2	1	(3+5) / (4.5-2' -4')	撮影回数(i)	d	2	1	(3+5) / (4.5-2' -4')	
純撮影運航時間 C	h	7. 31	1. 98	(③+④+⑤) ×1.3	純撮影運航時間 C	h	7. 31	1. 98	(③+④+⑤) ×1.3	
⑧総運航時間	h	17.	. 78	小計 (B+①) =①+②+③+④+⑤+⑥+⑦	⑧総運航時間	h	17.	. 78	/∫\∄+ (B+①) =①+②+③+④+⑤+⑥+⑦	
滞留日数	d	1	.0	撮影月:9月	滞留日数	d	1	0	撮影月:9月	

₹−6) デジタ	九九七十	7写青垣	坚. 配	改った	_#;≠	上油口口	化口*		Ē			o t	女中 1 7	ktr	(表-6) ラ	デミジェ	ህ ነገ/ተ	2由乍草	提影.	野 蛤穴		北計和	司能 =		Ī	1	枚中1	#\r		
ーも)テンタ <mark>地 点</mark>	ル空 ⁴ <mark>1月</mark>	·子兵师 2月	家·加 <mark>3月</mark>				1胎口第 <mark>6月</mark>	X衣 <mark>7月</mark>	8	月 	9月		以中 1 / <mark>11 /</mark>					1		Т						1	1			
<u>稚内</u>	1	3	4	6	, ,	_	5 5	4	+-	4	5	5	2	1		_+	1月	2月	3月	4	月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12月	
網走	6	7	6 6	6			<u>6</u>	5 5		<u>5</u>	<u>6</u>	7	6	7	稚	内 去	2 1	3	5 5	7	7	6 5	<mark>6</mark>	4	5 5	6 8	5 6	$\frac{2}{3}$	1 2	
旭川	3	<mark>3</mark>				5 5	<u>6</u>			4	3	<u>4</u>			羽	幌	3	3	5 5	8	8	8	8 8	8	7	8	6	$\frac{3}{2}$	$\frac{2}{2}$	
 <mark>札幌</mark>			- 3	- 6		6 6	<u>6</u>	3 3		4	<u>4</u>		3			武 萌	4	5 2	5	7	7	6 C	<mark>6</mark>	5 5	5 C	8	7	4	<mark>5</mark>	
帯広	14	<mark>12</mark>	10	7		<mark>6</mark>	<u>5</u>	3		4	<mark>5</mark>	9	11	14	笛	明 	3	3	l <mark>o</mark>	<mark>'</mark>	<u>(</u>	О	<mark>0</mark>	<mark>0</mark>	<mark>6</mark>	0	<mark>5</mark>	2	1	
<mark>釧路</mark>	<mark>14</mark>	<mark>10</mark>	8	<mark>5</mark>		4	3	2		<mark>3</mark>	4	8	11	<mark>13</mark>	旭	<u> </u>	3	4	4	5	5	<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	4	3	4	4	2	2	
室蘭	3	4	7	9		<mark>7</mark>	<mark>5</mark>	3		4	<mark>7</mark>	8	5	3	州	走 樽	6 1	8	$\begin{bmatrix} 7\\3 \end{bmatrix}$		6	6 8	5 6	5 4	<mark>5</mark>	$\begin{bmatrix} 7 \\ 6 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 7 \\ 7 \end{bmatrix}$	6 3	1	
函館	3	3	<mark>3</mark>	<mark>6</mark>		<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	3		<mark>3</mark>	4	<mark>5</mark>	4	3	札	<mark>幌</mark>	3	3	4	6	5	<mark>6</mark>	6	5 5	4	<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	3	3	
青森	<u>1</u>	<mark>2</mark>	<mark>3</mark>	<mark>6</mark>		<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	<mark>3</mark>		4	<mark>3</mark>	4	3	<mark>2</mark>	岩見	沢	3	2	4	7	7	8	7	<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	7	7	3	<mark>2</mark>	
<mark>秋田</mark>	1	1	<mark>2</mark>	<mark>6</mark>		<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	4		4	<mark>3</mark>	<mark>5</mark>	3	1		広	14	12	10	7	<mark>7</mark>	8	<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	4	<mark>6</mark>	9	12	16	
盛岡	3	4	4	<mark>6</mark>		<mark>5</mark>	4	<mark>3</mark>		3	4	6	5	4		路 室	15	11 11	11 10	[7	6 6	4	3	4 5	6 6	10	12 0	15	
山形	2	3	4	<mark>6</mark>		<mark>5</mark>	3	2		3	3	<mark>5</mark>	4		寿	至 都	12 1	11 1	4		<mark>7</mark>	7	5 7	5 5	5 5	6	6 6	$\frac{9}{3}$	1	
<mark>仙台</mark>	<mark>5</mark>	4	<mark>5</mark>	<mark>7</mark>		<mark>5</mark>	<mark>3</mark>	2		3	2	<mark>5</mark>	6	4	室	蘭	2	2	<mark>6</mark>	S	9	10	<mark>6</mark>	4	<mark>6</mark>	8	10	<mark>5</mark>	3	
福島	<u>4</u>	<u>5</u>	6	7		5	3 	2		3	3 	5	6	<mark>5</mark>	苫 小	牧	<mark>5</mark>	2	4	6	6	7	4	3	4	 <mark>6</mark>	9	5 5	<mark>6</mark>	
新潟	<u>1</u>	1	4	<mark>7</mark>		7	<u>5</u>	4		6	<u>5</u>	<u>5</u>	4		浦	河	<mark>10</mark>	8	8	8	8	<mark>7</mark>	<mark>4</mark>	3	4	7	9	<mark>7</mark>	8	
金沢 エ・	2 	<u>2</u>	4	8		7	<u>4</u>	4		7	<u>5</u>	6	5	3		差 館	1 4	1 3	2 4		7	6 6	5 5	5 3	5 3	5 4	6 6	2 5	1 4	
富山	2 	3	<mark>5</mark>	7		6	3	3		6	<u>5</u>	7	6	3	俱 知		2	0	$\frac{1}{3}$	7	<mark>7</mark>	8	7	5 5	4	5 5	6	$\frac{3}{3}$	1	
福井 E B	2	3	4 -	<mark>7</mark>		6	3 	3		<u>6</u>	<u>5</u>	6	5 		紋	<mark>別</mark>	1		6		,	6	<mark>6</mark>	<mark>=</mark>		7	0	<mark>4</mark>	<u>,</u>	
長野	4	4	<u>5</u>	7 0		6 -	3	3 6		5 -	<u>5</u>	6 	5 11	5 15	The second secon	別 尾	$\frac{4}{14}$	9	8	8	8	7	4	3 3	$\frac{3}{4}$	7	11	11	13	
<mark>宇都宮</mark> 前橋	14 11	10 8	9 8	8		5 5	2	2 3		3	3 4	0	11 10			渡	7	3	4	7	7	<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	3 -	4	4	7	9	8	
則備 熊谷	17	13	11	8 9		6 6	2 3	3		4 4	4 4	Q Q	13			庄 松	1 2	$\frac{1}{2}$	$\frac{2}{3}$		7	7	5 4	5 5	6 7	$\frac{3}{4}$	5 5	5	$\frac{1}{3}$	
水戸	15	10	9			6	3 3	3		1 4	4	8	10		Narrh	-4-4							_			4	6			
つくば	13	10	<u>8</u>	<u>8</u>		5	3	4		4	<u>-</u> 5	7	9	13		浦 森	0 1	1 1	3 4		7	8 7	<mark>6</mark> 5	5 4	<mark>7</mark> 4	4 4	6 5	$\begin{bmatrix} 2 \\ 3 \end{bmatrix}$	$\frac{1}{2}$	
<mark>甲府</mark>	16	12	11	9		6 6	3	4		7	6 6	10	14				1	1	3	8	8	9	<mark>6</mark>	4	<mark>5</mark>	4	8	<mark>3</mark>	1	
銚子	14	9	9	8		5 5	3	4		<u>6</u>	4	6	9		八 秋	つ 戸 田	4 1	3 1	4 3	7	6	<mark>6</mark> 6	<mark>4</mark> 4	3 4	4 4	4 4	6 4	5 3	5 1	
東京	15	12	9	8		6 6	3	4 4		3	2		11				-													
横浜	14	10	<u>8</u>	<u>8</u>		5 5	3	4	J	<u>5</u>	<u>4</u>	7	10		盛 宮 酒	<mark>岡古田形</mark>	4 10	3 7	4 6	6	6	<mark>6</mark> 6	4 4	3 3 5	4 5	$\frac{3}{4}$	6 7	6 9	4 10	
静岡	15	11	<mark>9</mark>	- 8		5 5	3	- 3		4	4	8	11		酒	田 田	1	1	3	7	<mark>7</mark>	7	<mark>5</mark>	5 5	7 4		5 5	4	1	
<mark>岐阜</mark>	7	7	8	9		<mark>6</mark>	4	3		<mark>5</mark>	<mark>6</mark>	9	9		山 仙	形 台	1	1	2 4	<mark>7</mark>	7	<mark>7</mark> 5	4	3 3	4	5 2 2	4	4	3 6	
名古屋	8	<mark>6</mark>	8	8		<mark>5</mark>	<mark>2</mark>	2		3	<mark>5</mark>	9	9		ΊЩ		<mark>6</mark>	4					<mark>3</mark>		3		<mark>5</mark>	<mark>6</mark>	o 	
津	<mark>7</mark>	<mark>6</mark>	<mark>7</mark>	<mark>7</mark>		<mark>5</mark>	3	<mark>3</mark>		<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	8	9	<mark>9</mark>	石 福	巻自	8	6 3	5	7	7	6 7	$\frac{4}{3}$	3	5 3	3 2	<mark>7</mark> 6	7	<mark>9</mark>	
		ı		ı	ı				<u> </u>				ı	•	福 白 小 輪	巻島河 浜島	3 6 12 1	5 8 1	4 6 7 4		7 3	7 7 6 7	3 2 3 4	3 2 3 4	3 4 5 5	2 4 4 3	6 8 8 5	6 8 11 3	5 9 13 2	
															שורד	ш/	*	<mark>*</mark>	J =		1	*	¥.	<u>1 </u>	<u> </u>	<u> </u>	1 6	<u> </u>	<u> </u>	

					改					定														現			行						備	Î	_
(表-6)	つづき							_				_	_		文中 2	_	1	表-6)	つづき	デジ	タル空中	写真揖	影・角	九空レー 				L 枚中2		1_	F		1		
地点 一	1 =	2	月 ·	3月	4	月 -	<u>5月</u>	+	1	<mark>7月</mark>	8月	9月	10) 	11月	12月	4		地	点	1月	2月	3 F	4 F	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月			
京都	<u>5</u>		!	<mark>ნ</mark>	<u></u>	<u>(</u>	5 	2		2	<mark>3</mark> _	4		7	6	6					1 _	1_	T_	<u> </u>		T_			T _	1_	<u> </u>	_			
彦根	ن		<u>+</u> 	<u>Б</u>		<u>(</u>	<u>6</u>	3 3		ა <mark>3</mark>) 	<u>b</u>		8	<u>ნ</u> 7) 			相	川 涯		1 1	4	7	8	5 5	6 5	7	5 5	6 5	5 4	2			
大阪 	6 -		±	<mark>c</mark>		5 -	<u>0</u>	<u>3</u>		<mark>~</mark>	4	3		<u>0</u>	<u>(</u>	ļ <mark>ŏ</mark>			金	浙		$\frac{1}{3}$	4	7	8	4	5 5	7	$\frac{3}{3}$	5 5	5 5	$\frac{2}{3}$			
<mark>奈良</mark>	<u>5</u>		<u>+</u>	<u>6</u>		<u>(</u>	<mark>ნ</mark>	<u>ა</u>		3	4) <u>5</u>		<u>р</u>	<u>6</u>) 7			伏	木	2	2	4	7	9	<mark>6</mark>	<mark>6</mark>	9	5	7	4	3			
和歌山 神戸	O Q) 	<u>0</u> 7		2	<u>о</u> 6	<mark>ပ</mark>		4	<mark>ا (</mark> د	°		9	<u>o</u>				富	Ц	1 3	<mark>3</mark>	4	<u>(</u>	8	<mark>5</mark>	6	8	4	(<mark>5</mark>	<mark>3</mark>			
。 鳥取	9		, ,	<u>'</u> 1		<mark>-</mark> 7	<u>о</u> 6	<u> </u>		<u>=</u> 	<u>ч</u> 5	<mark>2</mark>		5	<u>5</u>	<u> </u>			長	野	<u> </u>	3	5	7	7	3	5	7	5	6	4	4			
<u>松江</u>	1		2	4		<u>'</u>	7	4		3	<u>5</u>	3		5	<u>5</u>	3			局 字	都営		$\frac{2}{7}$	$\frac{4}{7}$	7	$\frac{7}{6}$	$\begin{bmatrix} 4\\2 \end{bmatrix}$	4 1	6	$\frac{4}{3}$	6 9	5 12	3 16			
	8		<u></u>	<u>*</u> 8		3	<u>.</u> 6	3		3	<u>~</u> 5	5		8	<u>8</u>	<mark> </mark>			福	爿	2	3	4	8	9	6 6	7	9	4	7	<mark>5</mark>	3			
広島	3		<u>.</u> 1	<u>5</u>		<u> </u>	<u>6</u>	3	_	4	5 5	4		8	<mark>7</mark>	6 6			高	Ц	<mark>1 2</mark>	2	4	7	7	3	5	6	3	$\frac{4}{1}$	3	3			
下関	3		1 1	6	Ç	- 9	7	3	_	4	6 6	6		8	<u>6</u>	5 5			松	本		7	7	7	7	4	4	<mark>6</mark>	4	9	8	9			
高松	<u>5</u>			7	<u></u>	9 	7	4	\dashv	<u>4</u>	6 6	<u>5</u>		<u>8</u>	<mark>7</mark>	<mark>7</mark>			諏 軽			8	9	8	8	3	6	7	6 3	9	10 10	12 13			
·····································	8		7 7	<u>8</u>	8	3 3	<u>6</u>	3	\dashv	4	7	5 5		8	9	10			前	橋	13	9	9	8	7	3	3	6	$\frac{3}{4}$	9	<mark>12</mark>	15 15			
松山	4		5	<mark>7</mark>	8	8	<mark>6</mark>	3	_	<mark>5</mark>	<mark>6</mark>	5		8	<mark>7</mark>	6			熊	名	16	10	10	9	8	3	2	6	4	10	12	18			
<mark>高知</mark>	12	1	O	<mark>9</mark>	Ç	9	<mark>6</mark>	3		4	<mark>6</mark>	7		<mark>10</mark>	<mark>12</mark>	14			水	戸	i 18	12	8	8	7	4	<mark>5</mark>	8	<mark>5</mark>	10	12	17			
福岡	4		5	<mark>7</mark>	Ç	9	8	3		4	<mark>6</mark>	6		8	<mark>7</mark>	<mark>5</mark>			敦	賀		2	4	6	6	4	4	<mark>5</mark>	3	<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	3			
佐賀	<mark>6</mark>		<mark>5</mark>	<mark>7</mark>	8	8	<mark>7</mark>	3		4	<mark>5</mark>	<mark>7</mark>		<mark>10</mark>	8	7			w <mark>名</mark>	章 古 屋		6 8	8	8 7	$\frac{9}{7}$	$\frac{4}{3}$	$\frac{2}{2}$	5 3	6 5	12 10	12 11	11 12			
<mark>長崎</mark>	<mark>5</mark>		5	<mark>7</mark>	8	8	<mark>7</mark>	2		<mark>3</mark>	<mark>5</mark>	6		9	8	<mark>7</mark>			飯	Œ		8	9	7	7	2	4	<mark>5</mark>	3	<mark>5</mark>	5	8			
熊本	<mark>6</mark>		3	<mark>7</mark>	8	8	<mark>6</mark>	<mark>3</mark>		3	4	<mark>6</mark>		<mark>9</mark>	8	8			甲	府	f 17	13	11		8	3	6	8	7	11	14	18			
大分	7		<mark>5</mark>	<mark>7</mark>	8	8	<mark>6</mark>	3		4	<mark>5</mark>	6		8	8	8			河	口淌	18 18	12	9	7	7	2	4	5	4	9	<mark>12</mark>	18			
<mark>宮崎</mark>	14	1	1	10		9	<u>6</u>	3		<u>4</u>	<u>5</u>	6		10	<mark>12</mark>	<mark>15</mark>			秋 **	夕 子		9	9	9	8 7	3 4	3	5 7	2 5	8	11 10	18 14			
鹿児島			3	<mark>7</mark>		3	<u>5</u>	2		3	4	6		10	9	9			上	野		4	5 5	6	7	4	4	6	$\frac{3}{4}$	5 5	6	8			
名瀬 	2		2	<u>2</u>		3	3	1		<u>2</u>	2	2		3	2	2				津	0	7	0	o	0	_E		0	7	11	10	1.0			
那覇	4		5 5	3 2		3 5	2		_	2	2	3		4	3 0	4			伊	良油	1 14	11	12	8	9	5 5	6	10	7	11 11 11 9	12 13 14 11 13	13 15			
石垣島 ウェル			2	<mark>ა</mark>		5 5	<mark>პ</mark>	<mark>Z</mark>		<mark>ა</mark>	_ <mark>პ</mark> 	<mark>2</mark>		<u>ა</u>	2 3	2			伊浜御静	杉	14 16 16 18	11 13 12 13	12 13 10 10	8	8	4	6 5	10 8 7 7	7	11	14	18 16 18			
宮古島 南大東島			3 5	3 6	2	<u>-</u>	2 4	2		2 	3 2	3 4		4	5 5	<mark>3</mark>			御 静	前幅	16 1 18	12 13	10 10	6 7	7 7	$\frac{3}{3}$	$\frac{4}{3}$	7	6 6	9	11 13	16 18			
文島	1 4		5	6 5		<u> </u>	4 3	3 3	_	<u>4</u> <u>4</u>	3 2	4 3		4	<u>5</u>	[‡]	-				- 1								_						
南鳥島			<u>5</u>	<mark></mark> 6		<u>*</u> 6	<mark>6</mark>	<mark>°</mark> 5	_	<u>+</u> 4	2 3	4		6	<mark>У</mark> 6				三東	島	16 17	12 12	9 10	7 7	9 6	3 4	5 4	6 5	5 3	9 8	12 11	$\frac{16}{17}$			
1 11 AW 111	9			<u>~</u>			<u>~</u>							<u> </u>	<u> </u>	1 -	_		三東尾石網	唐 京 鷲 廊 峪 代	16 17 11 11 17 15	12 12 10 12 11	9 10 9 11 9	7		3	3	<mark>5</mark>	4	8	12 11 11 13 12	16 17 15 17			
																			石網	廊幅	f 17	12 11	11 9	<mark>8</mark> 8	6 10 9	5 4	6 5	9 8	7 5	8 10 9	13 12	17 16			
																			横館	浜山	16 1 14	12 10 11 8	10 9	8 7	8 9	4	5 6	7	4 5	9 8	11 11 11 9	18 14 15 13			
																			勝	油	14	11	8		8	5 5	6	8 11 4	6 6	$\frac{9}{7}$	11	15			
																			横館勝大三	浜山油宝島	16 14 14 14 11 18	8	7	6	6	3	3	4	3 5	7	9	13			
																			=	宅島	j I 8	l p	"	l p	l <mark>g</mark>	<mark>4</mark>	l p	"	l p	[1	11	I		

(H27) 改 定		(-t		w - v	現		61		行	le ==)V/					備	考
· <mark>(削除)</mark> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(表-6) つづ 地 点	き ラ 1月	デジタル 2月	空中写真 3 月	臭撮影 4月	• 航空 ¹ 5月			E日数表 8月				<mark>12 月</mark>		
	1 1	八 大 島 葉 本	3 16	2 13	3 10	4 7	3 6	1 3	2 4	3 5	3 2	4 7	4 11	4 17		
	1 1	四日市日光西郷	6 1	$\frac{4}{4}$	6 4	8 6 8	5 8	4 1 4	2 0 5	1 1 5	1 3	10 6 4	11 8 3	9 9 2		
	1	松江	2	2	4	7	8	4	4	5 5	3	5 2	5 5	4		
		境 米 子 鳥 取	1 2 2	$\frac{2}{2}$	5 5 4	9 8 7	9 9 7	5 5 4	5 4 5	9 8 6	4 4 4	6 7 6	5 6 4	3 5 5		
		豊岡	1	1	3	<mark>6</mark>	<mark>7</mark>	<mark>5</mark>	3	2	1	1	1	1		
		舞 鶴 伊 吹 山 萩	3 3 3	$\begin{bmatrix} 3 \\ 2 \\ 4 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 4\\3\\8 \end{bmatrix}$	6 5 9	7 5 9	4 2 6	3 0 7	$\frac{4}{1}$	$\frac{2}{2}$	5 6 11	5 6 7	5 4 5		
		浜 田 津 山	2 1	3 1	5 3	<mark>8</mark> 8	8 7	<mark>5</mark> 4	6 2	8 3	5 3	8 4	5 1	4 2		
		京 都 彦 根 下 関	<mark>3</mark> 4	1 2	3 5	<mark>8</mark> 7	8 7	<mark>4</mark> 4	0 1	1 4	3 5	 <mark>4</mark> 9	4 9	3 6		
		広島	3 5	4 3	6 6	8 7	8 7	4 4	5 5	6 7	5 5	8 8	6 8	4 6		
		<u>吳</u> 福 山	5 5	3 2	<mark>7</mark> 6	9 8	8 8	6 5	5 5	<mark>7</mark> 8	6 6	9 9	9 8	6 5		
		岡 近 路	5 5	3 1	6 4	9 8	8 8	5 4	6 0	8 3	6 4	9 6	8 6	6 6		
		神 戸 大 阪	<mark>6</mark> 6	2 4	5 5	8 7	8 6	4 3	0 3	3 4	5 3	7 6	6 7	9 9		
		洲 本 和 歌 山	8 7	5 3	7 7	<mark>9</mark> 9	9 8	<mark>4</mark> 4	<mark>0</mark> 0	3 3	<mark>6</mark> 6	 8 8	7 7	<mark>8</mark> 8		
		洲和潮奈山中山岬良口	8 7 14 3 4	5 3 11 2 4	7 7 10 3 6	9 7 7 9 7 8 7 8	9 8 6 7 9 7 10 7 8	3 3 5	4 0	7 1	6 3	8 10 4 9	12 3 7	8 8 15 4 5		
						9 7	9 7	1	$\frac{4}{3}$	7 4	4 3					
		厳平福飯佐 世保	9 5 4	7 5 4 3 5	8 8 7 8 7	8 7	10 7	4 5 4	6 4	6 5	6 4	8 12 8	10 9 6	9 6 5 7 8		
			<mark>4</mark> 6	3 5	8 7	8 8	l	4 5	4 5	3 5	4 6	9 13	8 10	<mark>7</mark> 8		
		佐 賀 日 田	6 4	<mark>5</mark> 4	<mark>7</mark> 6	<mark>8</mark> 8	9 8	<mark>4</mark> 4	<mark>4</mark> 4	<mark>5</mark> 4	5 4	12 7	11 3	8 3 9 7		
		佐日大長雲 仙 留田分崎岳	8 6 7	5 4 6 5 5	7 6 8 6 7	8 8 7 7 6	9 8 6 6 7	4 3	4 3	6 5 4	6 4	9 10 11	9 9			
		会 训 丗	<u>r</u>	<mark>0</mark> 	<u>'</u>	<u>0</u>	<u> </u>	3	2	4 	4		10	<mark>6</mark>		

(H27) 改 定					現	Į.			行							備	_
(当成今)		(表-6) つつ	jき テ									<mark>(中4枚</mark>			1		
<mark>(削除)</mark> ————————————————————————————————————		地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月]		
		熊本	<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	6 5	7	<mark>6</mark>	3	3	4	5 5	10	9	8			
		熊阿延阿人 蘇 久 古山岡根吉	5 17 6	4 13	5 12 7	<mark>6</mark> 8	5 <mark>7</mark>	$\frac{2}{4}$	1 5	1 7	2 6	8 10	8 <mark>15</mark>	7 18			
		阿 久 根人 吉	6 5	13 5 5	7 6	8 7	6 6	3 2	4 2	6 3	6 3	10 12 4	15 11 4	8 4			
		<mark>鹿 児 島</mark>	8		<mark>7</mark>	6 7	4	2	2	3	 <mark>5</mark>	9	9	9			
		鹿都宮枕油 県城崎崎津	8 13 15 7 15	6 11 11 5 11	9 9	7 7	6 5	3 3	4 4	4 5	4 6	9 10	12 12 10 13	13 15			
		枕 崎 油 津	7 15	5 11	7 9	7 7	6 6	4 3	5 5	6 6	6 6	10 10	10 13	9 15			
		屋久島	4	4	<mark>6</mark>	<mark>6</mark>	 <mark>6</mark>	3	<mark>5</mark>	7	<mark>6</mark>	7	<mark>4</mark>	<mark>5</mark>			
		屋久品毎毎深工	<mark>7</mark> 5	5 5 3	6 7	5 <mark>7</mark>	4 7	2 4	3 4	4 7	6	7 12	6 10	7 8			
		福 江 松 山	3 6	3 4	<mark>5</mark> 8	7 7	6 7	$\frac{3}{4}$	3 5	4 6	5 5	7 9	<mark>5</mark> 9	$\frac{4}{7}$			
		多度津	<mark>6</mark>	<mark>5</mark>	7 7	9	8	<mark>5</mark>	<mark>6</mark>	8	<mark>6</mark>	10	10 7	8			
		多高宇高剣	7 8	5 7 11 4	10	8 9	7 9	5 6	5 7	7 8	5 9	8 12		8 11			
		高 知 山	15 6	11 4	11 4	9 6	7 4	4 2	5 1	6 1	8 1	12 12 6	11 13 8	18 8			
		徳 <u></u> 島 宿 毛	8	6 8	<mark>7</mark>	9	8	 <mark>5</mark>	<mark>7</mark>	8	 <mark>5</mark>	10	10	12			
		清水	10 11	8	10 9 10 2	8 7	8 6	5 3	6 5	6 5	8 6	10 12 10	10 12 11	12 13 12			
		室 戸 岬 名 瀬	12 2	9 2	10 2	7 3	7 2	3 1	5 2	6 2	$\frac{7}{2}$	10 3	12 2	13 3			
		<mark>与 那 国 島</mark>	1	2	2	2	2	2	<mark>5</mark>	<mark>5</mark>	 <mark>5</mark>	4	2	2			
		与 不宮久那 国島島島 島島島	3 3	3 3	4 3	4 3	3 1	3 2	4 2	4 2	4 3	4 3	2 2	3 3			
		<mark>久 米 島</mark> 那 覇	2 3	2 2	2 2	2 3	2 2	1 1	3 1	3 2	3 3	4 4	2 3	2 3			
	1		<mark>2</mark>	1 2	3 3	2 3	1	0		1	2	1	2	2			
		沖永良部南大東島	2 4	<mark>5</mark>	<mark>6</mark>	3 6	3 4	2 3	5 3	7 3	7 5	<mark>7</mark> 5	3 4	4 4			
		名	<mark>5</mark> 5	<mark>6</mark> 6	<mark>5</mark> 8	<mark>4</mark> 8	3 7	3 6	3 5	3 4	4 6	5 7	4 7	<mark>6</mark> 6			
			_		_	_	_		_		-		-				
]		

(27)	ī	<u></u> 数		定							 現		行					備考
8-2 撮影									8 — 2 撮影	*								8-3見出しは次ページに送るべきでは。
8-2-1	撮影(デジタル) <mark>掛等</mark>								8-2-1	撮影(デジタル)								
					人		1					I		人	1	ı		
標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	操縦士	整備士	撮 影 士	標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	操縦士	整備士	撮影士	
100 km²	撮影計画	0.2	1.2	1.2	0.5	1.0	1.0	1.0	100 km²	撮影計画	0.2	1.2	1.2	0.5	1.0	1.0	1.0	
1 時間	総運航								1 時間	総運航								
1 時間	撮影								1 時間	撮影								
1日	滞留					1.0	1.0	1.0	1日	滞留					1.0	1.0	1.0	
100 枚	GNSS/IMU 計算	0.1	1.0	0.8					100 枚	GNSS/IMU 計算	0. 1	1.0	0.8					
100 枚	数值写真作成		0.3	1.8	1.0				100 枚	数値写真作成		0.3	1.8	1.0				
2. 機械経動	』 には,関係機関協議資料作 <mark>費,通信運搬費等,材料費</mark> <mark>づき別途計上する。</mark>							件費に対す	-	■ 掛には,関係機関協議資料作	- ■成及び関化	系機関打合	させ協議に	係る作業	時間も含	さ。		
一3 標定点測量	量及び同時調整								8一3 標定点	原測量及び同時調整								

ł27)															
	改	定					現		行					備	考
<mark>(削除)</mark>			機械経	弗の		EÇ	通信運搬費等	の様式	<u> </u>	<mark>材 料 費 の</mark>	⊭	1	<mark>8-2-1</mark>		
				<u>賃 の</u>	円	_{万人}	迪旧連俶复守	が無成			1円	_{万人}			
			<mark>名 称</mark>	規格	<mark>単位</mark>	数量	項目	備考	<mark>品 名</mark>	<mark>規 格</mark>	単位	数量	<mark>摘 要</mark>		
			ハ゜ーソナルコンヒ゜ュータ		台日	1.7			地形図	縮尺 1/2.5 万	枚	4			
			雑器材		式					1917 C 77 21 0 70 Jan 1 2 7 7 7 1974					
			Aman 13					-							
				L 費に対す	LLLL よる割	.l <mark> 合</mark>	.l	.1	.l	.J	.L	_L	J		
			費目		_	」 ら	費目	割合	費目	割合			<mark>摘 要</mark>		
			機械経費		_	. 0%	通信運搬費等		材料費	0.5%					
			 <mark>*航空機</mark>	単発	台時						リツトル	<mark>60. (</mark>	*印は使用時間		
						† <u> </u>			*航空オイル	時間当り	リツトル	2. 5	に応じて計上		
											T				
			*デジタル航空カメラ		台時				*電子基準点	Į.	時間	-	*印は使用時間		
			*/ マグルMLエルァノ		口时	<u> </u>	<u> </u>		RINEX データ		时间	1	<mark>に応じて計上</mark>		
					_						_				
							通信運搬費	一式			-				
							.l	.l	l	.]	.l	<u> </u>	J		
			各費目の直接人件	費に対す		_		that A	I		Г		Like		
			費目			合	費目	割合	費目	割 合			<mark>摘 要</mark>		
			機械経費	I	+	_	通信運搬費等	2.0%	材料質	0.0%	-	Т			
			<mark>ハ゜ーソナルコンヒ゜ュータ</mark>		台目	1.2		-							
			夕弗日の書位 1 /4	 	トッカ		.l	.l	l	.J	.l	J	J		
			各費目の直接人件 費 目	質に対す	_		弗口	生山人	典口	生』			<mark>協 </mark>		
			機械経費		_	<mark>」合</mark> . 5%	費目 通信運搬費等	割合	費目 材料費	割 合 0.0%			<mark>摘 要</mark>		
							地后建恢复守	0.070	外付け型ハードディスク		<u> </u>	Τ_			
			<mark>デジタル航空カメラ</mark>		台時	0.1				正・副(2)	台	2			
			デジタル空中写真画像処理装置		台日	2.4			CD-R	700MB 正副	枚	3			
			ハ゜ーソナルコンヒ゜ュータ		台日	2. 5									
			各費目の直接人件												
			費目		割	一合	費目	割合	費目	割合			摘要		
			機械経費		71	<mark>1.0%</mark>	通信運搬費等	0.0%	材料費	13.0%					
			1												

改 定 現 行 備 考

8-3-1 対空標識の設置(写真縮尺 1/10,000~12,500)

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、設置点数32点以下とする。

8-3-1 対空標識の設置(写真縮尺 1/10,000~12,500)

(新設)

本歩掛の適用範囲は、設置点数32点以下とする。

* 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 40 10	,,	民區	W 354 O		クハー	C /	90										· [(少) (1) (1) (1)	13 年6 区	1100,	以巴力	M 3A 0	2 ////	л · ·) 00									
			所	要目	数				編	i	成			页	E 人	日	数					所 !	要目	数			絲	T H	月	芃		爻	E /	日ノ	数	
		測	測	測	測	測		測					測	測	測	測	測				測	測	測	測	測	内測					測	測	測	測	測	
		量	量	量	量	量	外	量	量	量量	量量		量	量	量	量	1				量	量	量	量		外量					量		量	量	量	
標準作業量	作業工程	主	技	技	助	補	兼の	主	技	技 耳	補	計		技	技	助	補	計	標準作業量	作業工程	主	技	技	助	補	業主	技	技	助	補計	主	1	技	助	補	計
		任	師	師	手			任					任	師	師	手	助				任	師	師	手	助	の任					任	1	師	手	助	
		技		補		員	נים	技	7	補	員		技		補		員				技		補		員	別技		補		員	技		補		員	
		帥						師			4	-	師								師					師					師					
15点	対空標識		1.0	2.5	3. 5		内		1	1	l	3		1.0	2.5	3. 5		7. 0	15点	対空標識		1.0	2. 5	3. 5		内	1	1	1	3		1.0	2. 5	3. 5		7. 0
13 //	の設置		2.0	4.0	5. 0	1.0	外		1	1	1 2	5		2.0	4.0	5. 0	2. 0	13.0		の設置		2. 0	4. 0	5. 0	1. 0	外	1	1	1	2 5		2.0	4.0	5.0	2.0	13. 0
合 計			3.0	6. 5	8. 5	1.0								3. 0	6. 5	8. 5	2. 0	20. 0	合 計			3. 0	6. 5	8. 5	1. 0							3.0	6.5	8.5	2.0	20.0

- (注) 1. 「対空標識の設置」には「対空標識の撤収」を含む。
 - 2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 3.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。
 - 8-3-2 標定点測量

(1)標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、設置点数80点以下とする。

(注) 1. 「対空標識の設置」には「対空標識の撤収」を含む。

2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

8-3-2 標定点測量

(新設)

本歩掛の適用範囲は、設置点数80点以下とする。

		Ē	折 男	更	日 娄	汝			新	扁	成	Ì			延	人	目	数					所	要	3 数	(ŕ	編	月	芃			延	三 人	日	数	
		測	測	測	測	測	内	測	測	測	測	測		測	測	測	測	測				測	測	測	測		内	測	測	測	測			測	測	測	測	測	
		量	量	量	量	量	外	量	量	量	量	量		量	量	量	量	量				量	量	量	量	測量	外	量	量	量	量	測量		量	量	量	量	量	
標準作業量	作業工程	l	技	技	助	補	業	主	技	技	助	補	計	主	技	技	助	補	計	標準作業量	作業工程	主	技	技	助	補助	業	主	技	技	助	補助	計	主	技	技	助	補	計
		任	師	師	手	助	0)	任	師	師	手	助		任	師	師	手	助				任	師	師	手	員	の	任	師	師	手	員		任	師	師	手	助	
		技		補		員	別	技		補		員		技		補		員				技		補			別	技		補				技		補		員	
		師						師						師								師						師						師					
			1.0	1.0	0.5		内		1	1	1		3		1.0	1.0	0.5		2. 5				1.0	1.0	0.5		内		1	1	1		3		1.0	1.0	0.5	2	2. 5
5 点	標定点																			5 点	標定点			-													-		
	測量						61			_			2				-				測量			l	l. <u>-</u>											l			_
			3. 0	3. 0	2.5		外		1	1	$\begin{vmatrix} 1 \end{vmatrix}$		3		3.0	3.0	2. 5		8. 5				3.0	3.0	2.5		外		1	1	1		3		3.0	3.0	2. 5	8	3.5
														_			-																						
合 計			1 0	4 0	3. 0										4.0	1 0	3. 0		11.0	合 計			1,0	1,0	3.0										1 0	1,0	3. 0	1	1.0
⊔ п			7.0	7.0	0.0										1.0	1.0]5.0		11.0				1.0	4.0	3.0										4.0	4.0	3.0		1.0

- (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
 - 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(新設)

改定		現	行	備	#
<u>除)</u>				8-3-1	
	機械経費の構成	通信運搬費等の構 成	材料費の構成		
			<mark> </mark>	数 摘 要 量	
	パーソナルコンピュータ	通信運搬費 一式 ベニ	・ヤ板 0.4cm×30cm×90cm 枚	21. 0	
	カラーインクジェットプロッタ AO 日 0.5	木杭	6.0cm×6.0cm×60cm 本	9.0 <mark>中心杭用</mark>	
	= / 1 .5 \	- <mark>角材</mark>	4.0cm×4.0cm×400c 本	11. 脚杭,横木	
	ライトバン 供用日損料 運行時間損料1.5 日 L台 10. 台	ガソ	"" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" ""	26. 2. 6%×10. 0h	
		雑品	大	1	
	雑器材式1各費目の直接人件費に対する割割]] 			
	費 目 割合	費 目 割合 費	割 合	摘 要	
	費 目 割 合 機械経費 1.5%		目 割 合 料費 2.5%	摘要	
				摘 要 8-3-2	
	<mark>機械経費</mark> 1.5%	通信運搬費等 0.5% 材料通信運搬費等の構成項 目 備 考	料費 2.5% 材料費の構成 単 数		
	機械経費の構成 機械経費の構成 単 名 称 規格 位 量	通信運搬費等 0.5% 材料通信運搬費等の構成項 目 備 考	料費 2.5% 材料費の構成 場合 規格 がソリン 混る 15.6	8-3-2	
	機械経費の構成 機械経費の構成 単 名 称 規格 位 量	通信運搬費等 0.5% 通信運搬費等の構成 女 項目 値 構考 0 通信運搬費 一式	A	<mark>8-3-2</mark> 摘 要	
	機械経費 1.5% 機械経費の構成 単 名 称	 通信運搬費等 0.5% 材料 通信運搬費等の構成 項 目 備 考 0 通信運搬費 一式 0 	料費 2.5% 材料費の構成 単数 規格 単 がソリン 以 15.6 電子基準点 会 5	<mark>8-3-2</mark> 摘 要	
	機械経費の構成 株械経費の構成 単 数 位	通信運搬費等 0.5% 材料 通信運搬費等の構成 項 目 備 考 の 通信運搬費 一式 の 通信運搬費 一式 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	大料費の構成 単数 数 位	<mark>8-3-2</mark> 摘 要	

に基づき別途計上する。

(H27)改 現 定 行 備 考 8-3-3 刺針 (削除) 本歩掛の適用範囲は、設置点数46点以下とする。 所 要 日 数 編 成 延人日数 測量技師補 測量補助員 量技師補 量 補 助 標準作業量 作業工程 計 1 1 2 内 1.0 0.5 | 0.50.5 0.5 5点 刺針 1 1 3 0.5 | 1.0 | 0.5外 0. 5 | 1. 0 | 0. 5 2.0 1. 0 1. 5 0. 5 3. 0 合 計 1. 0 | 1. 5 | 0. 5 8-3-<mark>3</mark> 簡易水準測量 (注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (1)標準歩掛等 本歩掛の適用範囲は、観測距離100km以下とする。 8-3-<mark>4</mark> 簡易水準測量 (新設) 所 要 日 数 編 成 延人日数 本歩掛の適用範囲は、観測距離100㎞以下とする。 測量技師補 測量技師補 測量助手 測量助手 測量補助員 測量技師 測量補助員 測量技師 測量助手 測量技師 測量主任技師 測量技師補 測量主任技師 測量補助員 測量主任技師 外 要 日 数 編 成 延人日数 業 標準作業量 作業工程 測量技師補 測量助手 計 測量技師 測量技師補 測量技師補 測量補助員 測量技師 測量助手 測量助手 測量技師 測量主任技師 測量主任技師 測量補助員 測量主任技師 外 業 測量補助員 計 \mathcal{O} 標準作業量 作業工程 計 別 計 \mathcal{O} 別 内 1 0.5 0.5 0.5 0. 5 0. 5 0. 5 1 1 1.5 内 0.5 0.5 0.5 1 3 0.5 0.5 0.5 1.5 1 1 簡易 簡易 1 0 km 水準 1 0 km 水準 測量 測量 1. 5 2. 0 2. 0 外 1 1. 5 2. 0 2. 0 5.5 1 1 3 1.5 2.0 2.0 外 3 1.5 2.0 2.0 5.5 1 1 1 合 計 2. 0 2. 5 2. 5 2. 0 | 2. 5 | 2. 5 7.0 2. 0 | 2. 5 | 2. 5 2.0 2.5 2.5 7.0 合 計 (注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 (注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合 (新設)

	改	定					現		行				備	考
<mark>除)</mark>												8-3-3		
			機械経	費の構成	₹		通信運搬費	等の構成		材料費	骨の構成			
			<mark>名 称</mark>	規格	<mark>単</mark> 位	数量	項目	<mark>備 考</mark>	品名	規 格	単数 位量	摘要		
			空中写真密着	白黒	台 日	0.3	通信運搬費	一式		$24\text{cm} \times 26\text{cm}$	枚 9			
			プリンター		<u></u>					15cm×15cm		部分4倍,1点2枚		
			空中写真引伸機	白黒	<u> </u>	<mark>0. 3</mark>			<u>処理薬品</u>			*印の合計の20% 		
			印画紙現像機	白黒 自動	台 日	0.3			ガソリン 雑品		ポ <mark>5.2</mark> 式 <mark>1</mark>	2. 6 ½ × 2. 0h		
			ライトバン 供用日損料 運行時間損料			1. 0 2. 0								
			雑器材 各費目の直接	 	式対する	1 3割合		L	_L]	∐			
			費目		割~		費目	割合	費目	割合		摘要		
			機械経費		<mark>7. 5</mark> 9	<mark>%</mark>	通信運搬費等	0.5%	材料費	<mark>3.0%</mark>				
												8-3-4		
			機械組	圣費の構	<mark>成</mark>		通信運搬費等	等の構成 I		材料費の	つ構成 I			
			<mark>名 称</mark>	規格	<mark>単</mark> S 位		項目	備考	品名	規格	単 数 位 量	摘 要		
			レベル	3 級	E E	2. 0				<mark> 伸用</mark> 9.5cm×51cm	枚 4			
			水準用電卓 空中写真引伸機	幾 白黒		2. 0 0. 1			<mark>処理薬品</mark> ガソリン			*印の合計の20% 2.6%以×4.0h		
			印画紙現像機	白馬自動		0. 1			雑品		式 1			
			ライトバン 供用日損料 運行時間損料 雑器材 各費目の直接	_ _	日 式	4.0 1	1							
			費	1	割	ii 合	費目	割合	費目	割合	1	窗 要		
			機械経費	事	4.	. 0%	<mark>通信運搬費等</mark>	0.5%	材料費	2.0%				

(H27)

改 **定** 備 考

8 - 3 - <mark>4</mark> 標定点変化率

- 1. 地域による変化率
- (1) 適用作業 対空標識の設置

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.2			
市街地 (甲)	+0.1			
ル (乙)	+0.1	+0.1		
都市近郊	0.0	+0.1		
耕 地	0.0	0.0	+0.1	
原 野	+0.1	+0.1	+0.1	+0.2
森林	+0.1	+0.1	+0.2	+0.2

(2) 適用作業 標定点測量

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	0.0			
市街地 (甲)	0.0			
" (乙)	0.0	-0.1		
都市近郊	0.0	-0.1		
耕 地	0.0	-0.1	+0.1	
原 野	-0.1	-0.2	+0.1	+0.2
森林	+0.1	-0.1	+0.2	+0.3

(削除)

(<mark>3</mark>) 適用作業 簡易水準測量

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.3			
市街地 (甲)	+0.2			
" (乙)	+0.1	+0.2		
都市近郊	+0.1	+0.2		
耕 地	0.0	+0.1	+0.2	
原 野	+0.1	+0.2	+0.3	+0.3
森林	+0.1	+0.2	+0.3	+0.4

8-3-<mark>5</mark> 標定点変化率

- 1.地域<mark>差</mark>による変化率
- (1) 適用作業 対空標識の設置

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.2			
市街地 (甲)	+0.1			
" (乙)	+0.1	+0.1		
都市近郊	0.0	+0.1		
耕 地	0.0	0.0	+0.1	
原 野	+0.1	+0.1	+0.1	+0.2
森林	+0.1	+0.1	+0.2	+0.2

(2) 適用作業 標定点測量

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	0.0			
市街地 (甲)	0.0			
" (乙)	0.0	-0.1		
都市近郊	0.0	-0.1		
耕 地	0.0	-0.1	+0.1	
原 野	-0.1	-0.2	+0.1	+0.2
森林	+0.1	-0.1	+0.2	+0.3

(3) 適用作業 刺 針

区分	平地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	0.0			
市街地 (甲)	0.0			
" (乙)	0.0	+0.1		
都市近郊	0.0	+0.1		
耕地	+0.3	+0.4	+0.5	
原野	+0.5	+0.7	+0.8	+1.0
森林	+0.5	+0.7	+0.8	+1.0

(4) 適用作業 簡易水準測量

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.3			
市街地 (甲)	+0.2			
" (乙)	+0.1	+0.2		
都市近郊	+0.1	+0.2		
耕 地	0.0	+0.1	+0.2	
原 野	+0.1	+0.2	+0.3	+0.3
森 林	+0.1	+0.2	+0.3	+0.4

(H27)					i	改				定	<u> </u>															瑪	<u> </u>				行									備考	夸
8 – 3	— <mark>5</mark> 同時	詩調整																		8 – 3	- <mark>6</mark> 同時	寺調整	<u>k</u>																		
(1)	標準歩掛等																			(新設)																				
		測	所 要			測	内	測	測	編 測	成測	測	Ĭ				数则测					3Hil			日 ii l ia		au Þ	勺 浏	Bit 3	編		成山山湖		SHI.	in S			日 数 川 測			
標準作業量	作業工程	量	量	量	量	量補	内 外 業	量主	量	量技	量	量補	量		₹	t f	₹ 量	:	<u>:</u>	標準作業量	作業工程	測量	量	量	[量	t I	· 計 夕	小 しょ	a b	則	量量	則 測量 力 補		型 量	1	則 消量 量	量				
你华门未里	下未工任	任技	師	師補	手	助員	業の別	上 任 技	師	師補	手	助員	'' - 信 主	E fi		fi 手			'	保华仆未里	11- 未工住	主任技	技師	技師補	5 月		л Д	り 1	主 ± 壬 自 支	支 打 前 解		ル 州 手 財	J	H 主 任 技		支 打 前 前			日日		
		師		衎		貝		師		衎		貝	1 自		11	1						師		作		5	₹	1 1	币	11	Ħ	F		卸		11	Ħ	貝			
100k m²	同時調整						内							0.	8 2.	8 1.	0	4.	. 6	100k m²	同時調整						P	勺							0.	. 8 2.	8 1.	0	4.6		
(注) 1. 本力	長掛け数値[図化と	 併壮て	使用*	する														Ш	(注) 1	本歩掛は数	·植図ん	ルレは	并升。	て信目	日オス														_	
2. 本な	長掛には, 関	係機関	協議賞	資料作	成及(び関係														2.	本歩掛には							『 係機	関打台	合せ協	議に係	系る作	業時間	間も含	it.						
	_{戒経費,通信} J途計上する		貴等 ,杉	才料費	につい	いてに	は「浿	量業	務標準	基步掛	におり	する各類	費目の	直接)	人件費	に対す	する割	合」	に基	<mark>(</mark> 兼	<mark>設)</mark>																				
	1750 H T.) . 20	0																																							
																																									i

(H27)			<u> </u>									1	f-11-a	-l-w
	改	定					現		行				備	考
(削除)												8-3-6		
				の構成	<mark>戈</mark>		通信運搬費等の	の構成		材料費の				
				規	単	<mark>数</mark>				規 規	<mark>単</mark> 数			
			名 称				項目	備考	品名		摘 <mark>摘</mark>	要		
				格	位	量				<mark>格</mark>	<u>位</u> 量			
			デジ゙タルステレオ図化機		台目	4. 2		ŀ		-				
			<mark>ハ゜ーソナルコンヒ゜ュータ</mark>		台日	1.0		ŀ						
								F						
			各費目の直接人件	□ □		 割合	'	\		_	_ L _ '			
			費目		割 割 合		費目	割 合	費目	割合	描 要			
			—————————————————————————————————————		23.0%		通信運搬費等	0.0%	材料費	0.0%				

(H27)

改 定 現 **行** 備 考

8-4 数値図化

8-4-1 数値図化(地図情報レベル1000)

(1)標準歩掛等

づき別途計上する。

本歩掛の適用範囲は、作成面積15.1km²以下とする。

2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基

8-4 数值図化

8-4-1 数値図化(地図情報レベル1000)

(新設)

本歩掛の適用範囲は,作成面積15.1km2以下とする。

			五日	1111		1	. , .			FF.				犷	Y	Я	粉		71.	ク·11 ~ / 四/11 a	РСИП				· -	<u> </u>	, , _	<i>y</i>) 	: }				狐	Į.		*/-	
作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補		測量補助員	計
作業計画						内							0.5	0.5	0.5			1. 5		作業計画						内							0. 5	0.5	0. 5			1.5
						内								0.5	0.5			1. 0								内								0.5	0. 5			1.0
現地調査		2.0	4.5			外		1	1			2		2.0	4. 5			6.5		現地調査		2.0	4.5			外		1	1			2		2.0	4. 5			6. 5
						計								2. 5	5. 0			7.5								計								2.5	5. 0			7. 5
数値図化						内								3. 5	7. 5	2.0		13.0		数値図化						内								3. 5	7. 5	2.0		13.0
数値編集						内								3. 0	9. 0	0.5		12.5	1 . 0 km ²	数値編集						内								3. 0	9. 0	0.5		12.5
						内								0. 5	1.0	0.5		2. 0								内								0.5	1. 0	0.5		2.0
補測編集		0.5	1.5	0.5		外		1	1	1		3		0.5	1.5	0.5		2. 5		補測編集		0.5	1.5	0.5		外		1	1	1		3		0.5	1. 5	0.5		2. 5
						計								1. 0	2. 5	1. 0		4. 5								計								1.0	2. 5	1.0		4. 5
数値地形図 データファ イルの作成						内								0.5	0. 5			1. 0		数値地形図 データファ イルの作成						内								0.5	0.5			1.0
	作業計画 現地調画 数値図 編集 形フア	作業 現量主任技師 作業計画 地調 適量主任技師 数値 機量主任技師 場面 数値 編集 地形ファールファールファールファールファールファールファールファールファールファール	作業工程 測量技師 利量主任技師 2.0 現地調査 2.0 数値図化 数値編集 本額 0.5	作業工程 測量技師 利量支師 測量技師 作業計画 2.0 4.5 数値図化 数値編集 数値編集 0.5 1.5 数値中のア 数値	作業工程 測量技師 測量技師 測量技師 作業計画 2.0 4.5 数値図化 数値編集 数値編集 0.5 1.5 0.5 数値地形図データンア	作業工程 測量技師 測量技師 現土住技師 2.0 4.5 現地調査 2.0 4.5 数値図化 数値編集 数値編集 0.5 1.5 0.5 数値ル形図データファ	作業工程 利量技師 別量報助員 別量報助員 内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内	作業工程 測量技師 利量技師 別量技師補 月期量技師補 2.0 4.5 月期量技師補 内内外業の別 内内外業の別 内内内 月期間 内内内 現場社師相 内内内 月期間 内内内 日期間 内内内 大田 内内内 大田 内内内 大田 内内内 大田 内内内 大田 内内内 大田 大田 大田	作業工程 測量技師 測量技師 測量技師 内外業の別 内内 現土任技師 人内 人内 現土任技師 人内 人内 現土任技師 人内 人内 現土任技師 人内 人内 財産技師 人内 人力 財産技師 人力 人力 財産 財産 人力 人力	作業工程 測量 技師 測量技師 測量技師 作業計画 内内外業の別内内外業の別別量技師 作業計画 内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内	作業工程 測量技師 測量技師 測量技師 内外業の別 内内外業の別 内内外業の別 内内 現場技師補 力内 現場技師補 力内 別量技師補 力内 別量技師補助員 力内 別量技師補 力内 別量技師補 力力 別量技師補助員 力力 別量技師補 力力 別量技師補 力力 別量技師補 力力 別量技師補 力力 別量技師補 力力 別量技師 力力 別量技師 力力 別量技師 力力 別量技師 力力 別量技師 力力	作業工程 次 次 次 次 次 次 次 次 次 <	作業工程 測量 測量 測量 測量 測量技師 作業計画 内外業の別 内内外業の別 内内外業の別 別量技師 現地調査 2.0 4.5 外 1 1 2 2 数値図化 内内外 内内 内内 内内 内内 内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内	作業工程 測量 対	作業工程 測量 表 節 加量 表 節 加量 数 節 内外業の別別量 技 節 内内 現地調査 2.0 4.5 外 1 1 2 2 2.0 裏地調査 人外 1 1 2 2 2.0 数値図化 内内 数値編集 内内 内内 3.5 数値編集 内内 内内 3.5 対値を開業 内内 大力 1 1 1 3 3 0.5 計 1 1 1 1 3 3 0.5 計 1 1 1 1 3 3 0.5 数値地形図データファ 内内	作業工程	作業工程	作業工程	作業工程	作業工程 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	作業工型 2	作業工程 開	作業計画	作業工程 類	作換上権 2	作業工程 20	作業・1程 2	日本工門 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	作業工程 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	作業工程 2 日本 2 日本	日本	作業工程 20	作業工程 計画 日本	作業下程 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	作念工程 20	作業土地 日本	作本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	作名工格 20 20 20 20 20 20 20 2

(新設)

「削除	
名 称 規格 位 項 目 備考 品 名 規格 位 量 パーソナルコンピューダ [6 日] 1 [7 日] 1 [8 日] 2 [8 日] 3 [8 日] 3 [8 日] 3 [8 日] 3 [8 日] 3 [8 日] 3 [8 日] 3 <	
$\frac{1}{1}$	
費 目 割 合 割 合 割 合 割 合 摘 要 機械経費 0.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 0.0%	
パーソナルコンピュータ 台目 0.7 通信運搬費等 一式 ガリリン ばる 23.4 2.6 ぱぷ×9.0h カラーイングジェットプロッタ カラーイングジェットプロッタ階 ファトロール紙 AO 台目 1.0 カラーイングジェットプロッタ階 マットロール紙 本 0.2 日損料 白時 持料 台目 もち り,0 4.5 4.5 インクカートリッジ ブラック 680回 本 0.01 インクカートリッジ インクカートリッジ デアン 680回 本 0.01 インクカートリッジ インクカートリッジ イエロー 680回 本 0.01	
インクカートリッジ デイドジアン 砂油 本 0.01 インクカートリッジ デイドダアン 砂油 本 0.01 本 0.01 各費目の直接人件費に対する割合 費 目 割 合 費 目 割 合 物 要	
機械経費 3.0% 通信運搬費等 1.0% 材料費 2.5% パーソナルコンピュータ カラーインクジェットブロッタ 台目 11.2 AD 51 11.2 AD 51 11.2 AD 51 カラーインクジェットプロッタ所 AD 61 エコノミー所 インクカートリッジ 本 0.2 インクカートリッジ の.01 電影編集装置 DM 用 6日 10.8 10.8 インクカートリッジ ジアン 680回 本 0.01	
インクカートリッジ イエロー 680ml 本 0.01 インクカートリッジ ライトジアン 600ml 本 0.01 インクカートリッジ ライトマゼンダ 600ml 本 0.01 各費目の直接人件費に対する割合	
費目 割合 費目 割合 費目 割合 摘要 ペーソナルコンピューダ カラーインクジェットプロッタ AO 日間 13.2 財子ーインクジェットプロッタ AO 日間 0.8 関形編集器 DM 用 日間 12.4 台目 0.8 インクカートリッジ ブラック 680回 本 0.01 図形編集器 DM 用 日間 12.4 インクカートリッジ マゼンタ 680回 本 0.01 インクカートリッジ ディンタ 680回 本 0.01	
各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 費目 割合 費目 割合 適信運搬費等 機械経費 7.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 0.5%	
パーソナルコンピュータ 台目 2.2 通信運搬費等 一式 ガリリン パズ 7.8 2.6 % ズンス・のh カラーイングジェットプロッタ AO 台目 0.4 カラーイングジェットプロッタ M 本 0.3 インクカートリッジ インクカートリッジ インクカートリッジ マゼンタ 680ml 本 0.01 図形編集装置 DM 用 台目 1.5 インクカートリッジ インクカートリッジ インクカートリッジ インクカートリッジ インクカートリッジ イエロー 680ml 本 0.01 日間料 時損料 台目 1.5 インクカートリッジ インクカートリートリートリッジ インクカートリッ	
各費目の直接人件費に対する割合 費目 割合 費目 割合 費目 割合 摘要 機械経費 5.5% 通信運搬費等 0.5% 材料費 3.5% パーソナルコンピュータ 台目 1.5 CD-R 700MB 枚 1 図総集 DM 用 台目 1.4 0 0 0 0	
M	

						改				5	ŧ														IJ	見			;	行								
8 – 4	- 2 数値	図化	(地区	情報	灵レベ	ル2	2 5 0	0)												8 – 4 –	- 2 数值[図化	(地區	図情報	しべ.	ル25	00)											
	標準歩掛等		1.1	<i>-</i> -1\-	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 			1 9 1	. ,	上一										(新設		7 66 -	a de la companya de	/h . h =		0.0	0.1.	D1 	, , ,	7								
7.	k歩掛の適月 ┃		は,1 所 男				3. 6	km² ½		する 編	。成		I		延	人	日	数			歩掛の適用	_			<u>面槓1</u> ∃ 数	28.	6 km ²		とす <i>。</i> 編		犮			延	人	日	数	:
標準作業量	作業工程	測量	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補		測量補助員	計		- 1	測量技師補		測量	= 	標準作業量	作業工程	測量主任技師	測量		т т	測量補助員	測量主任技師	1	1	測量助手	測量補助員	= 	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	T	計
	作業計画						内							1. 5	1.5	1.0		4	1. 0		作業計画					þ]						1.5	1.5	1. 0			4.0
							内								2. 5	4. 5		7	7. 0							P]							2. 5	4. 5			7. 0
	現地調査		9. 0	14. 5			外		1	1			2		9. 0	14. 5		2:	3. 5		現地調査		9.0	14. 5		<i>y</i>		1	1			2		9.0	14. 5			23. 5
							計]	11.5	19. 0		30	0.5							3	+							11. 5	19. 0			30. 5
	数値図化						内							1	12.5	26. 5	7.0	40	6.0		数値図化					P]							12. 5	26. 5	7. 0		46. 0
20.0 km²	数値編集						内								9. 5	28. 0	12. 0	49	9.5	$2~0.~0~\mathrm{km}^{~2}$	数値編集					þ]							9. 5	28. 0	12. 0)	49. 5
							内								2. 0	2.5	2. 5	7	7. 0							Þ]							2.0	2. 5	2. 5		7. 0
	補測編集		3. 5	5. 0	1. 5		外		1	1	1		3		3. 5	5. 0	1. 5	10	0.0		補測編集		3. 5	5. 0	1.5	<i>a</i>		1	1	1		3		3. 5	5. 0	1. 5		10.0
							計								5. 5	7.5	4. 0	17	7.0							言	+							5. 5	7. 5	4. 0		17. 0
	数値地形 図データ ファイル の作成						内								2.0	1.5		3	3. 5		数値地形 図データ ファイル の作成					P]							2.0	1. 5			3. 5

(H27)												
	改	定				現		行			備	考
										8-4-2		
(削除)			機械経	費の構成		通信運搬費等	等の構成		材料費の構	「 成		
			the sta		単 数	-	/+i: - -y	П	単	数		
			名 称	規格	立	項 目	備考	品名	規 格 位	<mark>摘 要</mark> <mark>量</mark>		
			パーソナルコンピュータ	<u></u> _ <u></u>	1	1						
			各費目の直接人 費 目	件費に対	する割合 割 合	費 目	割合	費 目	割合	摘 要		
			機械経費		0.0%	通信運搬費等		材料費	0.0%	75 4 0 6 1 2 4 00 01		
				AO 🖆	□ 9.0□ 1.0	通信運搬費等	一式	ガソリン カラーインクジェットプロッタ用紙	マットロール紙本	75. 4 2. 6 % × 29. 0h 0. 9		
			ライトバン 1.5L	日損料 台時損料 台	日 14.5 時 29.0			インクカートリッジ インクカートリッジ	ブラック 680ml 本 マゼンタ 680ml 本	0. 05 0. 05		
				100 JAN 1	20.0			インクカートリッジ	<u>シアン 680ml</u> 本	<mark>0. 05</mark>		
						1		インクカートリッジ インクカートリッジ	イエロー 680ml 本 ライトシアン 680ml 本	0. 05 0. 05		
				(小声)ァー	ナフタ (人	1		インクカートリッジ		<mark>0. 05</mark>		
			費目		割合	費目	割合	費目	割合	摘 要		
			機械経費パーソナルコンピュータ	<u>-</u> -	2. 5% 日 50. 0	通信運搬費等	1.0%	材料費 カラーイングジェットプロッタ服	2.5% エコノミー用紙 本	0.8		
			カラーインクジェットプロッタ	AO 🖆	1.9	1		インクカートリッジ	<u>ブラック 680ml</u> 本	0. 05		
			デジタルステレオ図化機 図形編集装置	DM 用 台	計 50.0計 48.2			インクカートリッジ インクカートリッジ	マゼンタ 680ml 本 シアン 680ml 本	0. 05 0. 05		
								インクカートリッジ インクカートリッジ	イエロー 680ml 本 ライトシアン 680ml 本	0. 05 0. 05		
					_	1		インクカートリッジ	ライトマゼンタ 680ml 本	0. 05		
			各費目の直接人 費 目		する割合 割 合	費目	割合	費 目	割合	摘 要		
			機械経費		34.0%	通信運搬費等		材料費	0.5%	,,,,		
			パーソナルコンビュータ カラーインクジェットプロッタ		53.2 1 3.8	-		カラーイングジェットブロッタ用紙 インクカートリッジ	エコノミー用紙 本 ブラック 680ml 本	0. 4 0. 03		
			図形編集装置	DM 用 台	53.2]		インクカートリッジ インクカートリッジ	マゼンタ 680ml 本 シアン 680ml 本	0. 03		
								インクカートリッジ	イエロー 680ml 本	0.03		
						_		インクカートリッジ インクカートリッジ	ライトシアン 680ml 本 ライトマゼンタ 680ml 本			
			各費目の直接人 費 目				宝 人	弗 口				
			機械経費		割 合 7.5%	通信運搬費等		<u>費 目</u> 材料費	割 合 0.5%	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			パーソナルコンピュータ カラーインクジェットプロッタ		7.2 日 1.3	通信運搬費等	一式	ガソリン カラーインクジェットプロッタ用紙	マットロール紙本	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$		
			トータルステーション	2級 台	2.7			インクカートリッジ	ブラック 680ml 本	0. 03		
			ニノトジレー・『1	DM 用 台 日損料 台	5.0	=		インクカートリッジ インクカートリッジ	<u>シアン 680ml</u> 本	0. 03 0. 03		
			77 177 1. 31	時損料	· 時 10.0	-		インクカートリッジ インクカートリッジ		0. 03 0. 03		
			<u></u>			1		インクカートリッジ		0. 03		
			各費目の直接人 費 目	件費に対	する割合 割 合	書 目	割合	費 目	割合	摘 要		
			機械経費		6.0%	通信運搬費等		材料費	2.0%	,,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			パーソナルコンピュータ 図形編集装置	DM 用 台	7.5 7.4	}		CD-R	<mark>700MB</mark> 枚	3		
						1			J	1 - 1		
			費目		割合	費目	割合	費目	割合	摘 要		
			機械経費	T	13.5%	通信運搬費等	0.0%	材料費	<mark>0.0%</mark>			

8-4-3 図化変化率

(1) 地域による変化率

適用作業 作業計画, 現地調査, 数值図化, 編集, 数值編集, 補測編集

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.2			
市街地(甲)	+0.2			
" (乙)	+0.1	+0.2		
都市近郊	+0.1	+0.2		
耕 地	0.0	+0.1	+0.1	
原 野	-0.1	0.0	0.0	0.0
森林	-0.1	0.0	0.0	0.0

8-5 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>3</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

8-4-3 図化変化率

1. 地域<mark>差</mark>による変化率

適用作業 作業計画, 現地調査, 数值図化, 編集, 数值編集, 補測編集

区 分	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.2			
市街地(甲)	+0.2			
』 (乙)	+0.1	+0.2		
都市近郊	+0.1	+0.2		
耕 地	0.0	+0.1	+0.1	
原 野	-0.1	0.0	0.0	0.0
森 林	-0.1	0.0	0.0	0.0

8-5 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>1</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、 1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

(H27)

改 定 現 行 備 考

第9節 現地測量

- 9-1 現地測量(S=1/500)
 - (1)標準歩掛等

			所	要		日	数			編			成		3	Œ	人	目	娄	<mark>女</mark>
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	测量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	채묘	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	<u>計</u>
	作	業計画	0.5	0.5	0.5			内	1	1	1			3	<mark>0. 5</mark>	<mark>0. 5</mark>	<mark>0. 5</mark>			<mark>1. 5</mark>
	2回文	部測量		4. 0	8. 5	8.0		外		1	1	1		3		<mark>4. 0</mark>	<mark>8. 5</mark>	8. 0		<mark>20. 5</mark>
	芥田 ī	10.侧里			2. 0			内			1			1			<mark>2. 0</mark>			<mark>2. 0</mark>
縮尺	数位	直編集		1. 5	4. 0			内		1	1			2		<mark>1. 5</mark>	<mark>4. 0</mark>			<mark>5. 5</mark>
1/500 0. 1km²		形図データ イルの作成			1. 0			内			1			1			1.0			1.0
	成果	等の整 理		1. 0	0. 5			内		1	1			2		1.0	<mark>0. 5</mark>			<mark>1. 5</mark>
	内	外業計		4. 0	8. 5	8. 0		外								<mark>4. 0</mark>	<mark>8. 5</mark>	8. 0		<mark>20. 5</mark>
	訳	内業計	0. 5	3. 0	8. 0			内							<mark>0. 5</mark>	<mark>3. 0</mark>	<mark>8. 0</mark>			<mark>11. 5</mark>
	合	計	0. 5	7. 0	16. 5	8.0									<mark>0. 5</mark>	<mark>7. 0</mark>	<mark>16. 5</mark>	8. 0		<mark>32. 0</mark>

- (注) 1. 本表はトータルステーションを用いた細部測量を行う場合に適用するものとし、GNSS 測量機等を用いた細部測量を行う場合には別途計上する。
 - 2. 本表は耕地、平地部の標準作業歩掛である。作業量補正として、標準歩掛に対し、下記補正式により算出した補正係数を乗じるものとする。

なお、補正係数 (y/100) は小数2位 (小数3位四捨五入) まで算出する。

また、下記作業量の適用範囲を超えるものについては別途計上する。

作業量補正式 y = 7 4 4. 0 4 × A + 2 5. 5 9 6 (%) A:作業量 (km²)

[適用範囲:~0.14km²]

- 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
- 4. 地域、地形、縮尺の異なる場合は変化率表を使用するものとする。
- 5. 基準点測量(基準点の設置)は、別途計上する。
- 6.機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

第9節 現地測量

- 9-1 現地測量 (S=1/500)
 - (1) 標準歩掛等

			所	要	<u>.</u>	日	数			編			成	
標準作業量	作	業工程	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	内外業の別	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
	作	業計画	0.5	0.5	0. 5			内	1	1	1			3
	2回2	部測量		4. 0	8. 5	8.0		外		1	1	1		3
	孙山;	叩侧里			2. 0			内			1			1
縮尺	数位	値編集		1. 5	4. 0			内		1	1			2
1/500 0.1km²	1	形図データイルの作成			1. 0			内			1			1
	成果等	等の整理		1.0	0. 5			内		1	1			2
	内	外業計		4. 0	8. 5	8.0		外						
	訳	内業計	0.5	3. 0	8. 0			内						
	合	計	0.5	7.0	16. 5	8.0								

- (注) 1. 本表はトータルステーションを用いた細部測量を行う場合に適用するものとし、GNSS 測量機等を用いた細部測量を行う場合には別途計上する。
 - 2. 本表は耕地、平地部の標準作業歩掛である。作業量補正として、標準歩掛に対し、下記補正式により算出した補正係数を乗じるものとする。

なお、補正係数 (y/100) は小数2位 (小数3位四捨五入) まで算出する。

また、下記作業量の適用範囲を超えるものについては別途計上する。

作業量補正式 y = 7 4 4. 0 4×A+2 5. 5 9 6 (%) A:作業量 (km²)

[適用範囲: ~ 0 . $14 \, \text{km}^2$]

- 3. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
- 4. 地域、地形、縮尺の異なる場合は変化率表を使用するものとする。
- 5. 基準点測量(基準点の設置)は、別途計上する。

(新設)

) 改 定	現	行 備 考
	延 人 日 数 機械経費	貴の構成
	測 測 測 測 名 称 量 量 量 」 ライトバン が 手 助 神 当 が 雑器材	規格 単位 数量 摘要 2級 台日 8.5
	0.5 0.5 1.5 通信運搬	般費等の構成
	4.0 8.5 8.0 20.5 項目 通信運搬費	
	2.0 2.0 材料費の	
	1.5 4.0 5.5	<mark>本 39</mark>
	1.0 1.0 <u>ガソリン</u> 雑品	「
		の直接人件費に対する割合 割合 備考
	4.0 8.5 8.0 20.5 機械経費 通信運搬費	6.0%
	3.0 8.0 11.5	2. 370
	7. 0 16. 5 8. 0 32. 0	

9-2 現地測量変化率

(1)地域による変化率

縮尺		1/2	2 0 0			1/2	2 5 0	
地域地形	平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+1.2				+1.2			
市街地甲	+1.1				+1.0			
市街地乙	+0.9	+1.4			+0.8	+1.3		
都市近郊	+0.5	+0.8			+0.4	+0.7		
耕地	+0.2	+0.3			+0.1	+0.3	+0.9	
原 野		+0.5	+1.3	+1.6		+0.4	+1.2	+1.5
森林		+0.7	+1.9	+2.2		+0.6	+1.8	+2.1

縮尺		1/5	500			1/1,	0 0 0	
地域地形	平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.8				+0.7			
市街地甲	+0.7				+0.5			
市街地乙	+0.5	+0.8			+0.4	+0.7		
都市近郊	+0.2	+0.5			0.0	+0.3		
耕地	0.0	+0.2	+0.5		-0.1	0.0	+0.2	
原 野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0		+0.1	+0.4	+0.7
森林		+0.4	+1.4	+1.7		+0.3	+0.7	+1.0

(注) 地域, 地形が混在する場合の変化率は, 各区分の作業量を用いた加重平均値を小数 2 位 (小数 3 位四捨五入) まで算出する。

9-3 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>2</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

9-2 現地測量変化率

縮尺		1/2	2 0 0			1/2	250	
地域地域	平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+1.2				+1.2			
市街地甲	+1.1				+1.0			
市街地乙	+0.9	+1.4			+0.8	+1.3		
都市近郊	+0.5	+0.8			+0.4	+0.7		
耕地	+0.2	+0.3			+0.1	+0.3	+0.9	
原 野		+0.5	+1.3	+1.6		+0.4	+1.2	+1.5
森林		+0.7	+1.9	+2.2		+0.6	+1.8	+2.1

縮尺		1/5	500			1/1,	0 0 0	
地域地域	平 地	丘陵地	低山地	高山地	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.8				+0.7			
市街地甲	+0.7				+0.5			
市街地乙	+0.5	+0.8			+0.4	+0.7		
都市近郊	+0.2	+0.5			0.0	+0.3		
耕地	0.0	+0.2	+0.5		-0.1	0.0	+0.2	
原 野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0		+0.1	+0.4	+0.7
森林		+0.4	+1.4	+1.7		+0.3	+0.7	+1.0

(注) 地域, 地形が混在する場合の変化率は, 各区分の作業量を用いた加重平均値を小数 2 位 (小数 3 位四捨五入) まで算出する。

9-3 その他

(1) 打合せ

中間打合せの回数は<mark>1</mark>回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

第10節 航空レーザ測量

10-1 航空レーザ測量の積算方式

10-1-1 計測計画

計測作業に先立ち、計測器材の選定(航空機の性能又は機種、航空レーザ測量システムの性能等)、計測諸元の決定(対地高度、対地速度、コース間重複(%)、スキャン回数、スキャン角度、パルスレート、飛行方向及び飛行直交方向の標準的取得点間距離等)、1/50、000 地形図等を利用して行う計測航法の選定(計測コース及び各コースの計測開始ならびに終了地点等)ならびに計測に用いる飛行場の選定、計測時間等の計測作業全般にわたる計画及び準備作業である。

なお、航空機は単発の固定翼を標準とする。ただし、回転翼航空機の利用を指定する場合は、別途計上する。

10-1-2 運航

1. 運航時間

(1) 空輸時間

航空機を常駐し管理している飛行場(以下、「本拠飛行場」という。)が、計測地にできるだけ近く 選定した計測飛行場(以下「計測飛行場」という。【8-1 撮影の積算方式 表-2】参照 *1)でない場合に、本拠飛行場から撮影飛行場まで航空機を空輸する時間(往復)であって、次式により算定する。また、この空輸した先の撮影飛行場を前進飛行場という。

空輸時間=
$$\frac{[]$$
計測飛行場迄の往復直線距離($]$ km) $^{*1}]$ + $[$ 離着陸時間($]$ h $^{*3}]$ x $[$ 2 ・・・① 空輸運航速度 *2

- *1. 計測飛行場までの往復直線距離は、【8-1 撮影の積算方式 表-2】を参照。ただし、表に掲載されていない区間については、【設計業務等標準積算基準書(参考資料)5-3 撮影の計画図2-5-13】の経緯度を用いて直線距離を計算する。なお、数値は1の位を四捨五入(10km単位)とする。
- *2. 250km/h とする。
- *3. 片道の離着陸時間を 0.5 時間とする。

(2) 計測運航時間

当該計測作業の実施に必要な時間で、計測飛行場・計測地間往復時間、計測回数、本計測時間、GNSS/IMU装置初期化時間、コース進入時間、補備計測時間及び予備飛行時間に分け、A~Gの②-1~⑦式により算定する。

(表-1) 計測作業種別一覧表

1	空輸時間	6	補備計測時間
2	計測 <mark>飛行場</mark> ・計測地間往復時間	7	予備飛行時間
2"	1回当たり計測 <mark>飛行場</mark> ・計測地間往復時間	8	総運航時間
3	本計測時間	9	計測日数
3'	計測コース延長	10	滞留日数
4	GNSS/IMU 装置初期化時間	11)	滞留費
4 ′	1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間	12	計測費
5	コース進入時間		

第10節 航空レーザ測量

10-1 航空レーザ測量の積算方式

10-1-1 計測計画

計測作業に先立ち、計測器材の選定(航空機の性能又は機種、航空レーザ測量システムの性能等)、計測諸元の決定(対地高度、対地速度、コース間重複(%)、スキャン回数、スキャン角度、パルスレート、飛行方向及び飛行直交方向の標準的取得点間距離等)、1/50、000 地形図等を利用して行う計測航法の選定(計測コース及び各コースの計測開始ならびに終了地点等)ならびに計測に用いる飛行場の選定、計測時間等の計測作業全般にわたる計画及び準備作業である。

なお、航空機は単発の固定翼を標準とする。ただし、回転翼航空機の利用を指定する場合は、別途計上する。

10-1-2 運航

1. 運航時間

(1) 空輸時間

航空機を前進飛行場に移動するために必要とする時間で、本拠飛行場から計測地にできるだけ近く選定した計測基地飛行場(以下「計測基地」という。【8-1 撮影の積算方式 表-2】参照 *1)まで航空機を空輸する時間(往復)であって、次式により算定する。

空輸時間 =
$$\frac{\left(\frac{1}{2}\right)$$
 | ($\frac{1}{2}$) (\frac

- *1. 計測<mark>基地</mark>までの往復直線距離は,【8-1 撮影の積算方式 表-2】を参照。ただし,表に掲載されていない区間については,【設計業務等標準積算基準書(参考資料)5-3 撮影の計画 図 2-5-13】の経緯度を用いて直線距離を計算する。なお,数値は1の位を四捨五入(10km 単位)とする。
- *2. 250km/h とする。
- *3. 片道の離着陸時間を 0.5 時間とする。

(2) 計測運航時間

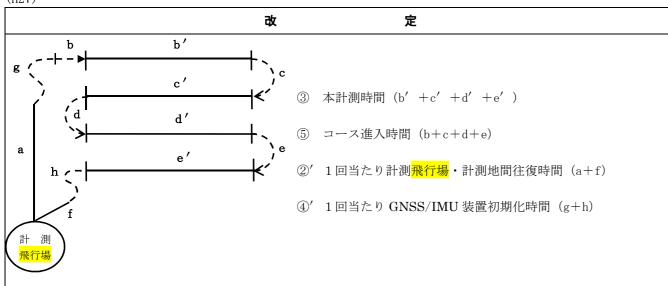
当該計測作業の実施に必要な時間で、計測<mark>基地・</mark>計測地間往復時間、計測回数、本計測時間、GNSS/IMU装置初期化時間、コース進入時間、補備計測時間及び予備飛行時間に分け、A~Gの②-1~⑦式により算定する。

(表-1) 計測作業種別一覧表

1	空輸時間	6	補備計測時間
2	計測 <mark>基地</mark> ・計測地間往復時間	7	予備飛行時間
2"	1回当たり計測 <mark>基地</mark> ・計測地間往復時間	8	総運航時間
3	本計測時間	9	計測日数
3'	計測コース延長	10	滞留日数
4	GNSS/IMU 装置初期化時間	11)	滞留費
4)'	1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間	12	計測費
5	コース進入時間		

備

考



A. 計測<mark>飛行場・</mark>計測地間往復時間

計測<mark>飛行場</mark>・計測地間往復時間の算定にあたっては、判定式②-1式により近距離又は遠距離の判定を行う。

a(km)≦C・H(km) を近距離, a(km)>C・H(km) を遠距離とする。

*1. C=35とする。

*2. 計測高度は、計測基準面(計測地の最高地点と最低地点の平均標高値)に計測地の対地高度(1,500mを標準とする)を加えた値とする。

次に、近距離、遠距離の判定に基づき②-2式又は②-2′式により計測<mark>飛行場</mark>・計測地間往復時間を算定する。

・近距離の場合

(1,000m 当たりの上昇下降時間*1(h)×計測高度(km)+離着陸時間*3(h)) ・・・・・・②'-1 ×計測回数*4 ・・・・・・②-2

遠距離の場合

×計測回数*4 ・・・・・・②-2'

*1. 0.14h とする。

*2. 250km/h とする。

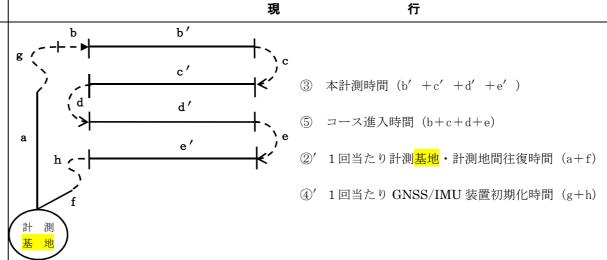
*3. 0.5hとする。

*4. 計測回数 (i) を参照。

離着陸及び計測地往復時間算定の早見表は【8-1 撮影の積算方式 表-3】を参照。

B. 計測回数 (i)

計測日数計算式⑨で算定した値の整数値(端数切上げ)を用いる。



A. 計測<mark>基地・</mark>計測地間往復時間

計測<mark>基地・</mark>計測地間往復時間の算定にあたっては、判定式②-1式により近距離又は遠距離の判定を行う。

a(km)≦C・H(km) を近距離, a(km)>C・H(km) を遠距離とする。

*1. C=35 とする。

*2. 計測高度は、計測基準面(計測地の最高地点と最低地点の平均標高値)に計測地の対地高度(1,500mを標準とする)を加えた値とする。

次に、近距離、遠距離の判定に基づき②-2式又は②-2′式により計測<mark>基地・計測地間往復時間を算定する。</mark>

・ 近距離の場合

(1,000m 当たりの上昇下降時間*1(h)×計測高度(km)+離着陸時間*3(h)) ・・・・・・②'-1 ×計測回数*4 ・・・・・・②-2

・遠距離の場合

計測基地・計測地間往復直線距離 (km) + 離着陸時間* ³(h) - ・・・・・・・②'-1' - 往復運航速度* ²

×計測回数*⁴ ・・・・・②-2'

- *1. 0.14h とする。
- *2. 250km/h とする。
- *3. 0.5h とする。
- *4. 計測回数 (i) を参照。

離着陸及び計測地往復時間算定の早見表は【8-1 撮影の積算方式 表-3】を参照。

B. 計測回数 (i)

計測日数計算式⑨で算定した値の整数値(端数切上げ)を用いる。

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

現行	備考
C. 本計測時間 本計測時間(h) = 計測コース延長*1(km) 計測運航速度*2(km/h) *1. 計測コース延長は、地形図上に計測コースを計画し、その延長を計測する。 ・・・③'なお、計測コース延長の数値は、小数第2位を四捨五入(0.1km単位)する。**2. 200 km/h とする。 *2. 200 km/h とする。 D. GNSS/IMU 装置初期化時間(h) = (1回当たり GNSS/IMU 装置初期化時間*1(h)) × (計測回数)*2 *1. 0.5h とする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	備考
 測コースが著しく離れている場合には、初期化回数 (+α) を上式に追加するものとする。 E. コース進入時間 コース進入時間(h) = (1コース当たり 0.18h) × (コース数) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 	
F. 補備計測時間 計測地に雲がかかり航空レーザ用数値写真の画像データが欠測したり、気流状態の不良によって計画コースから航路がずれたり、重複度が不良であったりして、計測が不適当であった場合は再計測を必要とする。このために補備計測時間を見込むものとする。 補備計測時間(h) = ((計測基地・計測地間往復時間(h)) + (本計測時間(h)) + (GNSS/IMU 装置初期化時間(h)) + (コース進入時間(h))) × 30% = (②+③+④+⑤) × 30% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
G. 予備飛行時間 計測作業は、計測地の局部的な天候、地形及び計測時刻等により極度の制約を受けて計測好適日が非常に少ない。このため、快晴日であっても計測地上空に雲等の計測障害があれば止むを得ず引き返しとなる。このための時間を予備飛行時間として見込むものとする。 予備飛行時間(h)=((計測基地・計測地間往復時間(h)))×100% =②×100% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑦	
10-1-3 総運航時間 1. 総運航時間の算定 当該計測作業の実施に必要なすべての運航時間で、次式により算定する。 総運航時間(h)=①+2.3×②+1.3×(③+④+⑤) 2. 総運航費の算定 総運航費は次式により算定する。 総運航費=(総運航時間)×1時間当たり(航空機損料+航空ガソリン*1+航空オイル*2) *1. 60.0 % / とする。 *2. 2.5 % / h とする。	

エ 種	測量業務積算基準

(H27)改 現 考 定 行 備 10-1-4 滞留 10-1-4 滞留 滞留とは、計測実施及び天候待ちのため計測作業員が計測飛行場にとどまることである。 滞留とは、計測実施及び天候待ちのため計測作業員が計測基地にとどまることである。 1. 滞留日数の算定 1. 滞留日数の算定 (1) 計測日数 (1) 計測日数 (計測日数*(M)) =-4.5-0/-0/ *小数第1位(小数第3位を四捨五入し、小数第2位を端数切上げ)までとする。 *小数第1位(小数第3位を四捨五入し、小数第2位を端数切上げ)までとする。

(2) 滞留日数

A. 計測日数が2日以内の場合

(滯留日数)=(計測1日当たり滯留日数) *1 × (計測日数) *2 ・・・・・・・・ 10 - 1

*1. 5日を標準とする。

*2. 小数点以下は切上げて整数にする。

B. 計測日数が2日を越える場合

滞留日数は、整数値(小数第3位を四捨五入し、端数切上げ)とする。

(滞留日数)* ⁴= (計測予定当該月の全日数) × (計測日数) ・・・・・・・⑩-2

*3. 【7-1 撮影の積算方式 表-6】を参照し、それぞれ計測地内又は計測地に最も近い地点 の計測可能日数を採用する。

*4. 式⑩-2での計算の結果,滞留日数が10日未満となる場合は,滞留日数を10日とする。

2. 滞留費の算定

滞留費は次式により算定する。

*操縦士,整備士,撮影士各1名の基準日額及び通信運搬費とする。ただし,前進飛行場を利用す る場合は、日当、宿泊料(又は日額旅費)も計上する。

(注) 特に規模の大きい計測については、別途計上することができる。

10-1-5 計測費の算定

本計測, GNSS/IMU装置初期化時間, コース進入及び補備計測に要する時間(以上を純計測運航時間とす る)に応ずる航空レーザ測量システム損料等であり、次式により算定する。

計測費=(純計測運航時間) × (1時間当たり計測費) ・・・・・・・・・・・・・ ② =(③+④+⑤) ×1.3× (1時間当たり航空レーザ測量システム損料等)*

*測量機械等算定表を参照。

10-1-6 調整用基準点の設置

三次元計測データの点検及び調整を行うための基準点を設置する作業であって、歩掛は別項による。調整 用基準点の点数は、作業地域の面積(km²)を25で割った値に1を足した値を標準とし、最低数は4点とす る。

- (2) 滞留日数
- A. 計測日数が2日以内の場合

(滞留日数)=(計測1日当たり滞留日数) *1 ×(計測日数) *2 ・・・・・・・・ 10 -1

*1. 5日を標準とする。

*2. 小数点以下は切上げて整数にする。

B. 計測日数が2日を越える場合

滞留日数は、整数値(小数第3位を四捨五入し、端数切上げ)とする。

(滞留日数)* ⁴= (計測予定当該月の全日数) × (計測日数) ・・・・・・⑩-2

*3. 【7-1 撮影の積算方式 表-6】を参照し、それぞれ計測地内又は計測地に最も近い地点 の計測可能日数を採用する。

*4. 式⑩-2での計算の結果,滞留日数が10日未満となる場合は,滞留日数を10日とする。

2. 滞留費の算定

滞留費は次式により算定する。

*操縦士,整備士,撮影士各1名の基準日額及び通信運搬費とする。ただし、前進基地を利用する 場合は、日当、宿泊料(又は日額旅費)も計上する。

(注) 特に規模の大きい計測については、別途計上することができる。

10-1-5 計測費の算定

本計測, GNSS/IMU装置初期化時間, コース進入及び補備計測に要する時間(以上を純計測運航時間とす る) に応ずる航空レーザ測量システム損料等であり、次式により算定する。

計測費=(純計測運航時間) × (1時間当たり計測費) ・・・・・・・・・・・・・・ ⑫

 $=(3+4+5) \times 1.3 \times (1 時間当たり航空レーザ測量システム損料等)*$

*測量機械等算定表を参照。

10-1-6 調整用基準点の設置

三次元計測データの点検及び調整を行うための基準点を設置する作業であって、歩掛は別項による。調整 用基準点の点数は、作業地域の面積(km²)を25で割った値に1を足した値を標準とし、最低数は4点とす る。

10-1-7 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成

航空機搭載 GNSS データ、地上<mark>飛行場</mark>局 GNSS データ、航空機搭載 IMU データ及び航空機搭載レーザ計 測データから算定された点群データに、各種点検とノイズ削除処理を施し、三次元計測データを作成し、さ らに精度検証を実施してオリジナルデータを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-8 グラウンドデータ作成

オリジナルデータにフィルタリング処理を施し、地表面の標高を示すデータを作成する作業であって、歩 掛は別項による。

10-1-9 グリッド(標高)データ作成

グラウンドデータから内挿補間によりグリッド(標高)データを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-10 等高線データ作成

グラウンドデータ又はグリッド(標高)データから等高線データを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-11 数値地形図データファイル作成

製品仕様書に従って数値地形図データファイルを作成し、電磁的記録媒体に記録する作業であって、歩掛 は別項による。

10-1-12 旅費交通費

前進<mark>飛行場</mark>を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場~前進<mark>飛行場</mark>までの<mark>公共交通機関</mark>による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

10-1-7 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成

航空機搭載 GNSS データ、地上<mark>基地</mark>局 GNSS データ、航空機搭載 IMU データ及び航空機搭載レーザ計測 データから算定された点群データに、各種点検とノイズ削除処理を施し、三次元計測データを作成し、さら に精度検証を実施してオリジナルデータを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-8 グラウンドデータ作成

オリジナルデータにフィルタリング処理を施し、地表面の標高を示すデータを作成する作業であって、歩 掛は別項による。

10-1-9 グリッド(標高)データ作成

グラウンドデータから内挿補間によりグリッド(標高)データを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-10 等高線データ作成

グラウンドデータ又はグリッド(標高)データから等高線データを作成する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-11 数値地形図データファイル作成

製品仕様書に従って数値地形図データファイルを作成し、電磁的記録媒体に記録する作業であって、歩掛は別項による。

10-1-12 旅費交通費

前進<mark>基地</mark>を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場~<mark>計測基地(</mark>前進<mark>基地)</mark>までの<mark>陸路</mark>による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

改		5	定		現		1	ភ
(表-2) 運航時間算定例		ı	1	-	(表-2) 運航時間算定例		I	1
地区名 区分		(a)	備考		地区名 区分		(a)	備 考
計測面積	km²	400			計測面積	km²	400	
計測距離	km	2, 020			計測距離	km	2, 020	
コース数	コース	101			コース数	コース	101	
計測高度	m	2,000			計測高度	m	2, 000	
本拠飛行場から計測 <mark>飛行場</mark> 間往復直線距離	km	620			本拠飛行場から計測 <mark>基地</mark> 間往復直線距離	km	620	
計測 <mark>飛行場</mark> から計測地までの往復直線距離	km	140			計測 <mark>基地</mark> から計測地までの往復直線距離	km	140	
①空輸時間	h	3. 48			①空輸時間	h	3. 48	
②′計測 <mark>飛行場</mark> 計測地1往復時間	h	1.06			②′計測基地計測地1往復時間	h	1. 06	
② " 全往復時間	h	10.60	②' ×計測回数 (i)		② " 全往復時間	h	10.60	②' ×計測回数 (i)
③本計測時間	h	10. 10			③本計測時間	h	10. 10	
④GNSS/IMU 装置初期化時間	h	5. 00	0.5×計測回数 (i)		④GNSS/IMU 装置初期化時間	h	5. 00	0.5×計測回数 (i)
⑤コース進入時間	h	18. 18	0.18× (コース数)		⑤コース進入時間	h	18. 18	0.18× (コース数)
⑥補備計測時間	h	13. 16	(2+3+4+5) ×30%		⑥補備計測時間	h	13. 16	(2+3+4+5) ×30%
小計 A		57. 04	2+3+4+5+6		小計 A		57. 04	2+3+4+5+6
⑦予備飛行時間	h	10.60	2		⑦予備飛行時間	h	10.60	2
小計 B		67. 64	A+⑦		小計 B		67.64	A+⑦
計測回数 (i)	d	10	(③+⑤) / (4.5-②' -④')		計測回数 (i)	d	10	(③+⑤) / (4.5-②' -④')
純計測運航時間 C	h	43. 26	(③+④+⑤) ×1.3	1	純計測運航時間 C	h	43. 26	(③+④+⑤) ×1.3
⑧総運航時間	h	71. 12	小計 (B+①) =①+②+③+④+⑤+⑥+⑦		⑧総運航時間	h	71. 12	小計 (B+①) =①+②+③+④+⑤+⑥+⑦
滞留日数	d	61	計測月:10月	1	滞留日数	d	61	計測月:10月

測量業務積算基準 エ 種 (H27)改 定 現 行 備 考 10-2 航空レーザ測量 10-2 航空レーザ測量 最終行にある「10-10-2-1 航空レーザ測量(地図情報レベル1000) 10-2-1 航空レーザ測量(地図情報レベル1000) 3その他」の見出しは (1) 標準歩掛等 (1)標準歩掛等 改ページでは? 本歩掛の適用範囲は、計測面積 100 km以上とする。 本歩掛の適用範囲は、計測面積 100 km以上とする。 所 日 数 所 日 数 人 操縦 標準作業量 標準作業量 作業工程 作業工程 業 \mathcal{O} 100 km^2 全体計画 内 0.5 1.0 0.5 100 km^2 全体計画 内 0.5 1.0 0.5 100 km^2 計測計画 内 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 100 km^2 計測計画 内 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 航空レ 1 時間 総運航 外 1 時間 総運航 1 時間 計測 外 1 時間 計測 計測 計 外 1.0 1 目 滞留 1.0 1.0 1 目 滞留 外 1.0 1.0 10 箇所 調整用基準点の設置 外 10 箇所 調整用基準点の設置 外 5.0 7.5 5.0 7.5 三次元計測データ 三次元計測データ 内 100 km^2 内 15.0 30.0 100 km^2 15.0 30.0 オリジナルデータ作成 オリジナルデータ作成

(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

0.5

内

内

内

内

グラウンドデータ作成

グリッド(標高)データ作成

等高線データ作成

数値地形図データファイル作成

 100 km^2

 100 km^2

 100 km^2

 100 km^2

2. 機械経費,通信運搬費等,材料費については「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。

2.0

3.0

1.5

10.0

9.0

2.5

40.0

(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

内

内

内

内

0.5

20.0

2.0

3.0

1.5

60.0

10.0

9.0

2.5

40.0

グラウンドデータ作成

グリッド(標高)データ作成

等高線データ作成

数値地形図データファイル作成

(新設)

 100 km^2

 100 km^2

 100 km^2

 100 km^2

改定	現	,
	機・械・経・費・の・構・成・通信運搬費等の構成・材料・費・の・構・成	10-2-1
	名 称 規格 単位 数量 項 目 備考 品 名 規 格 単位 数量 摘	<mark>要</mark>
	パーソナルコンピュータ 台日 2.0	
	各費目の直接人件費に対する割合 	
	機械経費	
	図形編集装置 DM 用 台目 1.5 地形図 1/50,000 枚 10.0 5 面×2 各費目の直接人件費に対する割合 世界 日 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	
	費目 割合 費目 割合 割合 調色 調度 1 2 1 1 2<	
	*航空機 単発 台時 1.0 *航空ガソリン 時間当り 2 60.0 *印は使用 *航空オイル 時間当り 2 2.5 応じて計	月時間に L
	*航空レーザ測量システム 台時 1.0 *電子基準点RINEXデータ 時間 1 *印は使用 応じて計	号時間に 上
	· 通信電船費 · →式	
	各費目の直接人件費に対する割合	
	費目 割合 費目 割合 割合 調合 摘要 機械経費 0.0% 通信運搬費等 2.0% 材料費 0.0%	
	GNSS 測量機 2 級 台目 7.50 ガソリン ば 26.0 2.6 リットルン GNSS 解析用計算機 台目 5.00	$\times 2h \times 5$
	<mark>ゾル 3級 台日 3.75</mark>	
	水準用電卓 台日 3.75	
	「 <mark>雑器材</mark>	
	費目 割合 費目 割合 割合 割合 調子 機械経費 15.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 1.0%	
	図形編集装置	
	<u>費 目 割 合 費 目 割合 費 目 割 合 摘 要</u>	
	機械経費 5.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 0.0% 図形編集装置 DM 用 台目 120.0 カラーヘクグデェットプロッタ用紙 AO 判 巻 1.78 地図情報ペール 10	000で出力
	カラーインクシ゛ェットフ゜ロッタ A0 判 台日 3. 7	(内容)
	インクカートリッジ (ブラカ・アバ・ゼンカ・イロー) 本 0.07 形式 (整館 各費目の直接人件費に対する割合	<mark>И/_</mark>
	費目 割合 費目 割合 割合 調子 機械経費 6.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 1.0%	
	機械経質 6.0% 連信連縦質等 0.0% 材料質 1.0% 図形編集装置 DM 用 台日 12.0	
	機械経費 6.0% 通信運搬費等 0.0% 材料費 0.0% 200 0.	
	<mark>各費目の直接人件費に対する割合</mark> 	
	機械経費 5.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 0.0%	
	図形編集装置 DM 用 台日 4.5	
	<mark>各費目の直接人件費に対する割合</mark> 	
	機械経費 5.5% 通信運搬費等 0.0% 材料費 2.5%	

エ 種	測量業務積算基準
-----	----------

(H27) 改 定	現行	備	考
10-3 その他	10-3 その他		
(1) 打合せ 中間打合せの回数は <mark>3</mark> 回を標準とし,必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は 1回当たり,中間打合せ1回の人員を増減する。	(1) 打合せ 中間打合せの回数は <mark>1</mark> 回を標準とし, 必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は 1回当たり, 中間打合せ1回の人員を増減する。		

測量業務積算基準 エ 種

備考

(H27)

<mark>第11節 機械経費等</mark>

11-1 機械経費,通信運搬費等,材料費(1) 測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合

改

定

作業 作業	<mark>作業名</mark>	機械経費率	<mark>通信運搬</mark> 費等率	材料費率
2-1-1	1級基準点測量 新点 5 点	<mark>6. 5%</mark>	<mark>2. 0%</mark>	<mark>3. 5%</mark>
2-2-1-1	2級基準点測量 新点10点 伐採有り	<mark>7. 0%</mark>	<mark>9. 0%</mark>	<mark>2. 5%</mark>
2-2-1-2	2級基準点測量 新点10点 伐採なし	<mark>7. 5%</mark>	<mark>2. 5%</mark>	<mark>3. 0%</mark>
2-3-1-1	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り	<mark>2. 5%</mark>	<mark>5. 5%</mark>	1.0%
2-3-1-2	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし	<mark>2. 5%</mark>	<mark>5. 5%</mark>	<mark>1. 5%</mark>
2-3-1-3	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り	<mark>3. 0%</mark>	<mark>2. 0%</mark>	1.0%
2-3-1-4	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし	<mark>3. 0%</mark>	<mark>2. 0%</mark>	<mark>1. 5%</mark>
2-4-1-1	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り	<mark>2. 5%</mark>	10. 5%	<mark>2. 5%</mark>
2-4-1-2	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし	<mark>3. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>	<mark>3. 0%</mark>
2-5-1	基準点設置 新点10点 地上埋設(普通)	<mark>2. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>	<mark>17. 0%</mark>
2-5-2	基準点設置 新点10点 地上埋設(上面舗装)	<mark>2. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>	18. 0%
2-5-3	基準点設置 新点10点 地下埋設	<mark>2. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>	12. 5%
2-5-4	基準点設置 新点10点 屋上埋設	<mark>2. 5%</mark>	<mark>2. 5%</mark>	<mark>11. 5%</mark>
2-5-5	基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置	<mark>2. 5%</mark>	<mark>3. 0%</mark>	<mark>4. 5%</mark>
3-1-1	水準測量 1級水準測量観測	<mark>4. 5%</mark>	<mark>1. 0%</mark>	1.0%
3-1-2	水準測量 2級水準測量観測	<mark>3. 0%</mark>	<mark>1. 5%</mark>	<mark>1. 0%</mark>
3-1-3	水準測量 3級水準測量観測	<mark>2. 0%</mark>	1.0%	<mark>2. 0%</mark>
3-1-4	水準測量 4級水準測量観測	<mark>1. 5%</mark>	<mark>1. 5%</mark>	<mark>4. 5%</mark>
3-2-1	水準点設置 水準点設置 (永久標識)	<mark>2. 5%</mark>	<mark>2. 5%</mark>	<mark>22. 0%</mark>
3-2-2	水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)	<mark>2. 0%</mark>	<mark>6. 5%</mark>	<mark>3. 5%</mark>
4-1- 1	路線測量 作業計画	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
4-1- 2	路線測量 現地踏査	<mark>2. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	14. 0%
4-1- 3	路線測量 伐採	<mark>2. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>

1	立	Ľ	=元	1
(7	刃	戓)

現

行

改	定		
IL NIC I	機械経費	通信運搬	L. Joseph Jan
<mark>作業名</mark> —	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	費等率	材料費率
路線測量 線形決定(条件点の観測)	2. 5%	0.0%	6. 5%
路線測量線形決定	1. 5%	<mark>0. 0%</mark>	4. 5%
路線測量 I P設置	2. 5%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>6. 5%</mark>
路線測量 中心線測量	3. 0%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>8. 0%</mark>
路線測量 仮BM設置測量	<mark>2. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>
路線測量 縦断測量	2.0%	0.0%	<mark>5. 5%</mark>
路線測量 横断測量	2. 0%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>6. 0%</mark>
路線測量 詳細測量 (縦断測量)	2.0%	<mark>0. 0%</mark>	13.0%
路線測量 詳細測量 (横断測量)	<mark>2. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>7. 5%</mark>
路線測量 用地幅杭設置測量	<mark>2. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	8.0%
河川測量 作業計画	<mark>0. 0%</mark>	0.0%	<mark>0. 0%</mark>
河川測量 現地踏査	1. 5%	0.0%	10.5%
河川測量 距離標設置測量	3. 0%	0.0%	<mark>19. 5%</mark>
河川測量 水準基標測量	2. 5%	0.0%	1.0%
河川測量 河川定期縦断測量 直接水準	2. 0%	0.0%	<mark>7. 5%</mark>
河川測量 河川定期横断測量 直接水準 (平地)	1. 5%	0.0%	1.0%
河川測量 河川定期横断測量 複写	1. 5%	0.0%	<mark>16. 0%</mark>
河川測量 河川定期横断測量 直接水準(山地)	2. 5%	0.0%	2.0%
河川測量 河川定期横断測量 間接水準(山地)	2. 0%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>2. 5%</mark>
河川測量 法線測量	2. 5%	0.0%	4. 5%
深浅測量 作業計画	O. 0%	0.0%	0.0%
深浅測量 ダム・貯水池深浅測量	1. 5%	0.0%	3.0%
深浅測量 ダム・貯水池深浅測量+音響測深機	3. 0%	0.0%	3.0%
深浅測量 河川深浅測量	1. 5%	0.0%	<mark>3. 0%</mark>
	3. 5%	0.0%	3.0%
ELIZINE TO HINDINE HE BINDING	<u> </u>		
	深浅測量 河川深浅測量+音響測深機		

工 種 測量業務積算基準

	改定			
作業	<mark>作業名</mark> 	機械経費 <mark>率</mark>	通信運搬 費等率	材料費率
6-4-1-1	深浅測量 海岸深浅測量	2.0%	0.0%	3.0%
6-4-1-2	深浅測量 海岸深浅測量+音響測深機	<mark>4. 5%</mark>	0.0%	<mark>3. 0%</mark>
7-1-1-1	用地測量 作業計画 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%
7-1-1-2	用地測量 作業計画 現地踏査	<mark>1. 5%</mark>	0.0%	<mark>6. 0%</mark>
7-1-2-1		1.0%	0.0%	<mark>2. 0%</mark>
7-1-2-2	用地測量。資料調查。地積測量図転写	1. 5%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
7-1-2-3	用地測量。資料調查。土地登記記録調查	<mark>0. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 5%</mark>
7-1-2-4	用地測量。資料調查。建物登記記録調查	1.0%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
7-1-2-5	用地測量 資料調査 権利者確認調査(当初)	<mark>0. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
7-1-2-6	用地測量 資料調査 権利者確認調査(追跡)	<mark>0. 5%</mark>	0.0%	0.0%
7-1-2-7	用地測量 資料調査 公図等転写連続図作成	0.0%	0.0%	1.0%
7-1-3-1	用地測量 境界確認 復元測量	<mark>2. 0%</mark>	0.0%	<mark>4. 0%</mark>
7-1-3-2	用地測量 境界確認 境界確認	1.0%	0.0%	<mark>5. 5%</mark>
7-1-3-3	用地測量 境界確認 土地境界確認書作成	1. 5%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
7-1-4-1	用地測量 境界測量 補助基準点の設置	<mark>2. 0%</mark>	0.0%	4.0%
7-1-4-2	用地測量 境界測量 境界測量	<mark>2. 0%</mark>	0.0%	<mark>3. 0%</mark>
7-1-4-3	用地測量 境界測量 用地境界仮杭設置	<mark>2. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>6. 0%</mark>
7-1-4-4	用地測量 境界測量 用地境界杭設置	<mark>3. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>21. 5%</mark>
7-1-5		<mark>3. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>4. 0%</mark>
7-1-6	H地測量 面積計算 Table Table	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
7-1-7-1	用地測量 用地実測図原図等の作成 用地実測図原図作成	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
7-1-7-2	用地測量 用地実測図原図等の作成 用地現況測量 (建物等)	<mark>2. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>3. 5%</mark>
7-1-7-3	用地測量 用地実測図原図等の作成 用地平面図作成	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 5%</mark>
7-1-7-4	用地測量 用地実測図原図等の作成 土地調書作成	0.0%	0.0%	0.0%
7-3-1	用地測量 公共用地境界確定協議 公共用地管理者との打合せ	<mark>0. 5%</mark>	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
		l		

	改定			
The Alle	TL, NV. 64	機械経費	通信運搬	L L tol off
<mark>作業</mark> 	<mark>作業名</mark>	<mark>率</mark>	費等率	材料費率
<mark>7-3-2</mark>	用地測量 公共用地境界確定協議 現況実測平面図作成	2. 5%	0.0%	<mark>3. 5%</mark>
<mark>7-3-3</mark>	用地測量 公共用地境界確定協議 横断面図作成	<mark>1.5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>2. 0%</mark>
7-3-4	用地測量 公共用地境界確定協議 依頼書作成	<mark>0. 0%</mark>	0.0%	<mark>0. 0%</mark>
7-3-5	用地測量 公共用地境界確定協議 協議書作成	<mark>0. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 5%</mark>
8-2-1-1	撮影 撮影 (デジタル) 撮影計画	0.0%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
8-2-1-2	撮影 撮影 (デジタル) 総運航			
8-2-1-3	撮影 撮影(デジタル) 撮影			
8-2-1-4	撮影 撮影(デジタル) 滞留	0.0%	1. 5%	0.0%
8-2-1-5	撮影 撮影 (デジタル) GNSS/IMU 計算	<mark>0. 5%</mark>	0.0%	0.0%
8-2-1-6	撮影 撮影 (デジタル) 数値写真作成	<mark>68. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	12. 5%
8-3-1	標定点及び同時調整 対空標識の設置(写真縮尺 1/10,	1.0%	<mark>0. 5%</mark>	<mark>2. 5%</mark>
8-3-2	000~12,500) 標定点測量及び同時調整 標定点測量	<mark>5. 0%</mark>	<mark>0. 5%</mark>	<mark>0. 5%</mark>
8-3-3	標定点測量及び同時調整 簡易水準測量	<mark>3. 5%</mark>	<mark>0. 5%</mark>	<mark>2. 0%</mark>
8-3-5	標定点測量及び同時調整 同時調整	<mark>22. 5%</mark>	0.0%	0.0%
8-4-1-1	数値図化 数値図化 レベル1,000 作業計画	0. 5%	0.0%	0.0%
		3.0%	1.0%	<mark>2. 5%</mark>
8-4-1-2	数値図化 数値図化 レベル1,000 現地調査	23. 5%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>
8-4-1-3	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値図化	7.0%	0.0%	0. 5%
8-4-1-4	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値編集			
8-4-1-5	数値図化 数値図化 レベル1,000 補測編集	5. 5%	0. 5%	3.0%
8-4-1-6	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値地形図データファイル の作成	9.0%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
8-4-2-1	数値図化 数値図化 レベル2,500 作業計画	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
8-4-2-2	数値図化 数値図化 レベル2,500 現地調査	<mark>2. 5%</mark>	1. 0%	<mark>2. 5%</mark>
8-4-2-3	数値図化 数値図化 レベル 2 , 5 0 0 数値図化	33.0%	0.0%	<mark>0. 5%</mark>

H27)				
	改定			
The NIG	Le Alle to	機械経費	通信運搬	L L dol attract
作業 ————————————————————————————————————	<mark>作業名</mark> 	<mark>率</mark>	費等率	材料費率
8-4-2-4	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値編集	<mark>7. 5%</mark>	0.0%	0. 5%
8-4-2-5	数値図化 数値図化 レベル2,500 補測編集	<mark>5. 5%</mark>	0. 5%	2. 0%
8-4-2-6	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値地形図データファイルの作成	13.0%	<mark>0. 0%</mark>	<mark>0. 0%</mark>
9-1	現地測量 現地測量 (S=1/500)	<mark>5. 5%</mark>	1.0%	<mark>2. 5%</mark>
10-2-1- 1	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000全体計画	<mark>0. 5%</mark>	0.0%	<mark>0. 0%</mark>
10-2-1- 2	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000計測計画	<mark>4. 5%</mark>	0.0%	<mark>0. 0%</mark>
10-2-1- 3	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000総運航			
10-2-1- 4	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000計測			
10-2-1- 5	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000滞留	0.0%	2. 0%	0.0%
10-2-1- 6	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000調整用基準点の設置	14. 0%	0. 0%	1. 0%
10-2-1- 7	航空レーザ測量 数値図化 レベル 1,000三次元計測データ及び オリジナルデータ作成	<mark>5. 5%</mark>	<mark>0. 0%</mark>	0.0%
10-2-1- 8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000グラウンドデータ作成	<mark>6. 0%</mark>	0.0%	<mark>1. 0%</mark>
10-2-1- 9	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000グリッド(標高)データ作成	<mark>5. 5%</mark>	0.0%	0.0%
10-2-1-10	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000等高線データ作成	<mark>5. 5%</mark>	0.0%	<mark>0. 0%</mark>
10-2-1-11	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000数値地形図データファイルの作成	<mark>5. 5%</mark>	0.0%	<mark>2. 5%</mark>
	I 			ı